

平成18年度
(仮称) 観光交流センター 1期建設工事

武雄市役所 建設課

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
	図面目録	N・S	S-1	鉄筋コンクリート構造配筋基準図	N・S			
A-1	現場説明書	N・S	S-2	鉄骨構造基準図	N・S			
A-2	特記仕様書（建築1）	N・S	S-3	基礎伏図	1/100			
A-3	特記仕様書（建築2）	N・S	S-4	基礎詳細図	1/30			
A-4	特記仕様書（建築3）	N・S	S-5	地中梁リスト	1/30			
A-5	特記仕様書（建築4）	N・S	S-6	スラブリスト・雑配筋図	1/30			
A-6	高架橋柱位置図	1/100	S-7	鉄骨断面リスト	1/10			
A-7	建物概要 仕上表	N・S	S-8	鉄骨梁伏図（天井裏）	1/100			
A-8	敷地面積	1/100	S-9	高架橋スラブ下部 外装板受け梁伏図 高架橋スラブ下部 這い樋位置図	1/100			
A-9	床面積 建築面積	1/100						
A-10	配置図 付近見取図	1/300 1/1000	S-10	軸組図（1）	1/100			
A-11	工期ごとの配置図	1/300	S-11	軸組図（2）	1/100			
A-12	仮囲い計画図	1/300	S-12	鉄骨詳細図 1	1/30			
A-13	平面図	1/100	S-13	鉄骨詳細図 2 温泉ぎやらりシャッター受け鉄骨詳細図	1/20			
A-14	立面図	1/100	S-14	基礎荷重図	1/100			
A-15	断面図（1）	1/100						
A-16	断面図（2）	1/100						
A-17	断面図（3）	1/200						
A-18	矩計図	1/30						
A-19	断面詳細図（1）	1/30						
A-20	断面詳細図（2）	1/30						
A-21	断面詳細図（3）	1/30						
A-22	部分詳細図 1 ラチ外コンコース南側納まり図	1/20						
A-23	部分詳細図 2 ラチ外コンコース北側納まり図	1/20						
A-24	平面詳細図（1）	1/50						
A-25	平面詳細図（2）	1/50						
A-26	天井伏図	1/100						
A-27	建具配置図	1/100						
A-28	木製建具表及び雑工事	1/50						
A-29	金属製建具表（1）	1/50						
A-30	金属製建具表（2）	1/50						
A-31	展開図 男子便所・掃除具庫	1/50						
A-32	展開図 女子便所	1/50						
A-33	展開図 ハートフルトイレ・機械置場	1/50						
A-34	展開図 観光案内所・物産展示室	1/50						
A-35	展開図 観光案内所・物産展示室・湯沸室	1/50						
A-36	展開図 観光案内所・物産展示室・屋外通路（温泉参道）	1/50						
A-37	展開図 温泉ぎやらりー	1/50						
A-38	展開図 温泉参道・ラチ外コンコース	1/50						
A-39	1期工事における営業線路との関係図 配置図	1/100						
A-40	1期工事における営業線路との関係図 断面図	1/100						

特記事項	(有) A C N 松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467	工事名 （仮称）観光交流センター建設工事	縮尺	日付
			図名 図面目録	図番 A O	担当	

現場説明書（建築・設備工事編）

(A) 工事概要及び一般事項

1. 工事概要

- ① 工事名称 平成18年度（仮称）観光交流センター1期建設工事
- ② 施工場所 底地番 佐賀県武雄市武雄町大字富岡字西浦8249番地-4の一部 仮地番 武雄市北部土地区画整理事業23-8街区2号の一部、10街区の一部
- ③ 工期 契約日から平成年月日まで
- ④ 工事内容 (別添 特記仕様書及び設計図面による)
- ⑤ 別途予定の関連工事 ・建築・電気・機械・外構・舗装・植栽・その他（ ）
- ⑥ 質疑等の提出方法及び回答期日等 (現場説明時に指示)

2. 設計図書の優先順位

- ・設計図書は相互に補完するものとし、相互に相違がある場合の優先順位は次のとおりとする。
 - ① 現場説明書及び質疑回答書
 - ② 特記仕様書
 - ③ 設計図面
 - ④ 共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

3. 工事着手前・完成時の提出図書

- ① 工事請負契約後、設計図書の縮小版（A2版又はA3版）青焼き製本を3部の提出のこと。
- ② 竣工後、共通仕様書による完成図及び保全に関する資料を1部提出し、完成図には工事名称、工期、設計・監理者、施工者を明記すること。
- ③ その他、保存図書とし、監督員の指示に従って建設課へ提出すること。

4. 契約事務上の注意事項

- ① 工事請負契約書は佐賀県建設工事請負契約約款を使用することとし、その他の契約事務については武雄市財務規則による。
- ② 工事が複数年度に亘る場合は、各年度の請負代金の支払い限度額及び出来高予定額は、契約書作製の日までに通知する。
- ③ 不慮の事故に備えて火災保険等に加入すること。また、労働災害事故にも備え建設労働災害保障制度へもできる限り加入すること。なお、契約額は工事規模・請負契約額に相応する内容とし、後一ヶ月程度の予備期間を設けること。
- ④ 現場代理人・主任技術者届、施工計画書等の提出書類は、速やかに作成し監督員に提出すること。
- ⑤ 工事の一部を下請けに付する場合には、速やかに下請申請書を提出し承諾を得ること。

(B) 現場及び技術に関する説明事項

- 1. 監督職員事務所
 - 監督職員事務所を設ける場合は、事務所に机・椅子・保安用具等を必要に応じて備えること。
- 2. 指定仮設
 - 設計図面に明記された仮設については、指定仮設として実施すること。
 - なお、現場状況及び施工方法により変更が必要な場合は監督員との協議により実施する。
- 3. 工事着工前の確認
 - ・建物の配置については設計図書に基づいて縄張りを行ない、監督員と最終確認を行うこと。
 - ・既存施設内で増築・改修工事する場合は、仮設計画書及び施工計画書等を作成し施工上必要な「工事用地等」について施設管理者と協議すること。
 - また、既存の設備、地下埋設物については十分な予備調査を行って施工すること。
- 4. 工程管理
 - ・工事の着手にあたっては、他の関連工事業者と調整の上、受電時期や試運転調整期間等を見込んだ実施工程表を作成し監督員に提出のこと。また、工事期間中はこの工程に従い工事の円滑な進捗に努めること。
- 5. 施工体制の適正化
 - 「建設業法」や「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、省令等に定める施工体制台帳や施工体系図を作成し、監督員に提出すると共に、現場にも備え付けること。

6. 施工中の安全確保及び環境保全等

- ・ 施工中の安全確保及び環境保全並びに災害・公害の防止については「建築・電気・機械各共通仕様書」によるほか、次の指針・要綱によること。
 - ・ 建設工事安全施工技術指針（平成7年5月25日、建設省営監発第13号）
 - ・ 建築工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月12日、建設省経建発第1号）
 - ・ 建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日国官総第122号、国総事第21号、国総建第137号）

7. 工事監理者

この工事については、監督員業務の一部を第三者（設計者等）に委託する場合がある。

8. 特定元方事業者

・労働安全衛生法第30条第2項に基づく特定元方事業者として、この敷地内の建設工事等における契約額が最大の建築工事の請負業者を指定する。

9. 工期変更等の場合の前金保証会社への通知

前払金保証契約約款7条の2「工期を変更する場合等における措置」の保証会社への通知は、請負者で行うこと。

(C) 指導事項

1. 建設工事の適正な施工の確保について

本工事の施工にあたっては、適正かつ円滑な施工を確保するために「建設業法」や、「建設産業における生産システム合理化指針」等に基づく建設関連指導事項を遵守し、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善に努め、建設関連法等に抵触する行為は行わなわれないこと。

2. 労働福祉の改善等について

建設労働者の福祉の向上を図り、建設需要に対する労働者を確保し建設業の健全な発展を図るため労働災害補償保険制度、建設業退職金共済制度及び労働災害補償共済制度等の普及徹底に関する措置要領（平成3年1月4日施行）を遵守すること。また、原則として退職金共済制度による「発注者用掛金収納書」を契約後1ヶ月以内に提出すること。

3. 各種調査への協力依頼

公共事業労務費調査、共通仮設費の実績調査等の対象工事となった場合は、必要な協力を行わなければならない。

4. 市内業者の活用

下請や資材調達にあたっての契約は本来当事者間の自由な意志が尊重されますが、下請契約の相手はできる限り市内業者としてください。また、建設資材はできる限り市内業者から購入してください。

5. 工事用資機材等の搬送に関する関連法の遵守

道路交通法並びに関係法令に抵触する搬送車両や交通安全の配慮にける業者は排除すること。

6. 工事実績情報の登録

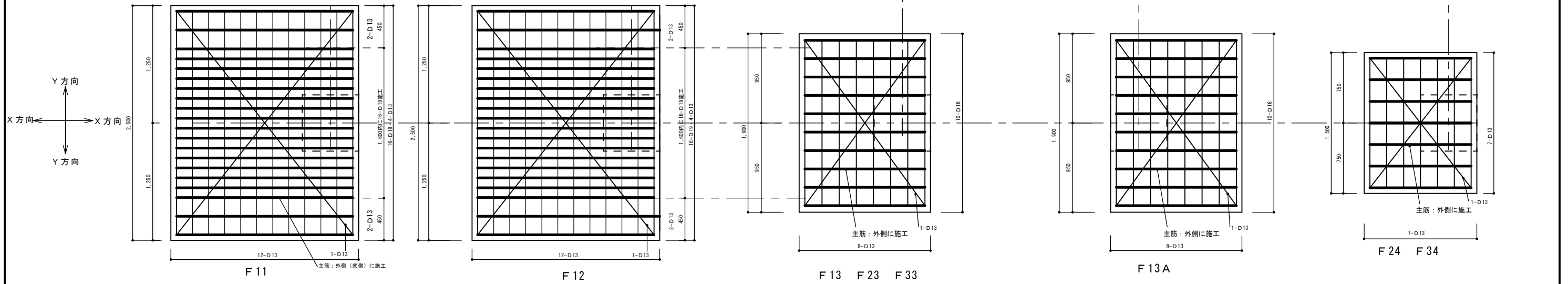
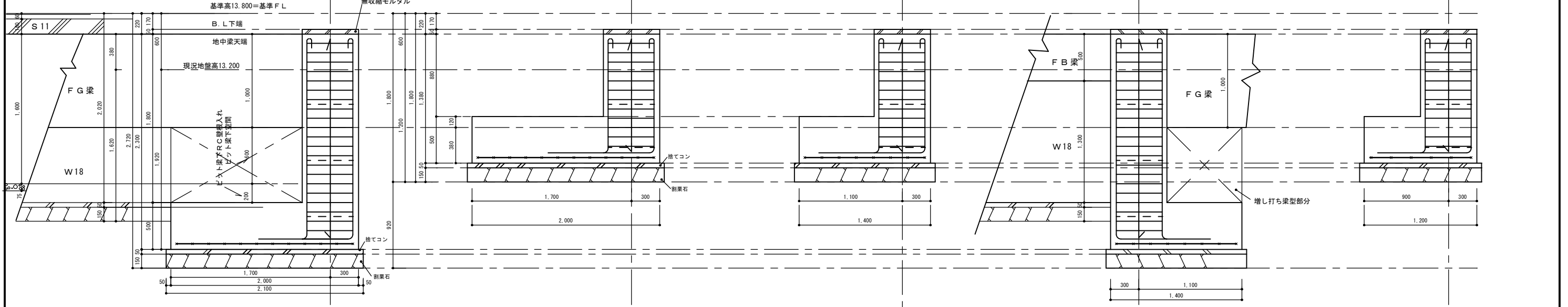
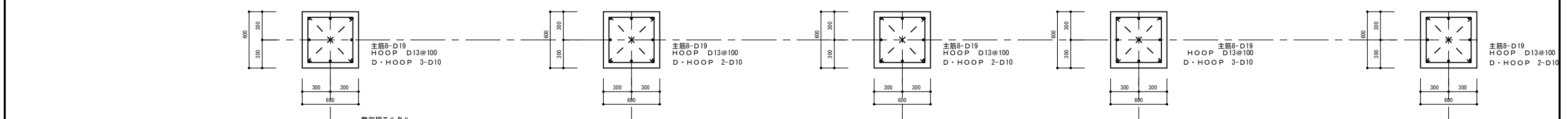
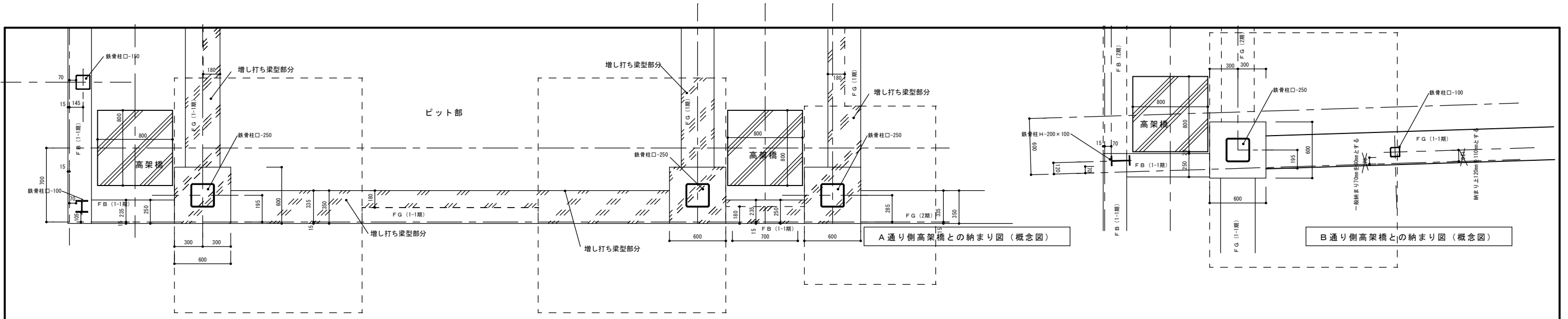
請負金額が5,000千円以上の工事については、工事実績情報（CORINS）の登録をすること。

(D) その他特記事項

- 1. 特に必要な監督員の検査等
- 2. 支給材料及び貸与品のある場合の品名、数量、規格性能、引渡し場所及び時期の特記
- 3. 部分引渡しを受ける「指定部分」の指定。
- 4. その他特記すべき事項
 - ① 建設リサイクル法に準ずる。
 - ② 使用する木材は、原則として全て地域材とする。
 - ③ 12cm角以下の材料はすべて県産材とする。
(ただし一般的に県産材の利用にはそぐわない材料は除く。)
 - ④ ③についてどうしても県産材の利用ができない場合（材料が調達できない場合等）については、監督員の承諾を受け地域材に替えることができることとする。

特記事項	エイシーエヌ (有) ACN 松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾普一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-34-3467	工 事 名	(仮称) 観光交流センター建設工事	縮 尺	N・S	日 付
	P. C. N O	図 名		現場説明書	図 番	A-1	担 当	

<p style="text-align: center;">(仮称) 観光交流センター建設 工事設計図</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 (金 祝)</p>		<p style="text-align: center;">章 項 目</p> <p style="text-align: center;">特 記 事 項</p>		<p>① 技能士</p>		<p>① 技能士 (1.5.2)</p> <table border="1"> <tr><th>適用工事種別</th><th>技能検定作業</th></tr> <tr><td>仮設工事</td><td>・とび作業</td></tr> <tr><td>鉄筋工事</td><td>・鉄筋組立作業</td></tr> <tr><td>コンクリート工事</td><td>・型枠施工 ・コンクリート圧送工事作業</td></tr> <tr><td>鉄骨工事</td><td>・構造物鉄筋工事作業 ・とび作業</td></tr> <tr><td>コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</td><td>・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業</td></tr> <tr><td>防水工事</td><td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートーーチ防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td></tr> <tr><td>石工事</td><td>・石張り作業</td></tr> <tr><td>タイル工事</td><td>・タイル張り作業</td></tr> <tr><td>木工事</td><td>・大工工事作業</td></tr> <tr><td>屋根及びとい工事</td><td>・内外装板金作業 ・スレート工事作業</td></tr> <tr><td>金属工事</td><td>・鋼管下地工事作業 ・内外装板金作業</td></tr> <tr><td>左官工事</td><td>・左官作業</td></tr> <tr><td>建具工事</td><td>・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td></tr> <tr><td>カーテンウォール工事</td><td>・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業</td></tr> <tr><td>塗装工事</td><td>・建築塗装作業</td></tr> <tr><td>内装工事</td><td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁張作業</td></tr> <tr><td>排水工事</td><td>・建築配管作業</td></tr> <tr><td>舗装工事</td><td>・道路舗装工事作業 ・加齢舗装工事作業</td></tr> <tr><td>緑地工事</td><td>・造園工事作業</td></tr> </table>		適用工事種別	技能検定作業	仮設工事	・とび作業	鉄筋工事	・鉄筋組立作業	コンクリート工事	・型枠施工 ・コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	・構造物鉄筋工事作業 ・とび作業	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業	防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートーーチ防水工事作業 ・FRP防水工事作業	石工事	・石張り作業	タイル工事	・タイル張り作業	木工事	・大工工事作業	屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業	金属工事	・鋼管下地工事作業 ・内外装板金作業	左官工事	・左官作業	建具工事	・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業	塗装工事	・建築塗装作業	内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁張作業	排水工事	・建築配管作業	舗装工事	・道路舗装工事作業 ・加齢舗装工事作業	緑地工事	・造園工事作業
適用工事種別	技能検定作業																																														
仮設工事	・とび作業																																														
鉄筋工事	・鉄筋組立作業																																														
コンクリート工事	・型枠施工 ・コンクリート圧送工事作業																																														
鉄骨工事	・構造物鉄筋工事作業 ・とび作業																																														
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業																																														
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートーーチ防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																														
石工事	・石張り作業																																														
タイル工事	・タイル張り作業																																														
木工事	・大工工事作業																																														
屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業																																														
金属工事	・鋼管下地工事作業 ・内外装板金作業																																														
左官工事	・左官作業																																														
建具工事	・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																																														
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業																																														
塗装工事	・建築塗装作業																																														
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁張作業																																														
排水工事	・建築配管作業																																														
舗装工事	・道路舗装工事作業 ・加齢舗装工事作業																																														
緑地工事	・造園工事作業																																														
<p>② 工事実績情報の登録 (1.1.4)</p>		<p>③ 品質計画 (1.2.2)</p> <p>・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速 (Vo= 34) ※地表面粗度区分 (・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ○積雪区分 告示第1455号 別表 () ・ 25 c m</p>		<p>12 化学物質の濃度測定 (1.5.9)</p> <p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ※行わない ・行う 測定対象室 ・図示 ・図示 測定箇所数 ・図示 ・図示 報告の様式等については、現場説明書による。</p>																																											
<p>④ 電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要 ・不要</p>		<p>5 条件明示項目 (1.3.5)</p>		<p>⑤ 完成図書 (1.7.1~3) (表1.7.1)</p> <p>※作成する ・作成しない (1.7.1~3) (表1.7.1)</p> <table border="1"> <tr><th>提出図書</th><th>提出部数</th><th>部</th></tr> <tr><td>※完成図書</td><td>※各2部</td><td>部</td></tr> <tr><td>※施工計画書</td><td>※1部</td><td>部</td></tr> <tr><td>※施工図</td><td>※1部</td><td>部</td></tr> <tr><td>※安全に関する資料</td><td>※1部</td><td>部</td></tr> </table>		提出図書	提出部数	部	※完成図書	※各2部	部	※施工計画書	※1部	部	※施工図	※1部	部	※安全に関する資料	※1部	部																											
提出図書	提出部数	部																																													
※完成図書	※各2部	部																																													
※施工計画書	※1部	部																																													
※施工図	※1部	部																																													
※安全に関する資料	※1部	部																																													
<p>⑤ 発生材の処理等 (1.3.8)</p> <p>※現場説明書による ・構外搬出適切処理</p>		<p>⑥ 化学物質を発生する建築材料等</p> <p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフルフルジーン・ブチル及びフルフルジーン・エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 <p>また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外</p> <ol style="list-style-type: none"> ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 <ol style="list-style-type: none"> a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 <p>第三種</p> <ol style="list-style-type: none"> ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品 																																													
<p>⑦ 建築材料等</p> <p>本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること <p>なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。</p> <p>また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。</p>		<p>⑧ 特別な材料の工法</p> <p>標柱に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p>		<p>⑧ 断熱材用型枠</p> <p>種類 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) (表3.2.1)</p> <p>※建設汚泥から再生した処理土</p> <p>※構外指示の場所</p> <p>受け入れ場所 () 搬出距離 (km) ・構外搬出適切処理 ・構内指示の場所にたい構内指示の場所に敷き均し</p>																																											
<p>⑧ 建設機械</p> <p>本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排気ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、排気ガス対策型建設機械に代えて、国交省で認定された排気ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排気ガス対策型と同等とみなすものとする。</p> <p>※排気ガス対策型建設機械とは、排気ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された排気ガス対策型建設機械をいう。</p> <table border="1"> <tr><th>機 種</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>・バックホウ ・トラクタショベル (車軸式) ・ブルドーザ ・発電発電機 (可搬式) ・空気圧縮機 (可搬式) ・油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの ・油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・アースオーガ ・オールケーシング掘削機・リバースサーキュレーションドリル ・アースドリル・地下連続壁施工機・全周掘削オールケーシング掘削機 ・ローラ類 ・ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン</td><td>ディーゼルエンジン (エンジン出力7.5kW以上260kW以下) を搭載した建設機械を指す。</td></tr> </table> <p>※建設機械を使用しないときは、エンジンを停止するなど建設機械の稼働時間の抑制に努めること。</p> <p>・低騒音型建設機械の適用 建設機械名 ・杭打ち機 ・トラクタショベル ・バックホウ ・ブルドーザ</p>		機 種	備 考	・バックホウ ・トラクタショベル (車軸式) ・ブルドーザ ・発電発電機 (可搬式) ・空気圧縮機 (可搬式) ・油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの ・油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・アースオーガ ・オールケーシング掘削機・リバースサーキュレーションドリル ・アースドリル・地下連続壁施工機・全周掘削オールケーシング掘削機 ・ローラ類 ・ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン (エンジン出力7.5kW以上260kW以下) を搭載した建設機械を指す。	<p>⑨ 設計GL</p> <p>※図示 ・設計GL=現状GL</p>		<p>⑨ 工事写真</p> <p>・「登録工事電子納品要領 (案) (平成14年11月改訂版)」による。</p>																																							
機 種	備 考																																														
・バックホウ ・トラクタショベル (車軸式) ・ブルドーザ ・発電発電機 (可搬式) ・空気圧縮機 (可搬式) ・油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの ・油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・アースオーガ ・オールケーシング掘削機・リバースサーキュレーションドリル ・アースドリル・地下連続壁施工機・全周掘削オールケーシング掘削機 ・ローラ類 ・ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン (エンジン出力7.5kW以上260kW以下) を搭載した建設機械を指す。																																														
<p>⑨ 2 仮設工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土 (2.3.1)</p> <p>② 工事用水 (2.3.1)</p> <p>③ 工事用電力 (2.3.1)</p> <p>④ 枠組足場</p> <p>枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省 平成15年4月)により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の性能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、又は改善措置器材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。</p>		<p>⑩ 2 仮設工事</p> <p>① 既製コンクリート杭地業 (4.3.1.2)</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>仕様</th></tr> <tr><td>・</td><td>※高強度プレストレストコンクリート杭</td></tr> <tr><th>試験杭</th><th>杭径 (mm)</th><th>杭長 (m) 及び種別</th><th>継手数</th><th>セット数</th><th>備考</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>杭頭の処理 ※切断しない (4.3.7)</p> <p>先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2)</p> <p>杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。 (4.3.6)</p> <p>施工法 (4.3.3~5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定埋込み杭工法 ・H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 ・H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=、β=、γ=を採用できる工法 		種類	仕様	・	※高強度プレストレストコンクリート杭	試験杭	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考																																		
種類	仕様																																														
・	※高強度プレストレストコンクリート杭																																														
試験杭	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考																																										
<p>⑩ 3 土工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土 (2.3.1)</p> <p>② 建設発生土の処理 (3.2.5)</p>		<p>⑩ 4 地業工事</p> <p>1 既製コンクリート杭地業 (4.3.1.2)</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>仕様</th></tr> <tr><td>・</td><td>※高強度プレストレストコンクリート杭</td></tr> <tr><th>試験杭</th><th>杭径 (mm)</th><th>杭長 (m) 及び種別</th><th>継手数</th><th>セット数</th><th>備考</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>杭頭の処理 ※切断しない (4.3.7)</p> <p>先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2)</p> <p>杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。 (4.3.6)</p> <p>施工法 (4.3.3~5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定埋込み杭工法 ・H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 ・H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=、β=、γ=を採用できる工法 		種類	仕様	・	※高強度プレストレストコンクリート杭	試験杭	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考																																		
種類	仕様																																														
・	※高強度プレストレストコンクリート杭																																														
試験杭	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考																																										
<p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成16年版)」(以下、「標準仕様」という。)による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の () 内表示番号は、標柱の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の (別) は (5.3.7) による別図「各部配筋」の当該項目を示す。 (5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また () 内は製品名を示す。 (6) □印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」の特定調達品を示す。</p>		<p>⑪ 6 コンクリート工事</p> <p>① 普通コンクリートの設計基準強度 (6.1.4)</p> <table border="1"> <tr><th>設計基準強度F_c (N/mm²)</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>※21</td><td>建物躯体 (建物内土間コンクリートを含む)</td></tr> <tr><td>・18</td><td></td></tr> </table> <p>※1類 ・Ⅱ類 (6.1.5) (6.4.1.2) (表6.1.1)</p> <p>② スランブ (6.2.3)</p> <p>③ セメントの種類 (6.3.2) (6.13.2) (6.16.2) (表6.3.1)</p> <table border="1"> <tr><th>セメントの種類</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</td><td>下記以外の全て</td></tr> <tr><td>・高炉セメントB種 □</td><td>1FLより下部 (立上り部含む)</td></tr> </table> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p> <table border="1"> <tr><th>水和熱</th><th>7d</th><th>352J/g以下</th></tr> <tr><th></th><th>28d</th><th>402J/g以下</th></tr> </table> <p>④ 骨材の種類 (6.3.3) (6.5.4)</p> <p>※A ・B (※コンクリート中のアルカリ総量R_t=3.0kg/m³以下)</p> <p>⑤ 混和材料 (6.3.5) (6.4.8)</p> <p>※混和剤 ・混和材</p> <p>⑥ 7 無筋コンクリート (6.14.3)</p> <p>設計基準強度F_c (N/mm²) ※18</p> <p>セメントの種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 □ (捨てコンクリート)</p> <p>⑦ 8 コンクリート躯体表面の処理</p> <p>外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。 高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ ※20mm ※施工範囲は図示による。</p> <p>⑧ 9 断熱材用型枠</p> <p>適用及び適用箇所について 標柱19章内装工事14断熱材による。</p> <p>⑨ ⑩ 単位水量の測定 ・行う ○行わない</p>		設計基準強度F _c (N/mm ²)	施工箇所	※21	建物躯体 (建物内土間コンクリートを含む)	・18		セメントの種類	施工箇所	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	下記以外の全て	・高炉セメントB種 □	1FLより下部 (立上り部含む)	水和熱	7d	352J/g以下		28d	402J/g以下																										
設計基準強度F _c (N/mm ²)	施工箇所																																														
※21	建物躯体 (建物内土間コンクリートを含む)																																														
・18																																															
セメントの種類	施工箇所																																														
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	下記以外の全て																																														
・高炉セメントB種 □	1FLより下部 (立上り部含む)																																														
水和熱	7d	352J/g以下																																													
	28d	402J/g以下																																													
<p>設計変更年月日</p> <table border="1"> <tr><td>1回</td><td>年</td><td>月</td><td>日</td></tr> <tr><td>2回</td><td>年</td><td>月</td><td>日</td></tr> <tr><td>3回</td><td>年</td><td>月</td><td>日</td></tr> </table>		1回	年	月	日	2回	年	月	日	3回	年	月	日	<p>工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事</p> <p>縮尺</p>		<p>担当 (有) エィシーエヌ松尾建築設計事務所</p> <p>1級建築士 第 135609 号 松尾 普一</p>																															
1回	年	月	日																																												
2回	年	月	日																																												
3回	年	月	日																																												
<p>特記仕様書 (建築) その1</p> <p>設計 年 月 日</p>		<p>図面名</p>		<p>図番 A / 2</p>																																											



特記事項	P. C. NO		エィシーエヌ (有) ACN松尾建築設計事務所	一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大学大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467	工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事	縮尺	1/30	日付	
						図名	基礎詳細図	図番	S-4

建物概要・外部仕上表			用途	物品販売店	用途地域	商業地域：80/400	その他	22条地域	工事区分	別図「仮囲い計画図」参照		工事部分
			防火		消防法上の扱い：木造扱い・内装不燃および準不燃							
当該工事部分	構造概要	上部構造：鉄骨造平家建	下部構造：独立フーチング基礎	地業：割栗石（直接基礎）								
高架構（既存）部分	基礎	柱・梁	壁	1階床	屋根							
注 JR側の躯体とは埋設部とも縁切にて納め必要なヶ所はポリスチレンフォームまたはエラストイトを用いる												
外部仕上げ全体 基点高13,800とG.Lとの関係はJR側と調整のこと。外壁水切、タイル仕様についてはJR側と調整のこと。 JR側の躯体とは埋設部とも縁切にて納め 必要なヶ所はシーリング納め。												
屋根	当該工事：なし											
軒樋	当該工事：なし 但し外壁とのシーリングは当該工事											
縦樋・溜枳	縦樋 這樋ともJR工事。但し北側庇用の縦樋、埋設排水管は当該工事 溜枳：全てJR工事											
外壁	南面	北面	西面									
	下地 鉄骨 仕上 押し出し成形セメント板（ブリック）厚60mm+セツ膏質二丁掛ブリックタイル貼	鉄骨 押し出し成形セメント板（ブリック）厚60mm+セツ膏質二丁掛ブリックタイル貼	鉄骨 押し出し成形セメント板（ブリック）厚60mm+外装薄塗材E（多彩陶キヤスト状仕上）									
根廻り	下地 コンクリート立ち上がり 御影石厚20mm本磨き	コンクリート立ち上がり 御影石厚20mm本磨き	コンクリート立ち上がり 御影石厚10mm本磨き									
	下地 トイレ説明板：別図「木製建具及び雑工事」参照	施設銘板：別図「木製建具及び雑工事」参照 重名板：アクリル板 シルク文字75×300 換気筒カバー：設置工事 外壁下部水切：フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm	郵便受箱（ダイヤル鍵付） H240×W340×D145ステンレス：新協和SMP-7同等品 外壁開口下部水切：カラーSUS304 厚0.4mm トイレ説明板：別図「木製建具及び雑工事」参照 電灯分電盤用開口は2期工事において移設のため開口を塞ぐ 電灯分電盤用外壁開口：1期工事									
備考												
バラベツト 庇 (物産展示場北側入り口)	屋根裏内蔵	特殊耐酸被覆鋼板厚0.4mm										
	笠木	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm										
	幕板	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm										
	軒天	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm										
	床	磁器タイル150角 床は周辺地盤高とスリツケにて納める										
屋外開放通路	床	下地										
	仕上	コンクリート舗装厚150mm+視覚障害者用表示点字タイル貼り										
	軒天	下地	軽量鉄骨LGS+W25型@303									
	幕板	下地	軽量鉄骨LGS									
*注 1. 仮設計画は関係者間にて調整するものとする。 *注 2. 当該工事の外部仕上げ高はJR側資料により調整するものとする。 よって関連する「機械室床高、湯沸室脊摺周辺高。屋外開放通路高、床スリーブ施工高、排水管施工高等」は参考値とする。 *注 3. 設備工事に関連する建築工事部分は、設備図面及びJR側資料により調整するものとする。（例：床開口及び壁、天井開口位置。スリーブ位置。消防設備及び設備機器の位置等） *注 4. ラテ外コンコースについてはJR側と調整のこと。（例：建具関係寸法の確認、納まり、床タイル割り、幅木の納まり等）												



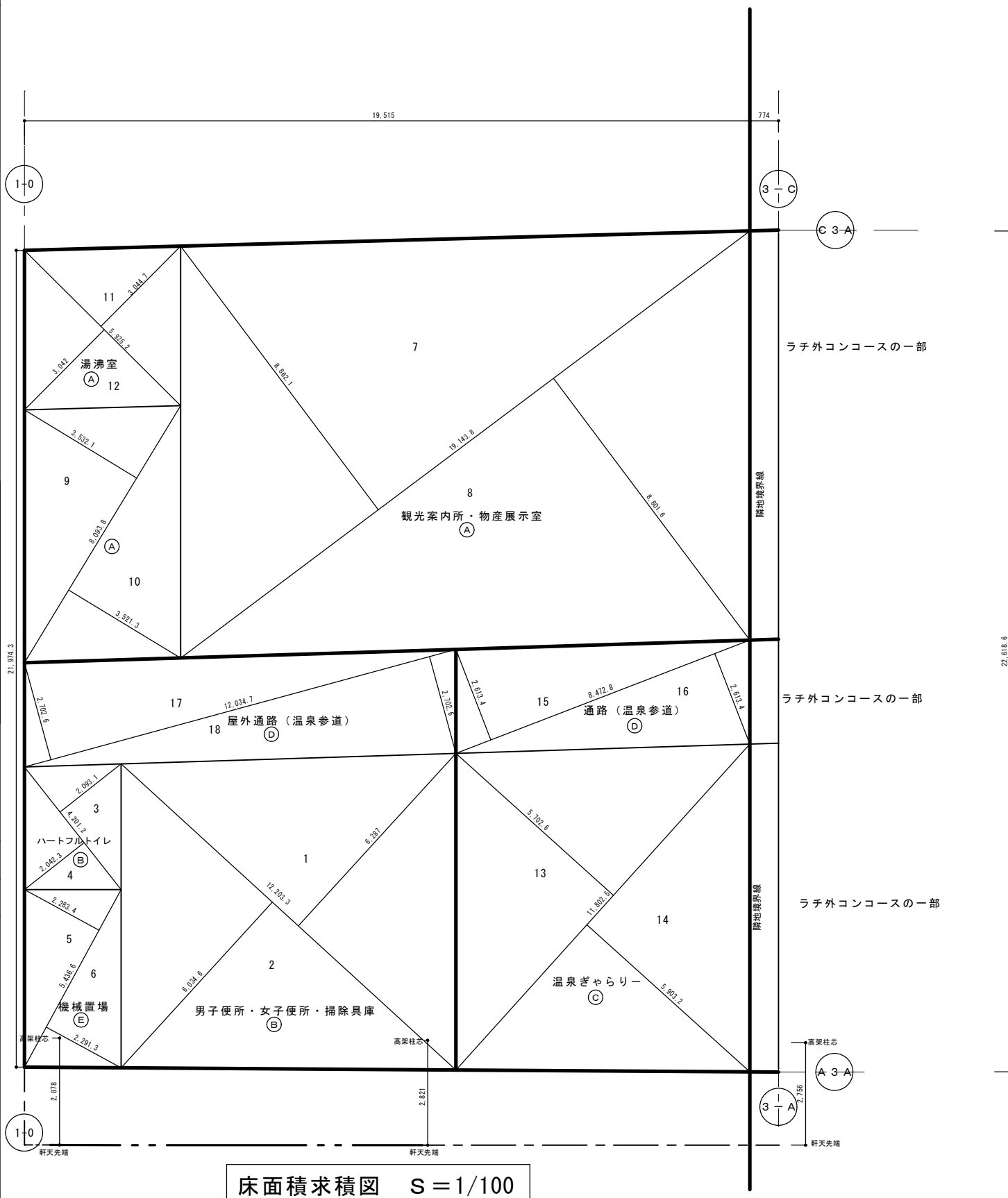
内部仕上表			ホルムアルデヒド対策：建材、塗料、接着材は建具を含みF4（☆☆☆☆）又は規制対象外を採用のこと。 仕上材及び下地材、骨材、構造材とも全て不燃材とする。				湯沸室の流し台、バックガード付コンロ台、吊戸棚、水切棚、コンロフード、屋外フード、不燃材：設備工事 便所の鏡、化粧洗面台、手摺：設備工事																							
工期	室名	天井高	下地	材料名	厚	床高	シツクハウス 対電線別	幅木	材料名	H (FL+)	シツクハウス 対電線別	天井	材料名	シツクハウス 対電線別	廻り縁	室名札	その他													
1-2期工事 2期工事	ラテ外コンコース (3通り境界線の東面)	3.000	下地	*下地及び仕上げともJR側の工事		FL+0		*下地及び仕上げともJR側の工事				*下地及び仕上げともJR側の工事					アルミ複合パネル下部及び両サイドを曲げ加工													
1-2期工事	温泉ざやらりー	3.000	下地	RC+モルタルレベル調整厚10mm		FL+0		軽鉄LGS+プラスターボード厚12.5mm			軽鉄LGS19型+プラスターボード厚9.5mm				1枚		便所側壁の 押し出しセメント板は高架構スラブ下-25mmまで延ばしシーリング ビクチャーレールアルミ：天井付フック30個 アルミ製ブラインドボックス 型型ブラインドW80 床仕上げ区分目地地：真鍮3×12													
2期工事	屋内通路（温泉参道）	3.000	下地	RC+カラ練りモルタル		FL+0		軽鉄LGS+プラスターボード厚12.5mm			軽鉄LGS19型+プラスターボード厚9.5mm				1枚		アルミ製ブラインドボックス（1-1期） 型型ブラインドW80 床仕上げ区分目地地：真鍮3×12													
	観光案内所 物産展示室	3.000	下地	RC+モルタルレベル調整厚10mm ホモジニアスピニルタイル厚2.5mm 457mm角 目地9.14mm		FL+0		軽鉄LGS+プラスターボード厚12.5mm			軽鉄LGS19型+プラスターボード厚9.5mm				2枚		ビクチャーレールアルミ：天井付フック30個 アルミ製ブラインドボックス 型型ブラインドW80 床仕上げ区分目地地：真鍮3×12 間仕切木製建具材：OS CL塗り AW-13部分（サッシは1-1期）：模型ブラインド													
1-1期工事	湯沸室	2.500	下地	RC+モルタルレベル調整厚10mm		FL+0		軽鉄LGS			軽鉄LGS19型				1枚		サイドパネル付流合 SUS (304) L=1200 バックガード付コンロ台L=750 (SUS430) 吊戸棚L=1050H520 (不燃処理) 水切：SUS304厚0.6mm 屋内コンロ用フード 水切棚 SUSL=1050 換気扇不燃材 AW-13部分：模型ブラインド													
	屋外通路（温泉参道） *床面積を含む部分	3.000	下地	RC+カラ練りモルタル		FL+0		コンクリート立ち上り			軽鉄LGS+プラスターボード厚9.5mm						床仕上げ区分目地地：真鍮3×12 トイレ説明板：別図「木製建具及び雑工事」参照 （温泉ギャラリー側間仕切 高架構スラブ下までグラスウール24kg/m3厚100mm充填）化粧洗面台 化粧洗面台 プース 塗り付けペンチ 開口浴槽：御影石厚30mm 水磨きスリット加工幅10h3@75mm プース内欄：250×350×25 開口上枠（焼付塗装） SUS304厚1.5mm 腰壁天版：御影石厚25mm 本磨き 開口堅枠：御影石厚25mm 本磨き 目隠し袖壁：御影石厚40mm 本磨き													
1-1期工事	女子便所 男子便所 (地下ビツト有り)	2.700	下地	モルタル	25	FL+0		コンクリート立ち上り+モルタル			CB+モルタル				5枚															
	ハートフルトイレ *コーティング (地下ビツト有り)	2.700	下地	モルタル	25	FL+0		コンクリート立ち上り+モルタル			CB+モルタル				1枚															
1-1期工事	掃除具庫 *コーティング (地下ビツト有り)	2.700	下地	モルタル	25	FL+0		コンクリート立ち上り+モルタル			CB+モルタル																			
	機械置場	3.000	下地	コンクリート		FL+0		RC+モルタル塗厚15mm			軽鉄LGS 25型						フェンスH1500 扉W800 鍵付（樹脂コト品）：朝日ユニフェンス同等品 鉄骨：錆止め塗装（JIS5622）+SOP													
外壁廻りの内装用軽鉄W65 @303 塗り付けペンチ：集材厚60mm幅450mm ウレタン塗装UC-1 化粧ケイカル板厚6mm：ニチアスアスラックス200標準準色同等品とし出隅はカラーアルミ役物													トイレブース：熱硬化性フェノール樹脂板厚13mm ステンレス幅木ステンレス笠木式		*面付室名札：アクリル板 シルク文字 75×300 *天井吊式室名札：幅1400×430 *面付式室名札：幅1400×430 *円型型ビツトサイン：200×200															
間仕切フロントサツ取り付き部用軽鉄W100 @303 シーリング：流台、水切、吊戸棚廻り：防カビ性能シリコン系 10×7/2 天井下地軽鉄LGS は特記なき限り19型													アルミ複合パネルは三菱産資（株）アルポリック/fer同等品とする		*別図「木製建具及び雑工事」参照															
特記以外の間仕切用軽鉄W65 @303 アルミ複合パネルは横構方向とも目地3ミリとし目地は変性シリコン充填 コーナー及び下がり壁の下部部分は曲げ加工													アルミ複合パネルの目地は変性シリコンシーリングとする																	
材料等略号																														
RC - 鉄筋コンクリート PB - 石膏ボード 厚9.5mm準不燃QM9828 厚12.5mm不燃NM8619 SOP-合成樹脂調合ペイント塗り EP-合成樹脂エマルジョンペイント塗り VP-塩化ビニール樹脂エナメル塗り GL-クリヤーラッカー塗り W - 樹脂ワックス (2回塗り) WPS-着色木材保護塗装													2UE塗り -2液形ポリウレタンエナメル塗り UC-1 -1液形変性ポリウレタン樹脂ニス塗り OS CL-オイルステイン クリヤーラッカー塗り		*コーティング		*面付（ガラス面を除く） グラフィティガードUR518		*面付（ガラス面を除く）		*面付（ガラス面を除く）		*面付（ガラス面を除く）							
RC - 鉄筋コンクリート CB - 空洞コンクリートブロック LGS - 軽量鉄骨													ケイカル板：無石棉種セメントフリー酸カルシューム板 化粧ケイカル板：化粧繊維層入りケイカルシューム板 アルミ複合パネル厚3mm 押し出し成形セメント板厚20 (ラムダ720ヨコP-Y同等品) 押し出し成形セメント板厚60 耐火仕切間 (壁紙 F.P.060N.E-9035 構架060N.E-9036)		ケイカル板厚6mm		ケイカル板厚6mm		ケイカル板厚6mm		ケイカル板厚6mm		ケイカル板厚6mm		ケイカル板厚6mm		ケイカル板厚6mm		ケイカル板厚6mm	
特記事項													Eishi-e-nu (有) ACN松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467		工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事		縮尺 N.S		日付									
													P.C.NO				建物概要 仕上表		図番 A-7		担当									

床面積求積表

位置	式	小計: m ²	計: m ²	合計: m ²	総計: m ²
1-1 期工事	男子便所・女子便所 掃除具庫	1 12,203.3 × 6.287 × 0.5	38,361,073.55	75,181,190.64	約38.98坪 128.8283991 (128.82)
		2 12,203.3 × 6.034.6 × 0.5	36,821,017.09		
	身障者置場	3 4,201.2 × 2.093.1 × 0.5	4,396,765.86	8,686,821.24	
		4 4,201.2 × 2.042.3 × 0.5	4,290,055.38		
	機械置場	5 5,436.6 × 2,283.4 × 0.5	6,206,966.22	12,435,407.01	
		6 5,436.6 × 2,291.3 × 0.5	6,228,440.79		
屋外通路(温泉参道)	18 12,034.7 × 2,702.6 × 0.5	16,262,490.11	32,524,980.22		
	17 12,034.7 × 2,702.6 × 0.5	16,262,490.11			
1-2 期工事	通路(温泉参道)	15 2,613.4 × 8,472.8 × 0.5	11,071,407.76	22,142,815.52	約27.42坪 90.63175702 (90.63)
		16 2,613.4 × 8,472.8 × 0.5	11,071,407.76		
	温泉ぎやらしー	14 11,802.5 × 5,903.2 × 0.5	34,836,259	68,488,941.5	
		13 11,802.5 × 5,702.6 × 0.5	33,652,468.25		
2 期工事	観光案内所 物産展示室	7 19,143.8 × 8,862.1 × 0.5	84,827,134.99	169,075,17	約65.24坪 215.6520319 (215.65)
		8 19,143.8 × 8,801.6 × 0.5	84,248,035.04		
		9 8,093.8 × 3,532.1 × 0.5	14,294,055.49		
	会議室	10 8,093.8 × 3,521.3 × 0.5	14,250,348.97	28,544,404.46	
		11 5,925.2 × 3,044.7 × 0.5	9,020,228.22		
		12 5,925.2 × 3,042 × 0.5	9,012,229.2		
1期工事の合計				約66.40坪 (219.46)	確認申請用 床面積 約130.05坪 (435.10)
1期工事・2期工事の合計				(435.10)	

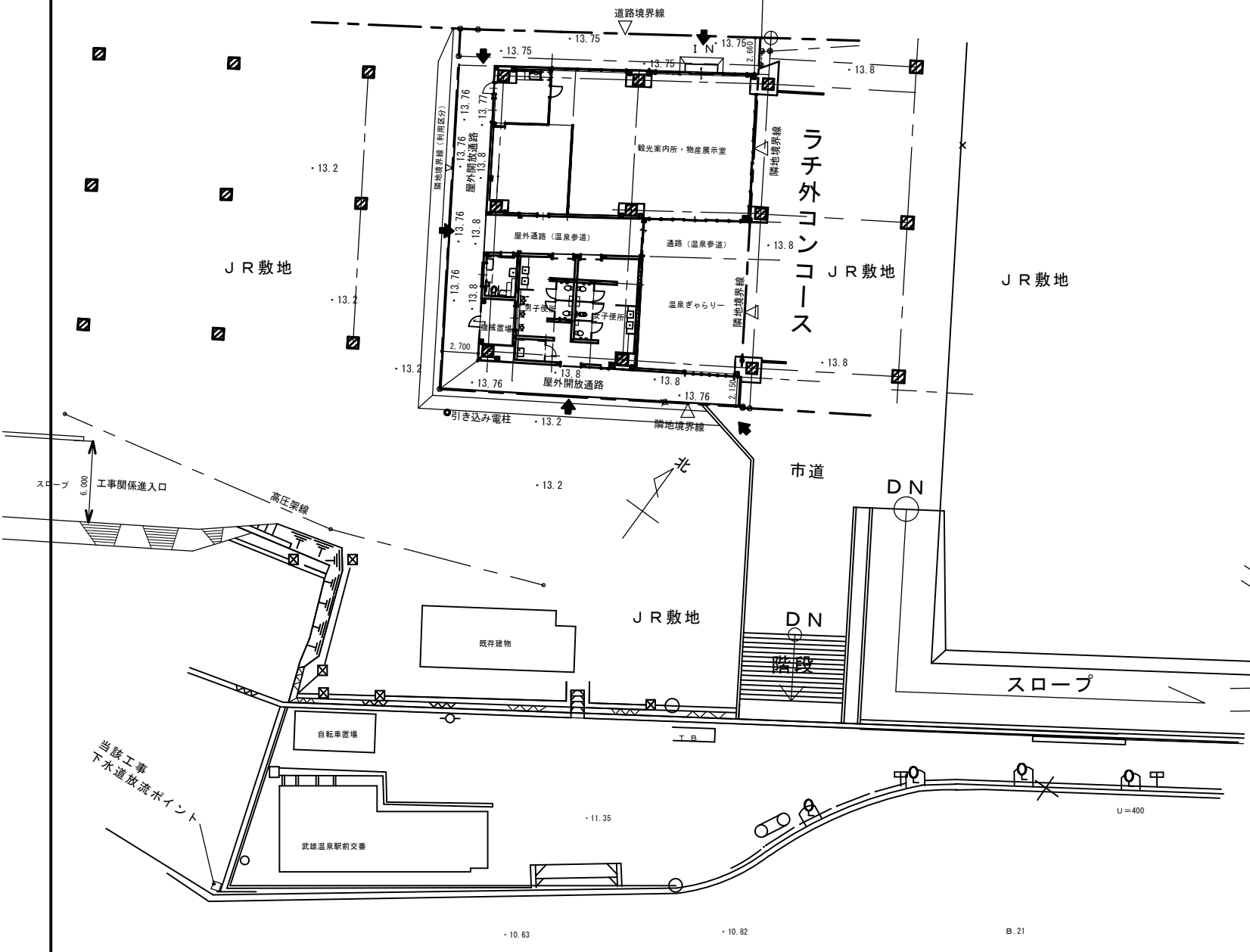
建築面積求積表

位置	式	小計: m ²	計: m ²	合計: m ²	総計: m ²
1-1 期工事	床面積に同じ			(128.82)	(219.45)
1-2 期工事	床面積に同じ			(90.63)	(435.10)
2 期工事	床面積に同じ			(215.65)	(435.10)



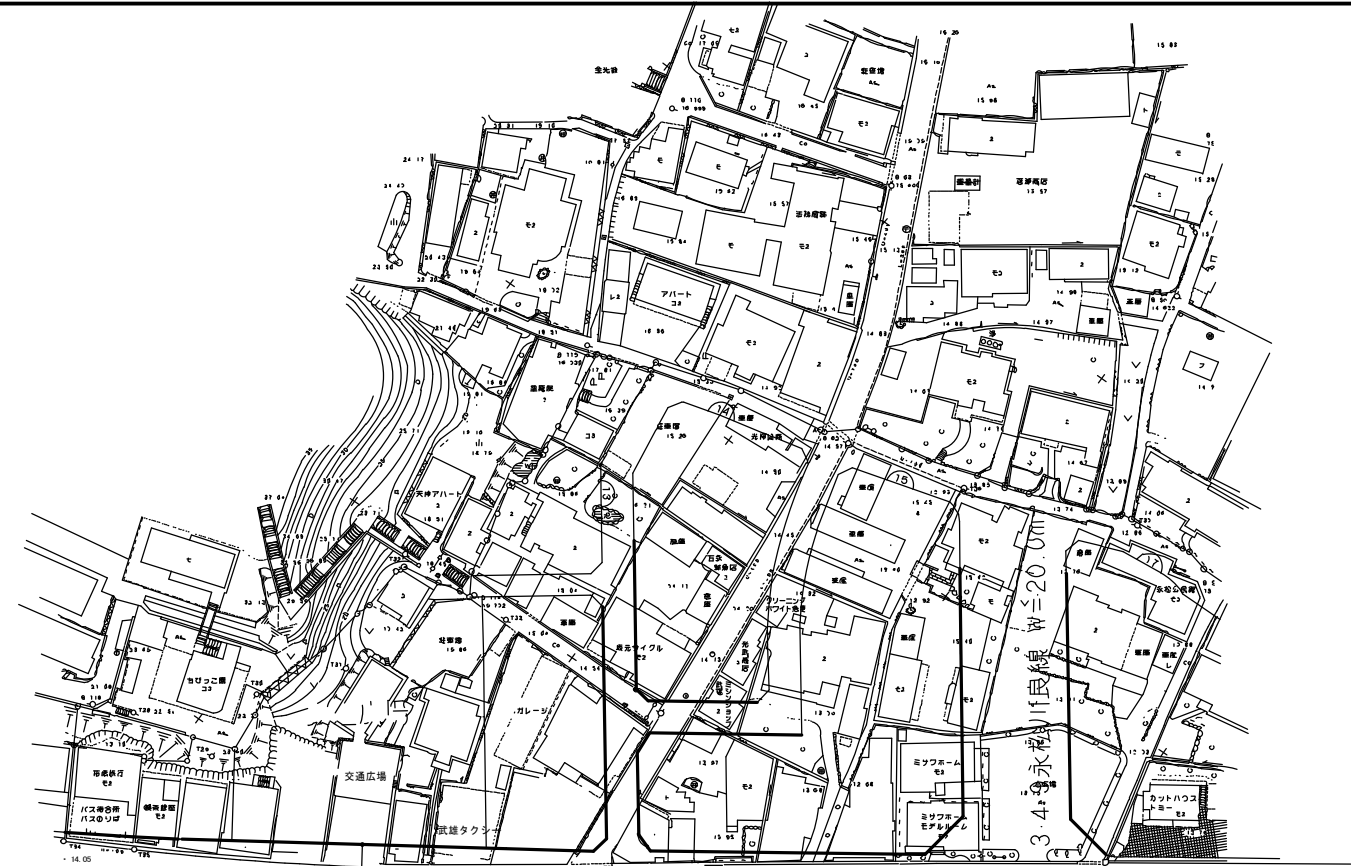
用途別床面積					
工期	記号	用途	床面積: m ²		
2期	A	物品販売店	215.65	観光案内所 物産展示室	197.37
				湯沸室 分電盤スペース	18.28
1期	B	公共施設 公衆便所	368.01	83.87	219.45
	C				
	D	通路			
	E	機械置場			
	その他				
合計			435.10		

至 武雄市役所 ← 県道甘久武雄線 → 至 高橋駅

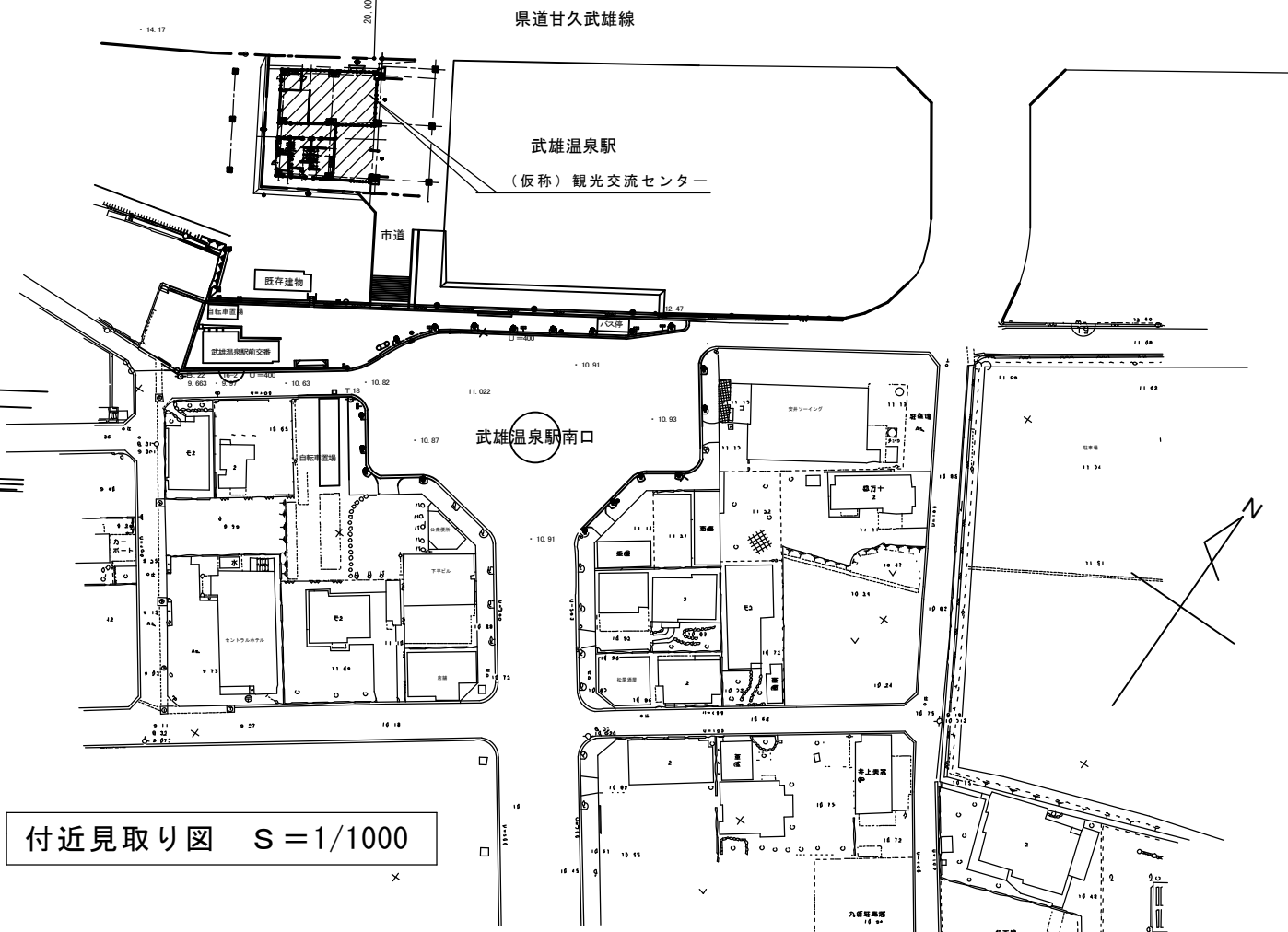


配置図 S=1/300

県道甘久武雄線の舗装高は計測確認のうえ排水先のポイントを計画選定のこと



付近見取り図 S=1/1000



特記事項
参考：配置図は平面図より傾斜-3.294度にて作図したもの

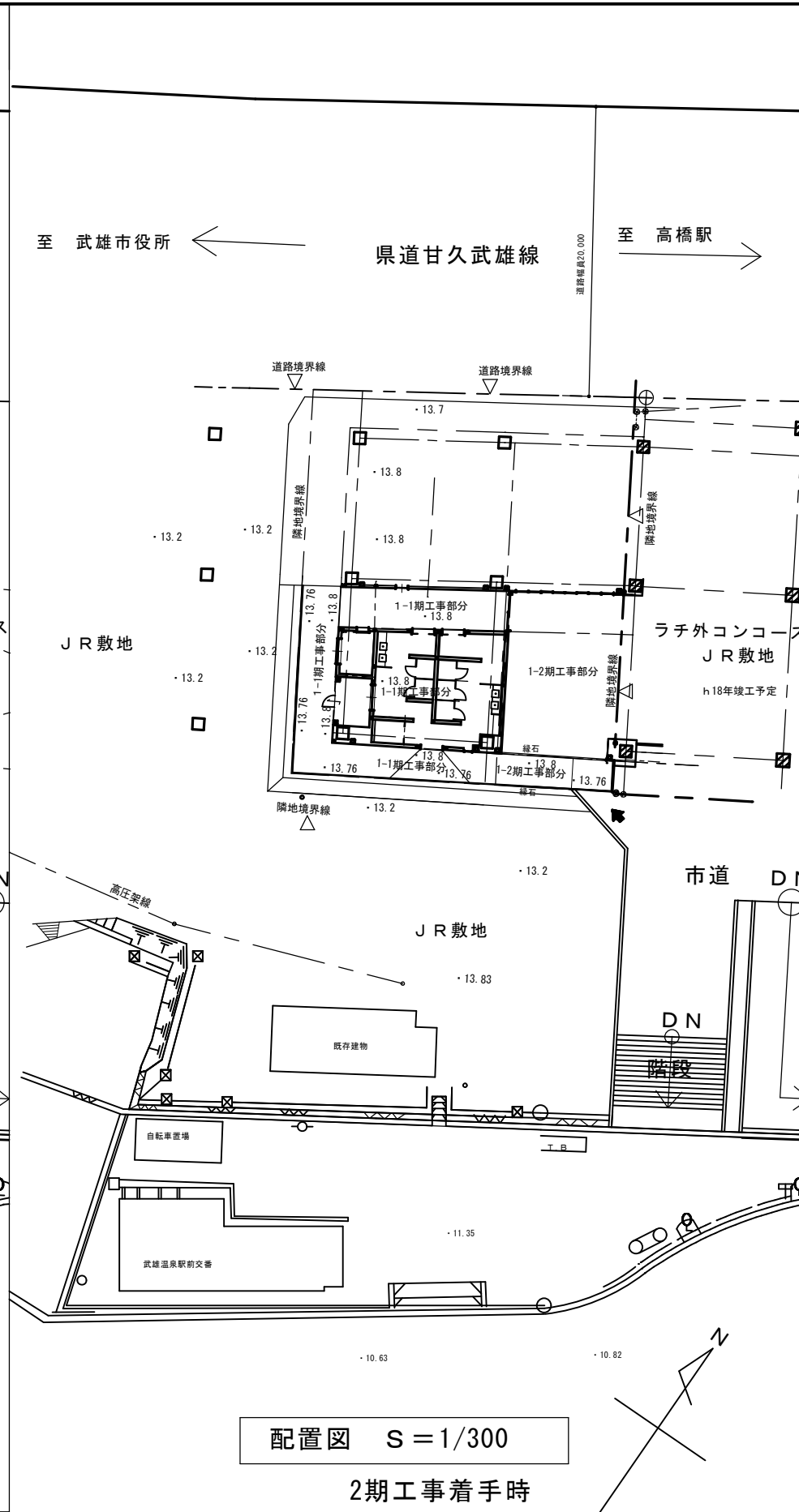
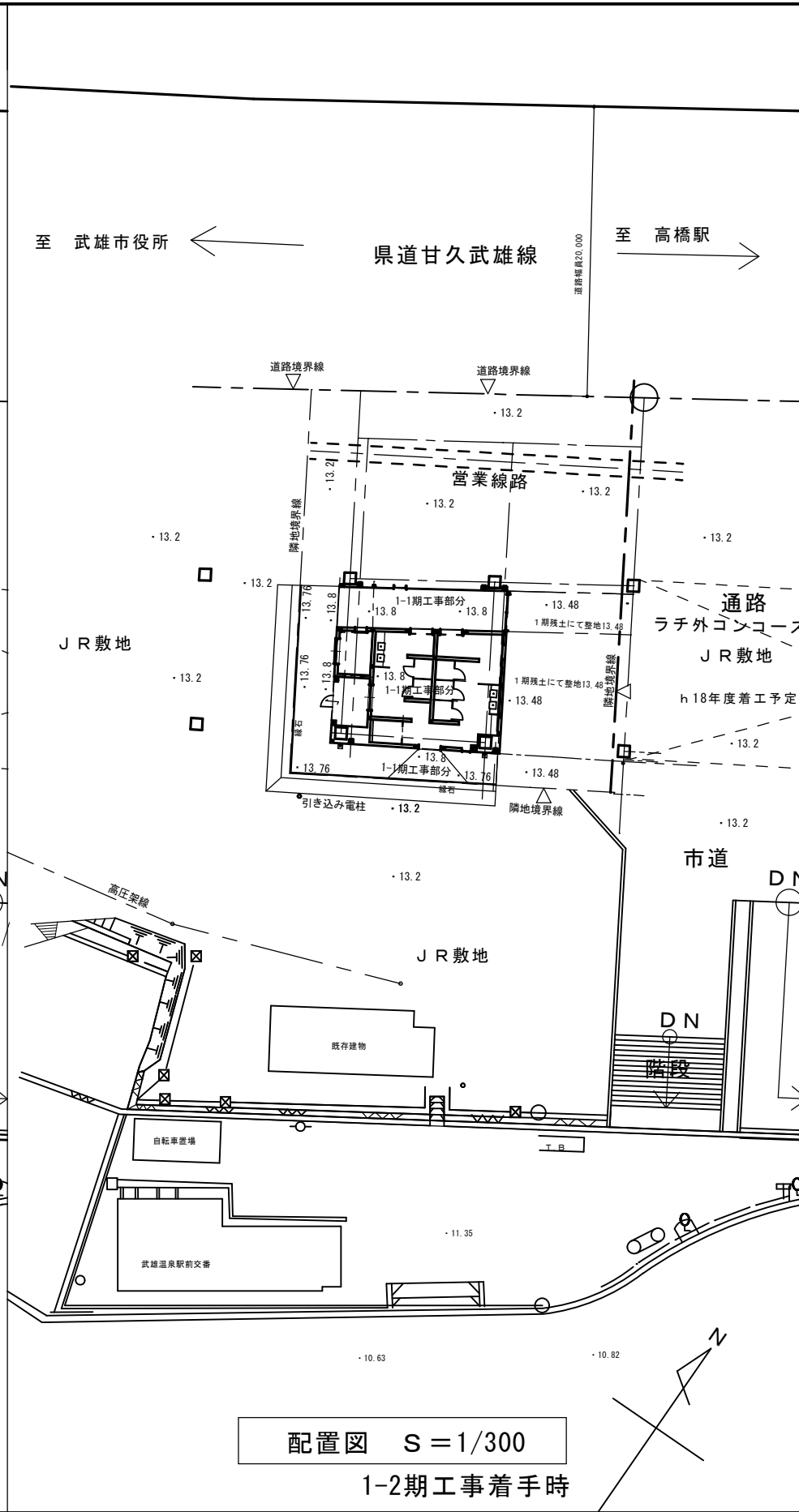
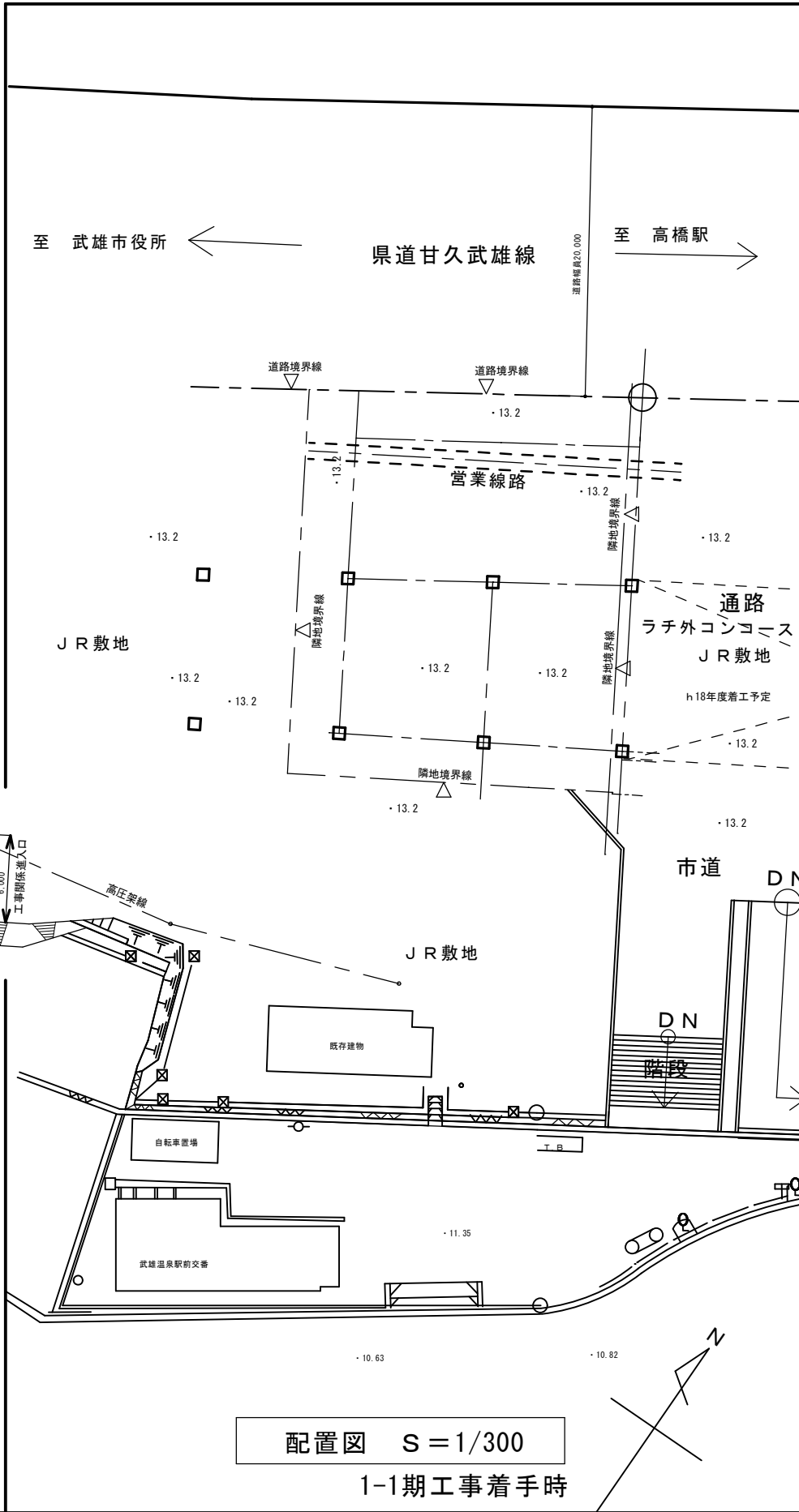
エイシーエス
(有) A C N 松尾建築設計事務所

一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一
〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地
TEL 0954-36-3466
FAX 0954-36-3467

工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事
図名 配置図 付近見取り図

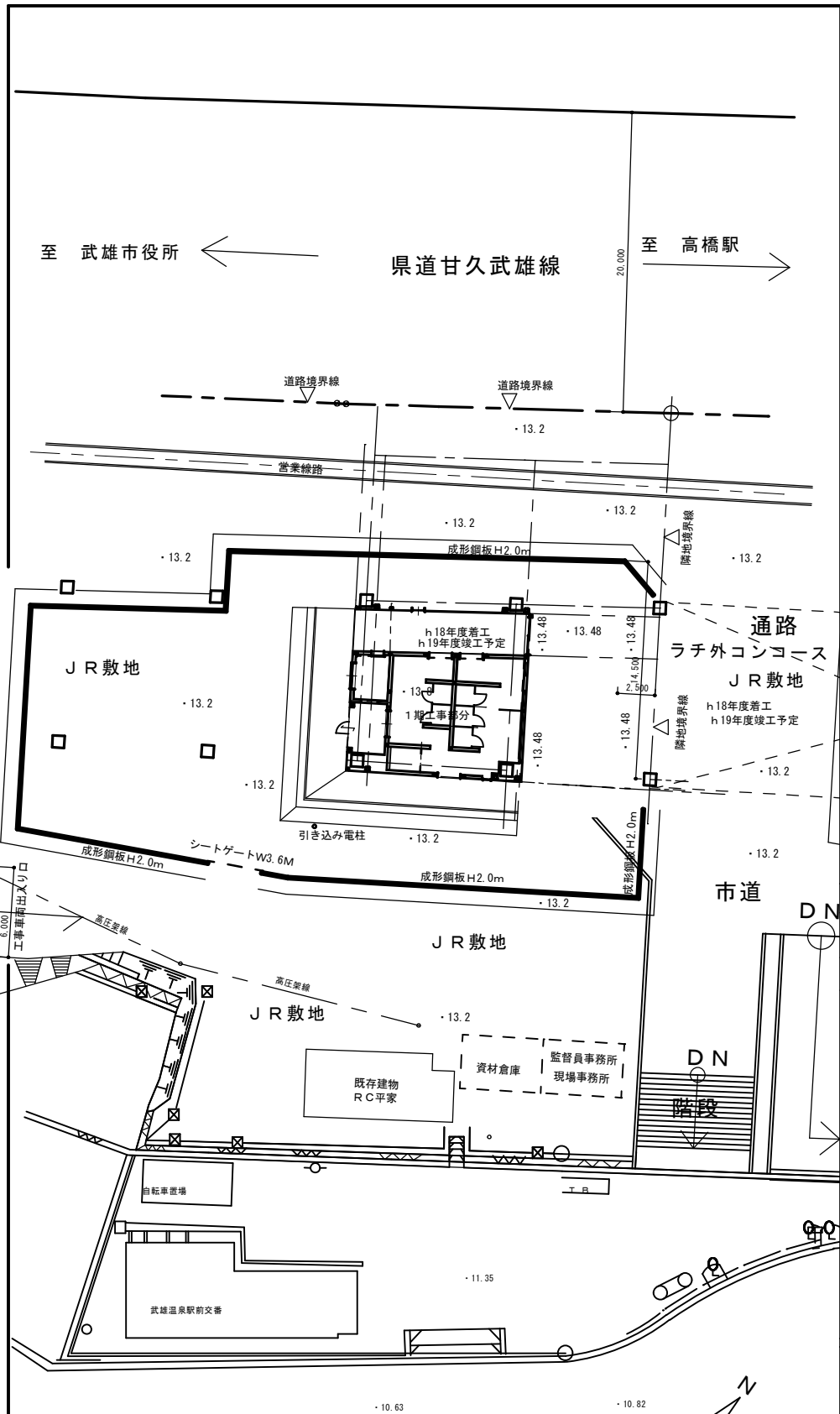
縮尺 1/300
1/1000
図番 A-10

日付 担当

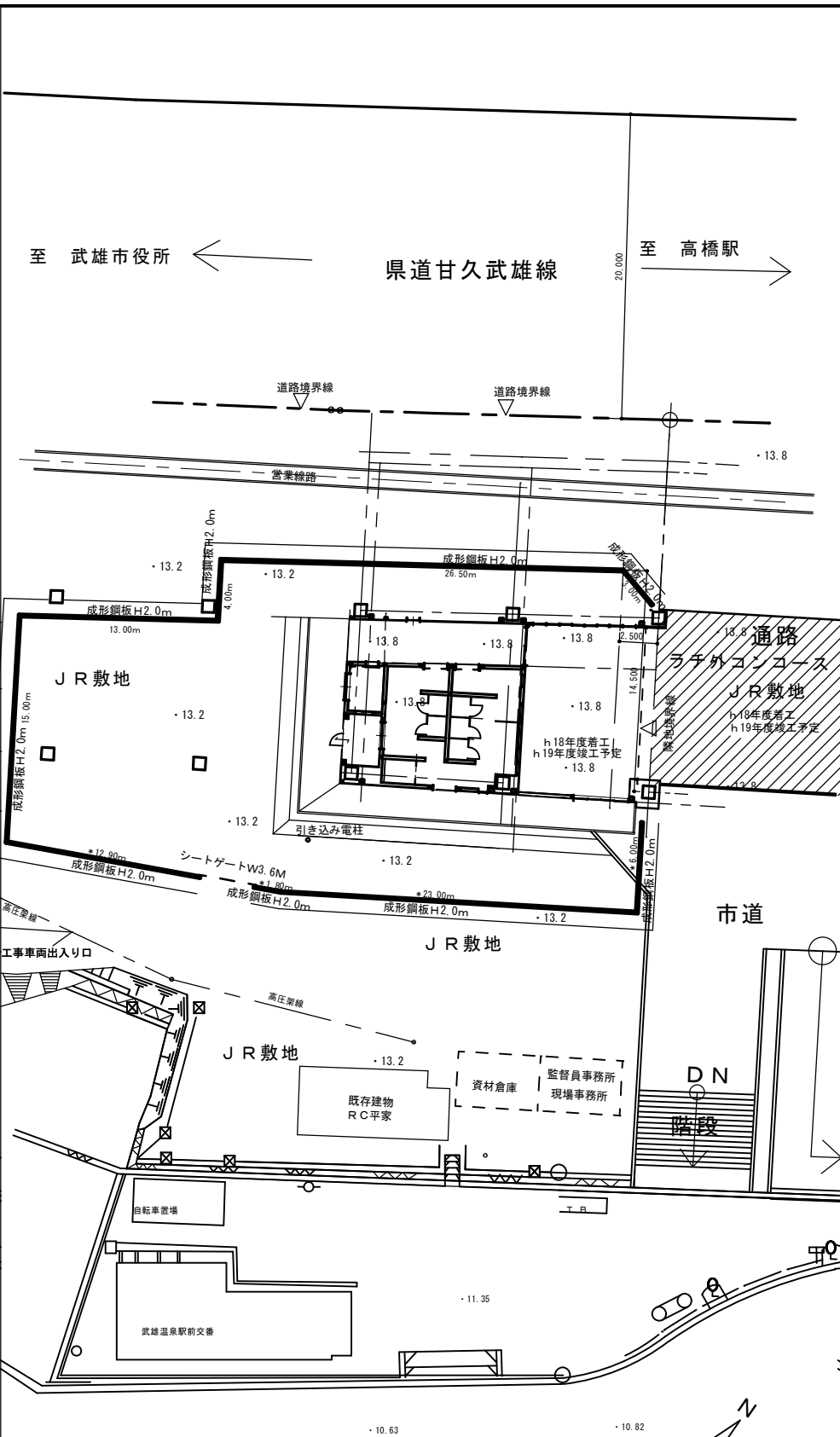


1期工事

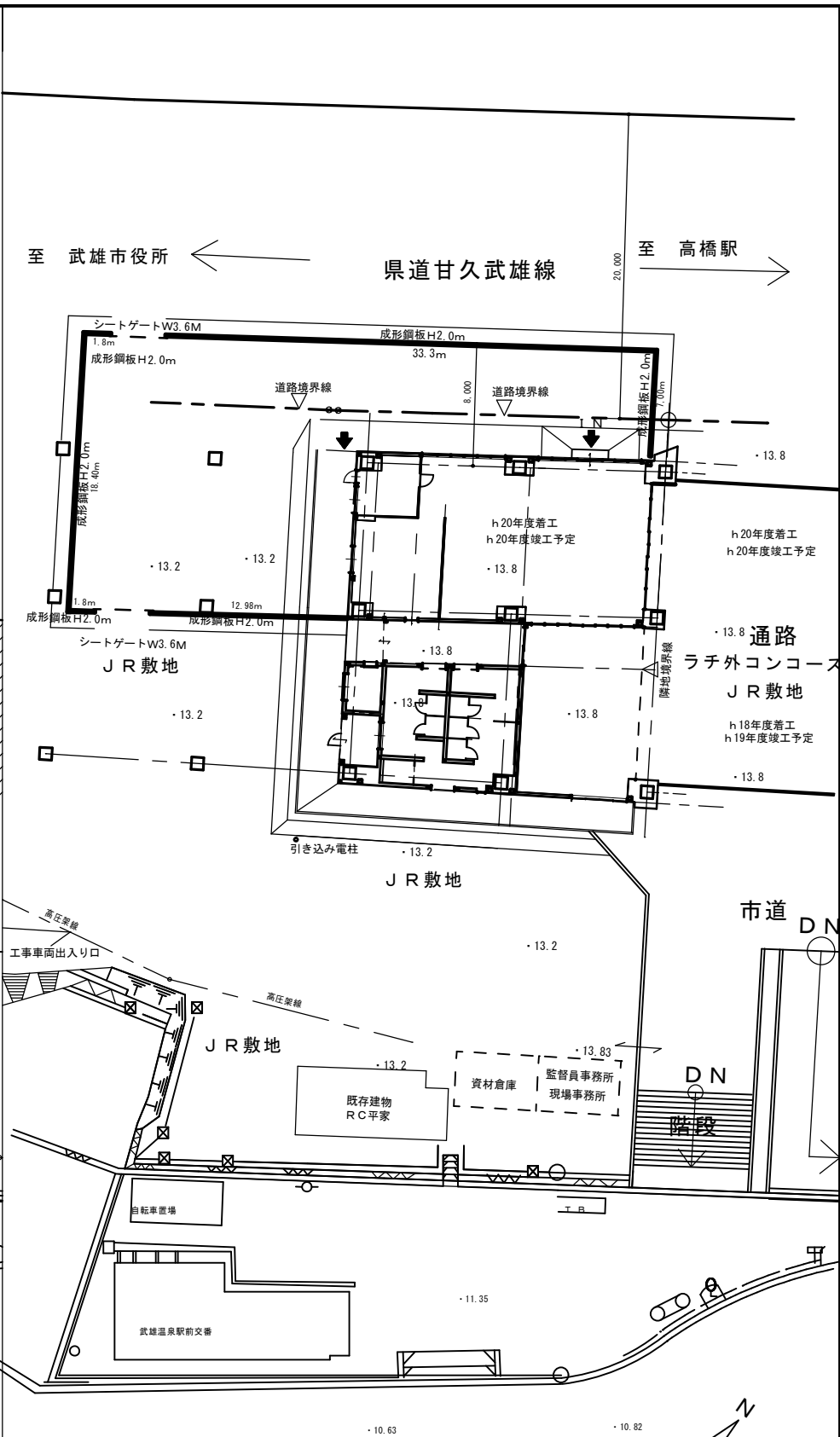
特記事項	エイシーエヌ (有) ACN松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467	工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事	縮尺	1/300	日付	
	P. C. NO				図名	工期ごとの配置図	図番	A-11



1-1期工事
仮設計画図 S=1/300



1-2期工事
仮設計画図 S=1/300



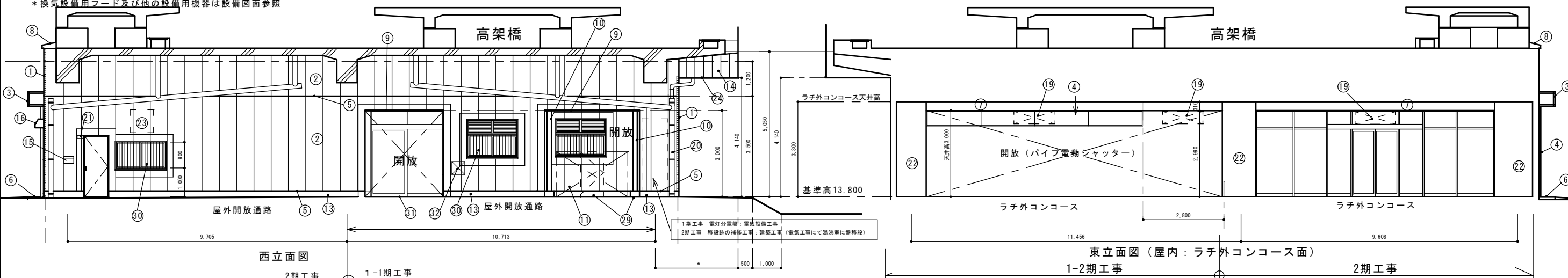
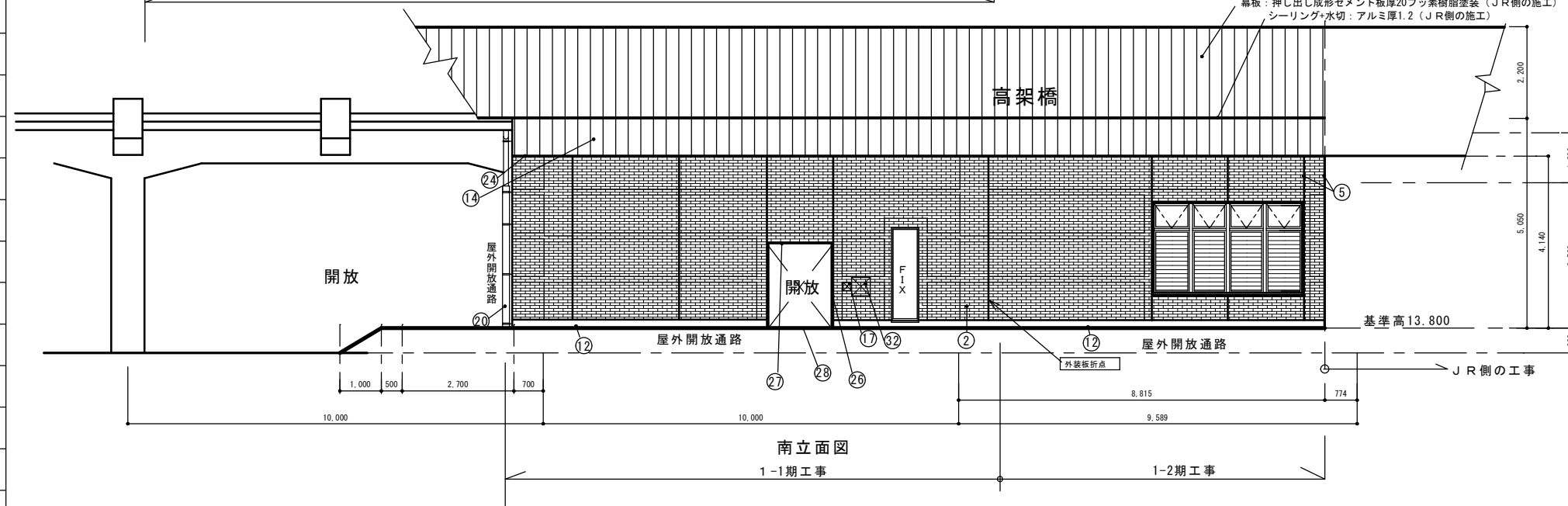
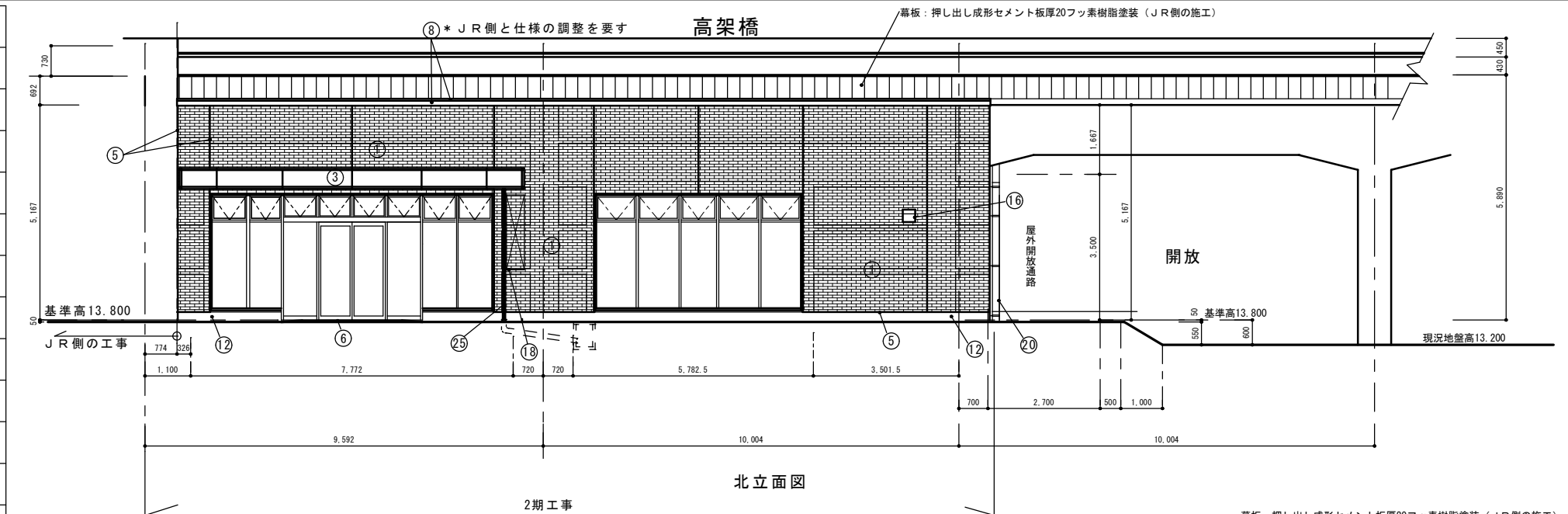
2期工事
仮設計画図 S=1/300

仮設工事は1-1期にて1期工事の全数量を計上する
別図「1期工事における営業線路との関係図」参照のこと

特記事項	エィシーエヌ (有) A C N 松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467	工事名	(仮称) 観光交流センター建設工事	縮尺	1/300	日付	
	P. C. NO			図名	仮設計画図	図番	A-12	担当	

記号	部位	仕上げ
①	外壁	押し出しセメント板厚60mm下地(ブリック) せり器質二丁掛けタイル(ブリック) 西壁側コーナーは77mm折り返し 柱型、帯型、開口部は白色、他はレンガ色 * J R側と仕様の調整を要す
②	外壁	押し出しセメント板厚60mm下地 複層薄塗材E 多彩陶石キャスト状仕上 開口廻りは白色、他はレンガ色
③	笠木・幕板	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm
④	防煙垂壁	
⑤	シーリング	
⑥	床	磁器タイル150角(ポーチ部分のみ)
⑦	内壁	アルミ複合板 * J R側と調整
⑧	水切	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル * J R側と調整
⑨	水切	カラスステンレス
⑩	鉄骨	錆止め+SOP塗り
⑪	フェンス	ビニール被覆H1500扉付
⑫	根廻	御影石貼り厚20mm * J R側と仕様の調整を要す
⑬	根廻	御影石貼り厚10mm * J R側と仕様の調整を要す
⑭	幕板	押し出し成形セメント板厚20+フッ素樹脂塗装
⑮	郵便受箱	ステンレス
⑯	換気扇フード	ステンレス(設備工事)
⑰	ビクトサイン	
⑱	施設銘板	木板
⑲	室名札	木板
⑳	高架橋用壁柱	V P 150Φ (J R側の工事範囲)
㉑	室名札	アクリル板
㉒	柱型	別途工事: J R側の工事範囲
㉓	空調屋外機	設備工事
㉔	シーリング+水切	カラーアルミ (当該工事範囲)
㉕	応用壁柱	ステンレス
㉖	開口壁柱	御影石厚25mm
㉗	マグサ	ステンレス(焼付塗装)
㉘	沓摺	御影石厚30mm
㉙	根廻	複層薄塗材E 多彩陶石キャスト状仕上
㉚	鋼製建具	面格子付
㉛	床見切縁	目地棒
㉜	トイレ説明板	

*換気設備用フード及び他の設備用機器は設備図面参照



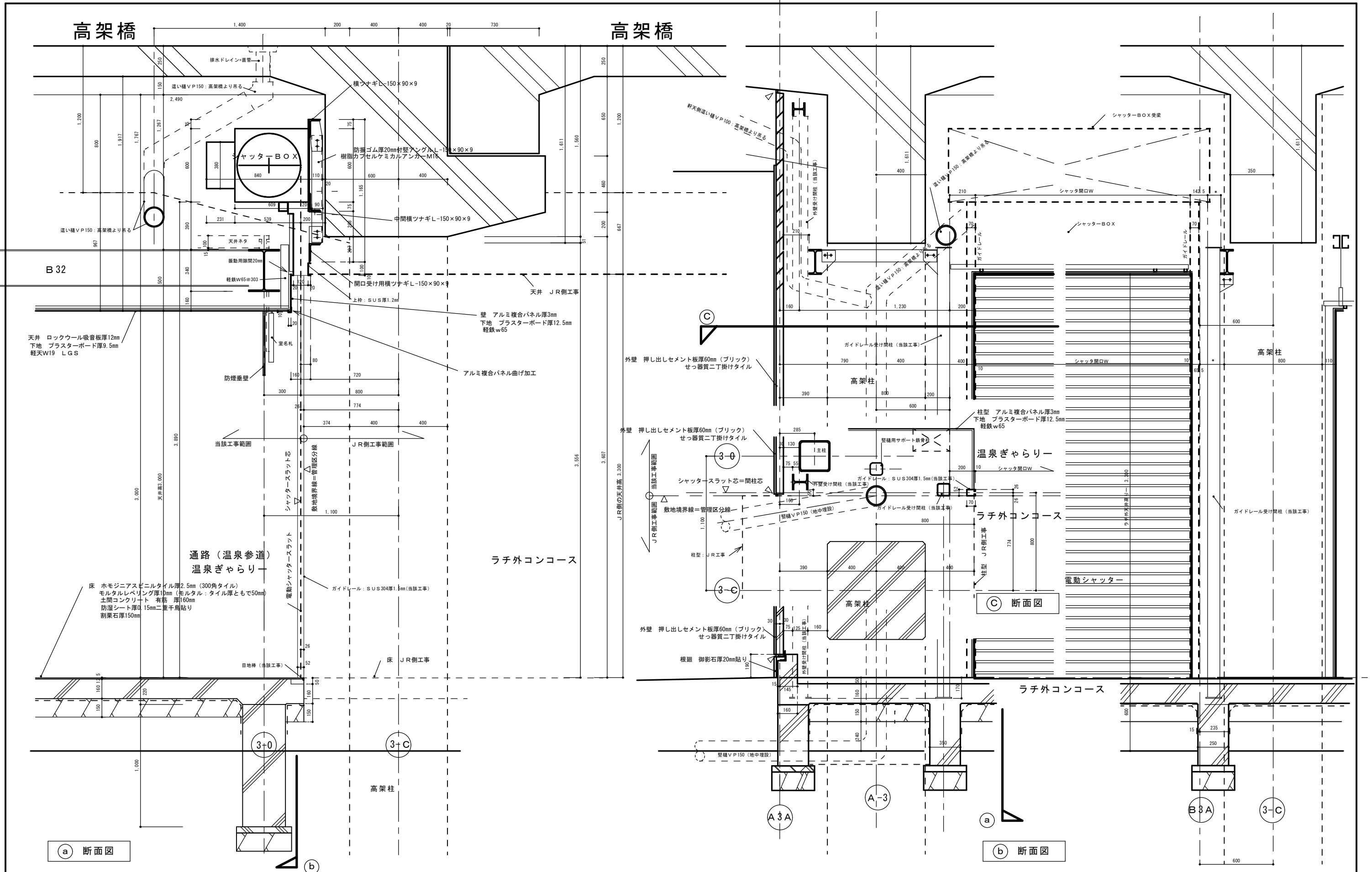
特記事項
註: 屋外舗装高はJR計画高に依う(当該図面表示高は参考値)

エィシーエヌ
(有) A C N 松尾建築設計事務所

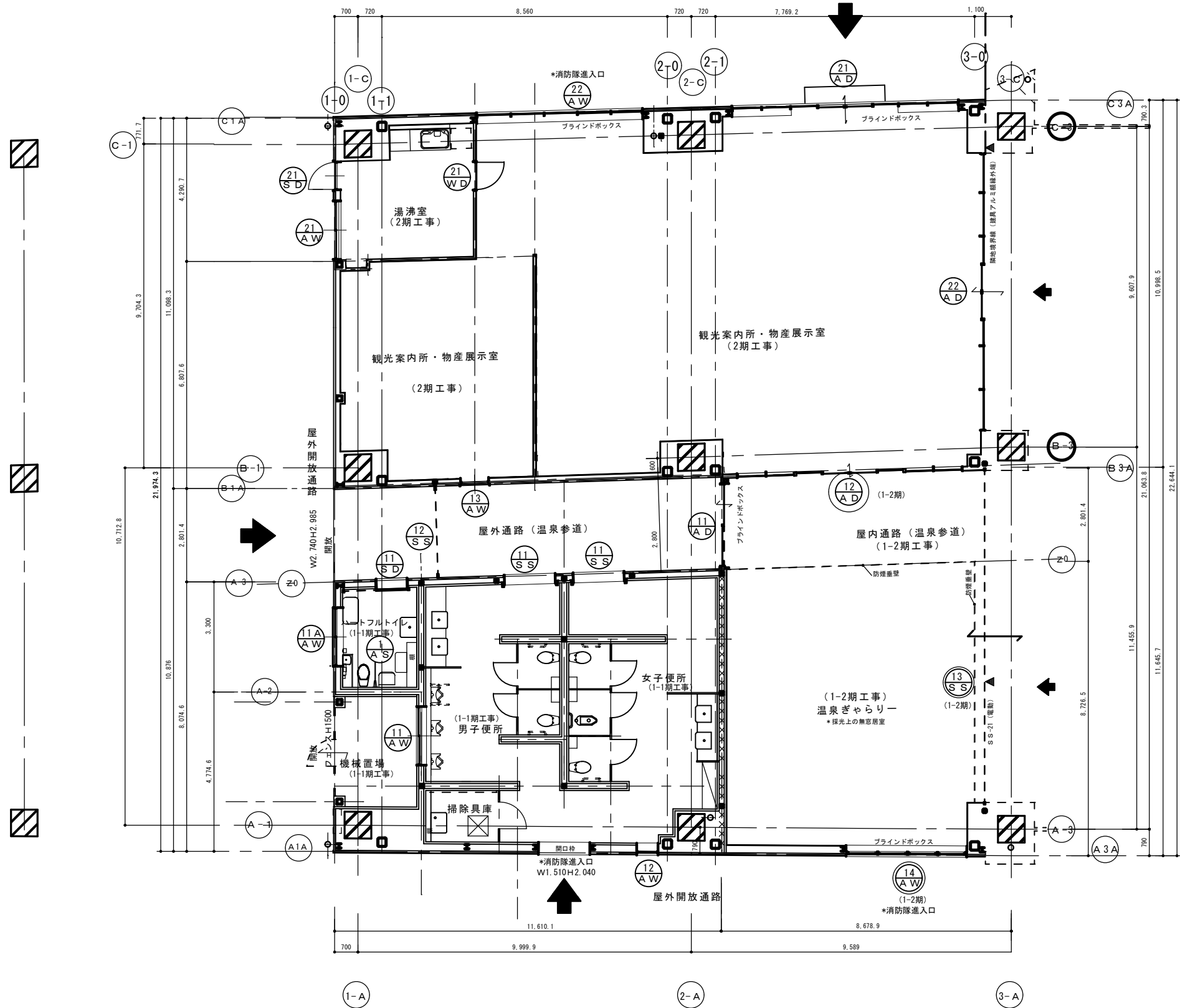
一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一
〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地
TEL 0954-36-3466
FAX 0954-34-3467

工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事
図名 立面図

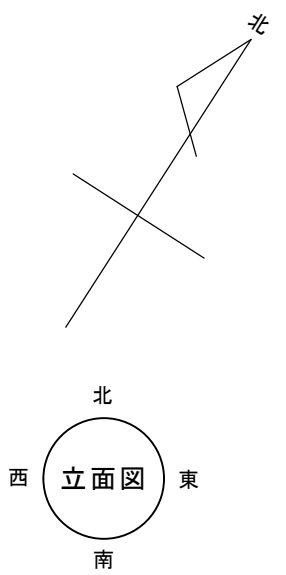
縮尺 1/100
図番 A-14
日付 担当



特記事項	(有) ACN松尾建築設計事務所	一級建築士大臣登録 135609号 松尾普一 〒84-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467	工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事	縮尺 1/20	日付
		P. C. NO	図名 部分詳細図 1 ラチ外コンコース南側廻り納まり図	図番 A-22	担当

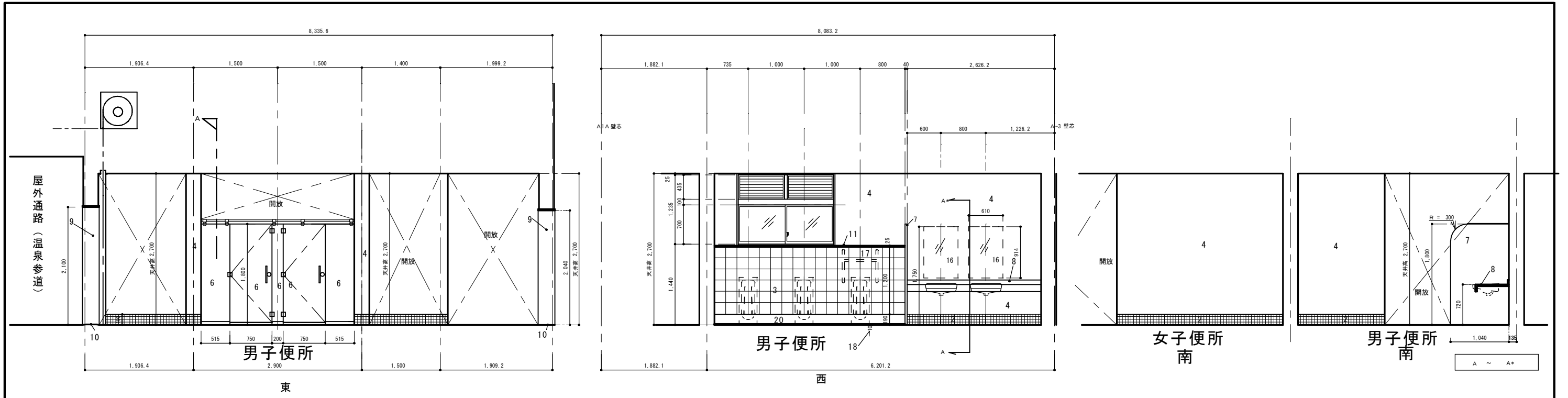


ラチ外コンコース

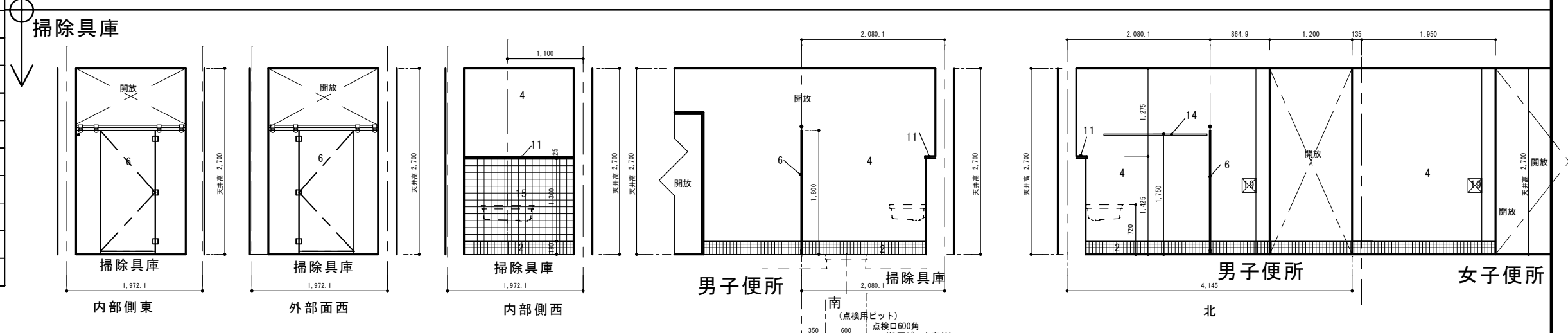
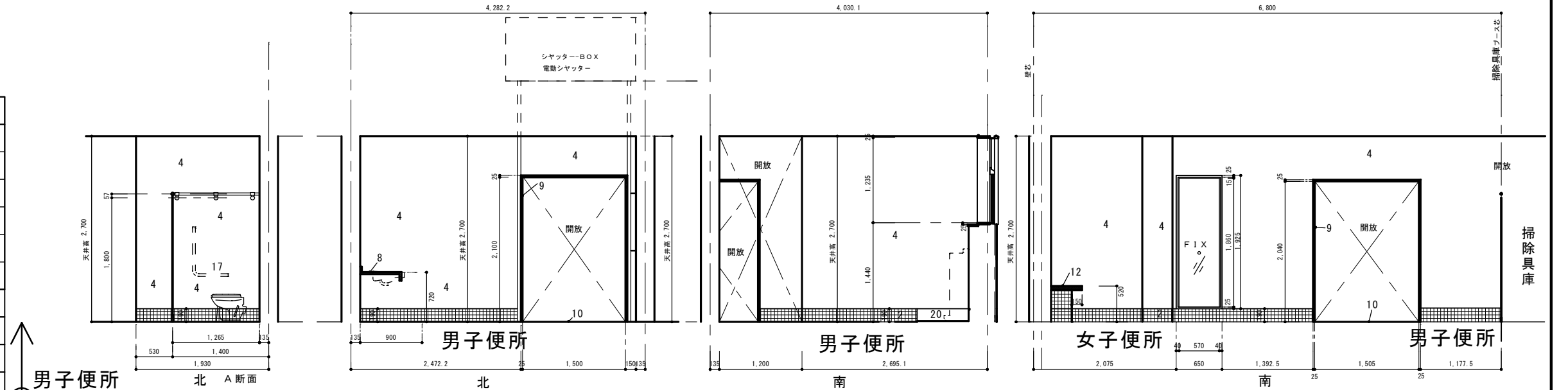


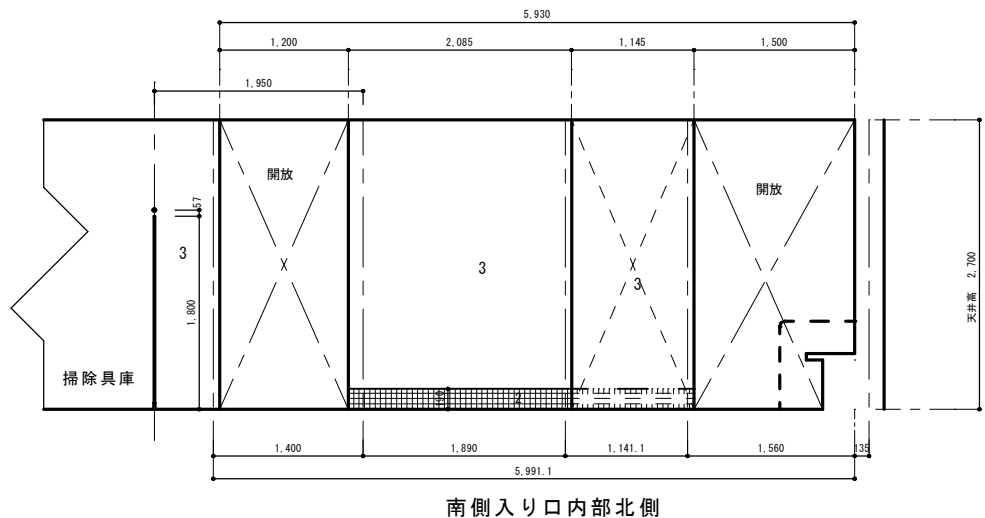
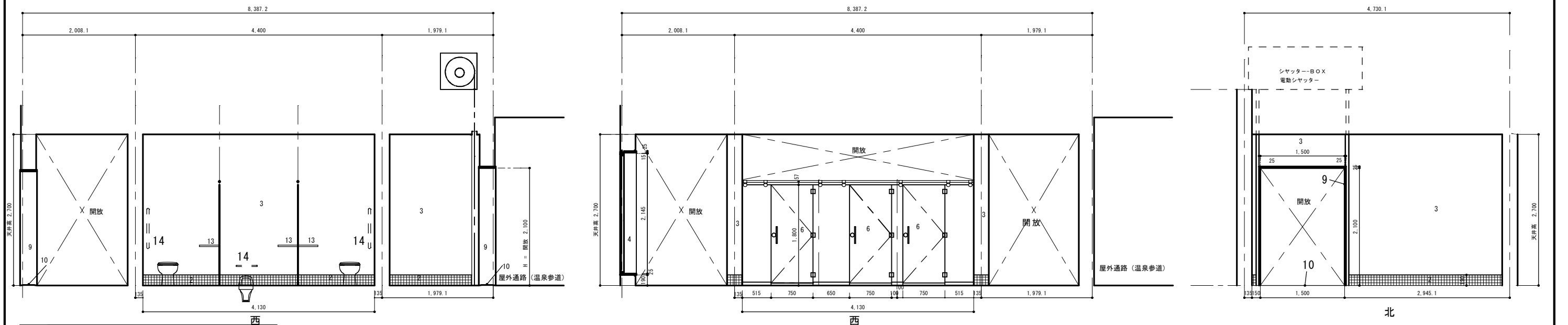
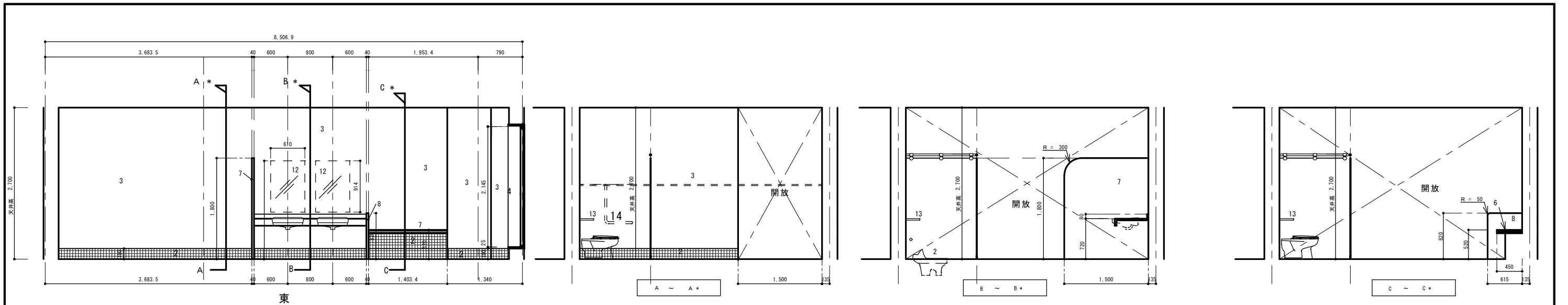
特記事項	エシーエス (有) ACN松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾普一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467	工事名 図名 名	(仮称) 観光交流センター建設工事 建具配置図	縮尺 図番	1/100 A-27	日付 担当
	P. C. NO							

1-1 期工事	記号・数量	⑪ AW 1.700×700 1ヶ所 (1ヶ所)	⑫ AW 570×2.145 1ヶ所	⑬ AW 800×1.450 1ヶ所	⑪ SS 1.550×2.700 2ヶ所	⑪ SD 900×2.100 1ヶ所	① AS 1ヶ所
	形状	外壁厚：270mm 面格子：1.700×700 ()はAW-11A ハートフルトイレ FL	外壁厚：352mm F I X	外壁厚：210mm 	* 2期工事期間（仮設観光案内所としての利用期間）のスイッチはリモコン操作のみに限定 * 2期工事にて観光案内所内壁に操作BOXを取付の上、スイッチ及びリモコン操作に切替 	外壁厚：270mm 有効開口800確保のこと 開口幅W900	内壁押し出しセメント板部分+ 腰ブロック積み部分の範囲に施工 ハートフルトイレ 平面図 腰見切=920 腰見切=200 腰見切=410 腰見切=1.650 腰見切=1.920
	場所	男子便所・ハートフルトイレ	女子便所	観光案内所・物産展示室（会議室）～屋外通路（温泉参道）	男子・女子便所～屋外通路（温泉参道）	ハートフルトイレ～屋外通路（温泉参道）	ハートフルトイレ
	形式	固定ガラリ付引き違い窓	F I X窓	外倒し欄間付 F I X窓	軽量電動グリルシャッター 単相100V 0.1KW	片引き自動閉鎖式ハンガードア	腰見切
	見込	70	100	100	16Φ@70×500	130(40)	
	材質・仕上	アルミ：ステンカラー	アルミ：ステンカラー	アルミ：スリムタイプ ステンカラー	ステンレス	スチール焼付塗装	アルミ見切縁 H25 D25 合計長さ5.7m
	硝子	網入り型6.8mm	網入り型6.8mm	網入りト-MI6.8mm	ステンレスガイドレール厚1.5 HL・BOX	網入り型6.8mm	
金物	4方内部額縁・4方外部水切 クレセント・戸車	4方内部額縁・4方外部水切	4方内部額縁・4方外部水切	リモコン付	4方内部額縁		
備考	外部面格子：水切面内にてサッシに取り合い(事故防止)	ボタン	開閉装置 全開角度45度 シーリング交換により乙種防火戸になる仕様	ガイドレールは最寄の鉄骨に取り合い固定すること	上吊式戸車 大型ハンドル 表示鍵 エアダンパー 戸当ゴム *ノンレールタイプ SUS製防虫網付きガラリ	アルミサッシに採用する仕様のもの	
2 期工事	記号・数量	②① SD 800×1.900 1ヶ所	②① AW 1.700×900 1ヶ所	②② AW 4.905×2.710 1ヶ所	②② AW 4.905×2.710 1ヶ所	②② AW 4.905×2.710 1ヶ所	②② AW 1.700×1.235 1ヶ所 (1.700×1.260) 1ヶ所
	形状	外壁厚：210mm FL	外壁厚：210mm 外観 内観	外壁厚：210mm 	外壁厚：317mm 	外壁厚：270mm 面格子：1.700×700 ()はAW-11A ハートフルトイレ FL	
	場所	湯沸室	湯沸室	観光案内所・物産展示室の北側	観光案内所・物産展示室の北側	観光案内所・物産展示室の北側	男子便所・ハートフルトイレ
	形式	片開きスチール玄関ドア	引き違い窓	引き違い窓	排煙外倒し欄間付 F I X窓	排煙外倒し欄間付 F I X窓	固定ガラリ付引き違い窓
	見込	80	70	100	100 方立150	100 方立150	70
	材質・仕上	スチール焼付塗装	アルミ：ステンカラー	アルミ：スリムタイプ ステンカラー ボタン	アルミ：スリムタイプ ステンカラー ボタン	アルミ：スリムタイプ ステンカラー ボタン	アルミ：ステンカラー
	硝子	シリンダー本締め・ドアクローザー・ステンレスT番	網入り型6.8mm	網入りト-MI6.8mm 下部：熱線反射網入りト-MI6.8mm	網入りト-MI6.8mm 下部：熱線反射網入りト-MI6.8mm	網入りト-MI6.8mm 下部：熱線反射網入りト-MI6.8mm	網入り型6.8mm
金物	ステンレス巻取り・戸当り・ドアチェーン・ドアスコープ・郵便受	4方内部額縁・4方外部水切・クレセント・戸車	4方内部額縁・4方外部水切 アルミブラインドボックス120×120	4方内部額縁・4方外部水切 アルミブラインドボックス120×120	4方内部額縁・4方外部水切 アルミブラインドボックス120×120	4方内部額縁・4方外部水切	
備考	防水のためパッキン四面廻し	外部面格子：水切面内にてサッシに取り合い(事故防止)	外部面格子：水切面内にてサッシに取り合い(事故防止)	全開角度45度 *欄間以外は目隠し用フィルム貼り	全開角度45度 *欄間以外は目隠し用フィルム貼り	外部面格子：水切面内にてサッシに取り合い 欄間：SUS製防虫網	
2 期工事	記号・数量	②① AD 6.725×2990 1ヶ所	②② AD 8.238×2.975 1ヶ所	②② AD 8.238×2.975 1ヶ所	②② AD 8.238×2.975 1ヶ所	②② AD 8.238×2.975 1ヶ所	②② AD 8.238×2.975 1ヶ所
	形状						
	場所	観光案内所・物産展示室の北側	観光案内所・物産展示室の北側	観光案内所・物産展示室の北側	観光案内所・物産展示室の北側	観光案内所・物産展示室の北側	観光案内所・物産展示室の北側
	形式	引き分け自動ドア及び排煙外倒し欄間付 F I X窓	引き分け自動ドア	引き分け自動ドア	引き分け自動ドア	引き分け自動ドア	引き分け自動ドア
	見込	100 方立150	100 方立150	100 方立150	100 方立150	100 方立150	100 方立150
	材質・仕上	アルミ：スリムタイプ ステンカラー ボタン	アルミ：スリムタイプ ステンカラー ボタン	アルミ：スリムタイプ ステンカラー ボタン	アルミ：スリムタイプ ステンカラー ボタン	アルミ：スリムタイプ ステンカラー ボタン	アルミ：スリムタイプ ステンカラー ボタン
	硝子	内部サムターン本締め 4方内部額縁・4方外部水切	内部サムターン本締め 4方内部額縁・4方外部水切	内部サムターン本締め 4方内部額縁・4方外部水切	内部サムターン本締め 4方内部額縁・4方外部水切	内部サムターン本締め 4方内部額縁・4方外部水切	内部サムターン本締め 4方内部額縁・4方外部水切
金物	エンジン タッチ式感知器 兆番 障子コナ保護キャップ オペレーター	エンジン タッチ式感知器 兆番 障子コナ保護キャップ オペレーター	エンジン タッチ式感知器 兆番 障子コナ保護キャップ オペレーター	エンジン タッチ式感知器 兆番 障子コナ保護キャップ オペレーター	エンジン タッチ式感知器 兆番 障子コナ保護キャップ オペレーター	エンジン タッチ式感知器 兆番 障子コナ保護キャップ オペレーター	
備考	全開角度45度 *欄間以外は目隠し用フィルム貼り	ガラス及びシーリング交換により乙種防火戸になる仕様	ガラス及びシーリング交換により乙種防火戸になる仕様	ガラス及びシーリング交換により乙種防火戸になる仕様	ガラス及びシーリング交換により乙種防火戸になる仕様	ガラス及びシーリング交換により乙種防火戸になる仕様	



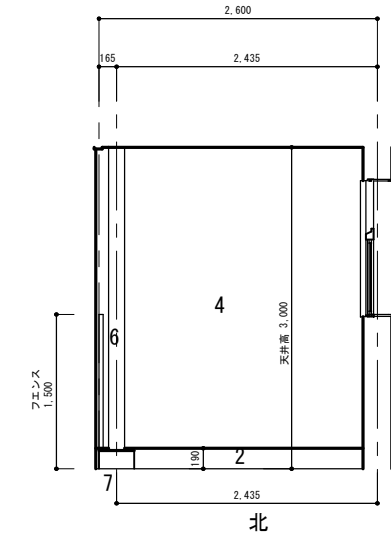
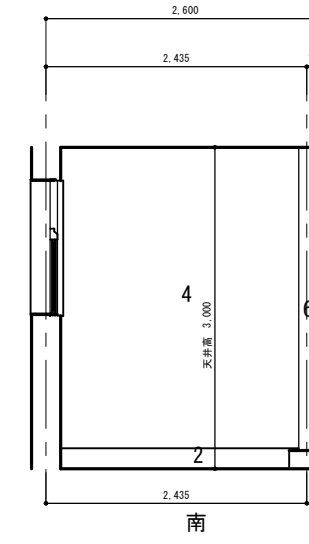
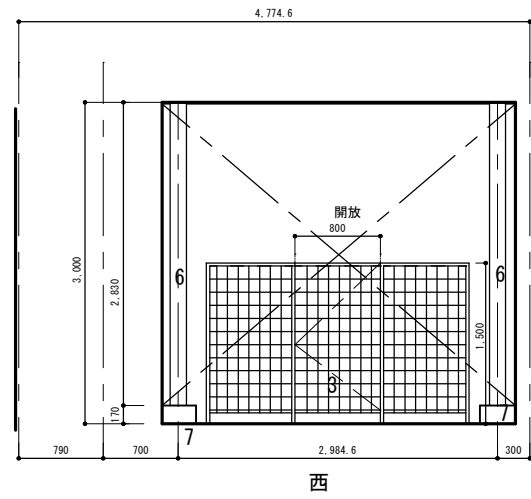
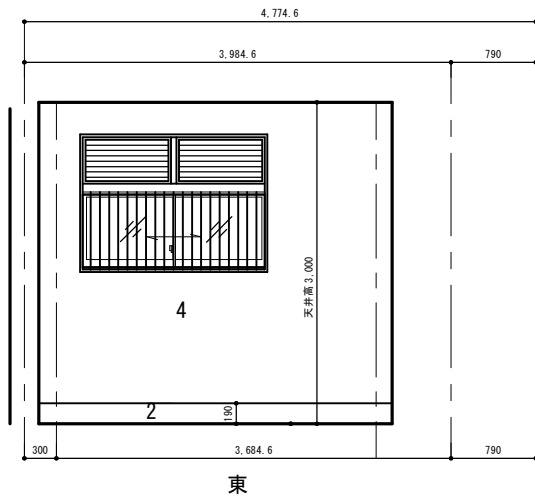
符号	男子便所・掃除具庫	
1	床	モザイクタイル50角
2	巾木	モザイクタイル50角
3	腰壁	陶器質タイル200角
4	壁	押し出し成形セメント板厚60mm+2UE
5	天井	ケイカル板厚6mm+EP
6	トイレブース 掃除具庫ブース	
7	目隠し袖壁	御影石厚40mm 頭つなぎ: SUS304 FB-9×36 間柱に取り合い
8	洗面カウンター	既製品*設備工事
9	開口3方枠	縦枠: 御影石磨き厚25mm マグサ: ステンレス厚1.5焼付塗装
10	音摺	御影石厚30mm
11	天板	御影石厚25mm
12	ベンチ	集成材厚60mm幅450mm
13	額縁	アルミ額縁
14	フック掛け	ステンレスパイプφ19 L=1.5M フック5本付
15	腰壁	陶器質タイル100角
16	鏡	既製品*設備工事
17	手摺	既製品*設備工事
18	小便器廻り床	御影石厚30mm
19	ピクトサイン	既製品
20	幅木	御影石厚20mm



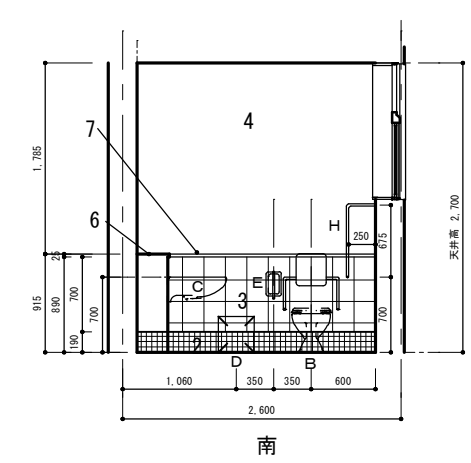
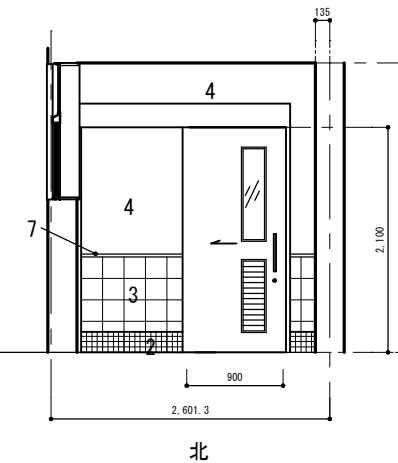
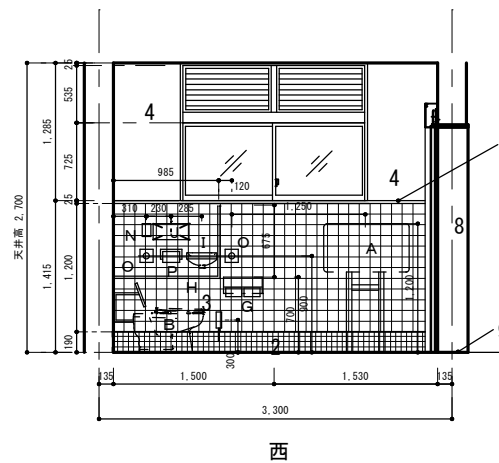
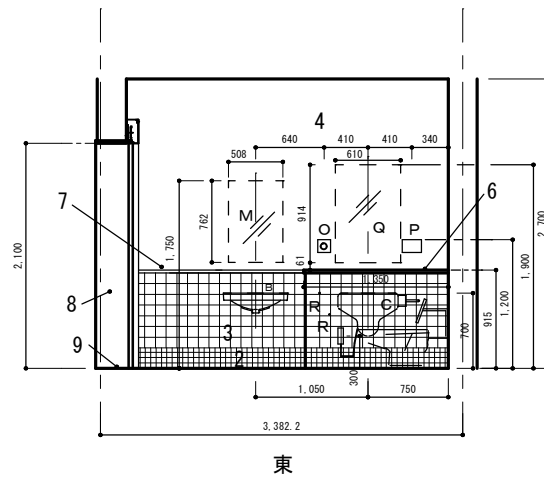


符号	女子便所	
1	床	モザイクタイル50角
2	巾木	モザイクタイル50角
3	壁	押し出し成形セメント板厚60mm+2UE
4	サッシ額縁	アルミ
5	天井	ケイカル板厚6mm+E P
6	ベンチ	集成材厚60mm幅450mm
7	目隠し袖壁	御影石厚40mm 頭つなぎ: S U S 304 F B-9×36 間柱に取り合い
8	袖壁	御影石磨き厚40mm
9	開口枠3方枠	縦枠: 御影石厚25mm マグサ: ステンレス厚1.5mm焼付塗装
10	窗摺	御影石厚30mm
11	洗面カウンター	既製品*設備工事
12	鏡	既製品*設備工事
13	棚	メラミン合板フラッシュ
14	手摺	既製品*設備工事

符号	機械置場	
1	床	コンクリートコテ仕上げ
2	巾木	モルタル下地 外装薄塗材E多彩陶石キャスト状仕上げ
3	フェンス	H1500扉鍵付W800
4	壁	押し出し成形セメント板厚60mm+ 外装薄塗材E多彩陶石キャスト状仕上げ
5	天井	ケイカル板厚6mm+EP
6	鉄骨柱	SOP塗
7	柱根巻	モルタル金コテ 外装薄塗材E多彩陶石キャスト状仕上げ



符号	身障者用便所	
1	床	モザイクタイル50角
2	巾木	モザイクタイル50角
3	腰壁	陶器質タイル100角
4	壁	押し出し成形セメント板厚60mm+2UE
5	天井	ケイカル板厚6mm+EP
6	棚	御影石厚25mm
7	見切	アルミH25mm
8	開口3方枠	縦枠：御影石厚25mm マグサ：ステンレス厚1.5mm 焼付塗装
9	開口窓摺	御影石厚30mm



設備工事	A	ベビーベッド	F	車椅子対応センサー大便器	K	鏡	P	紙巻き器
	B	身障者用洗面器	G	棚付紙巻き器	L	洗面カウンター	Q	鏡
	C	汚物流し	H	手摺	M	鏡	R	ステンレスフック：2本 (物掛け用)
	D	チェンジングボード(着替え台)	I	手洗い器	N	緊急ボタン		
	E	跳ね上げ式手摺	J	シャワートイレ用大型リモコン	O	洗浄ボタン		

特記事項

エィシーエヌ
(有) A C N 松尾建築設計事務所

一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一
849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地
TEL 0954-36-3466
FAX 0954-36-3467
E-mail fuichi@silk.plata.or.jp

工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事

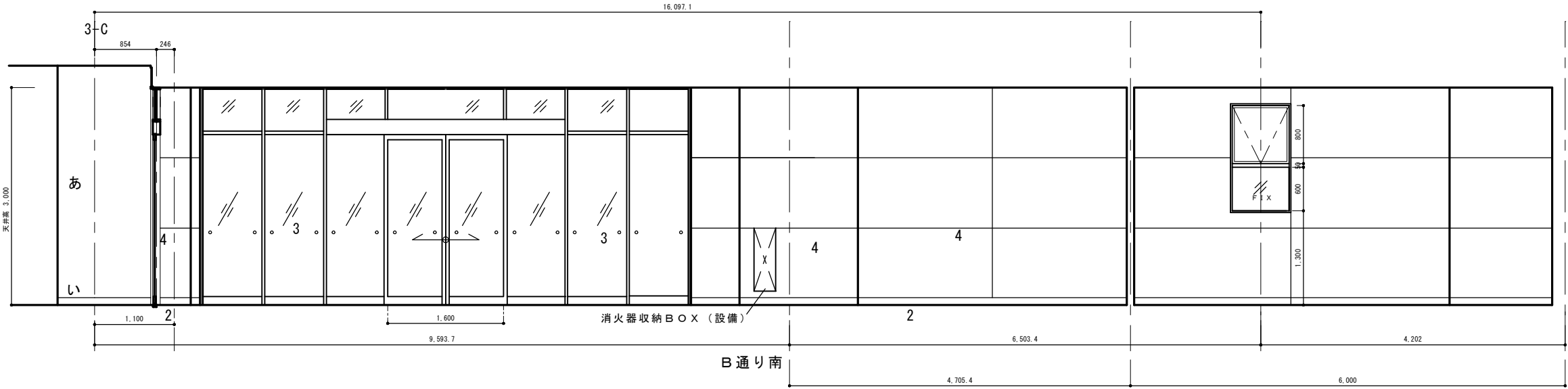
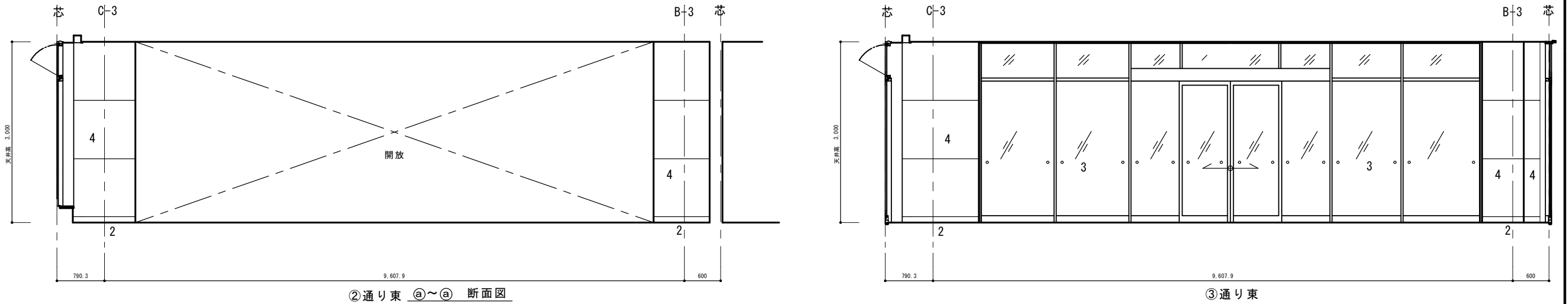
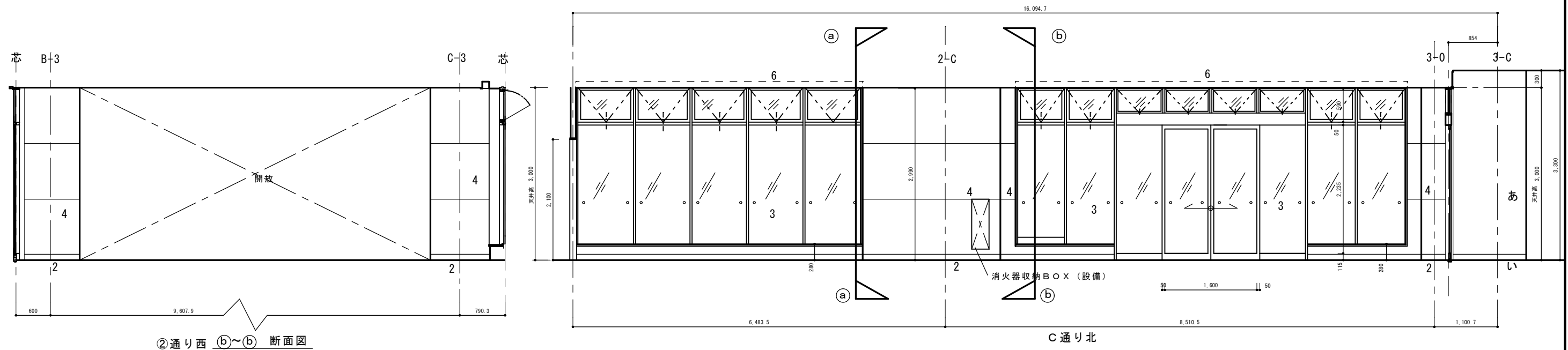
図名 展開図 ハートフルトイレ・機械置場

縮尺 1/50

図番 A-33

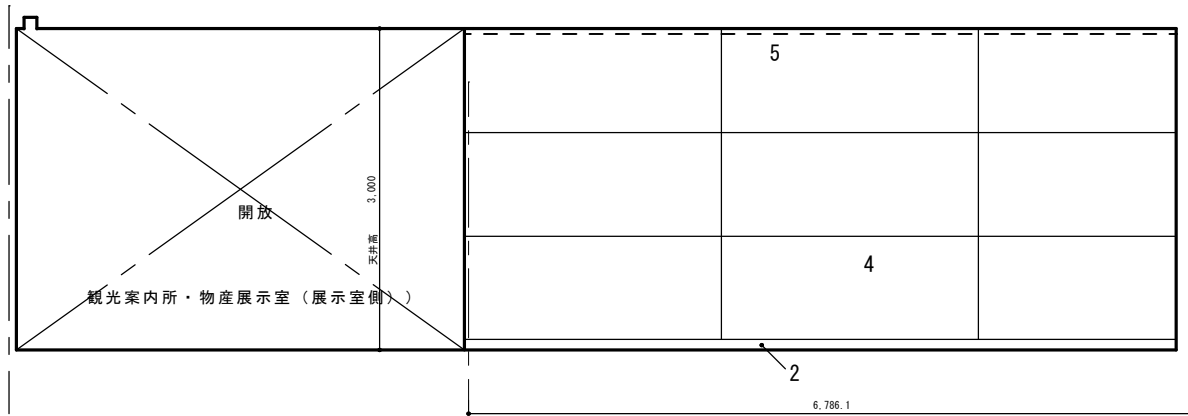
日付
担当

P. C. NO

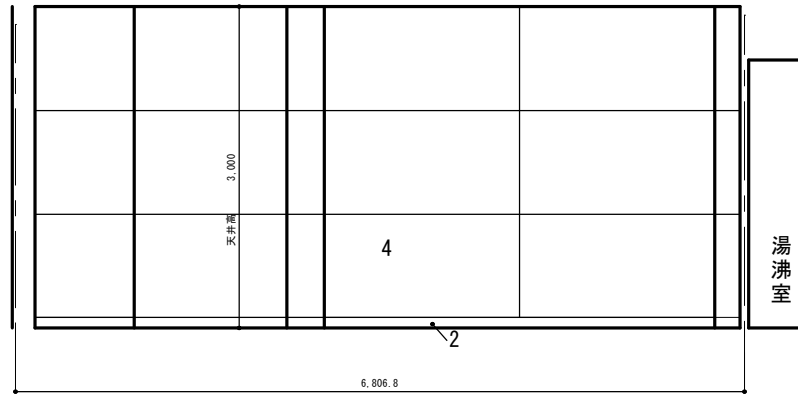


符号	観光案内所・物産展示室	
1	床	ホモジニアスピニルタイル厚2.5mm
2	巾木	御影石h=100
3	建具	アルミサッシ
4	壁	下地プラスターボード厚12.5mm アルミ複合パネル厚3mm
5	天井	プラスターボード厚9.5mm下地 ロックウール吸音板厚12mm
6	ブラインドボックス	アルミ
7	ピクチャーレール	アルミ壁付 フックは部屋全体で30個
あ	壁	J R側の工事範囲
い	幅木	J R側の工事範囲

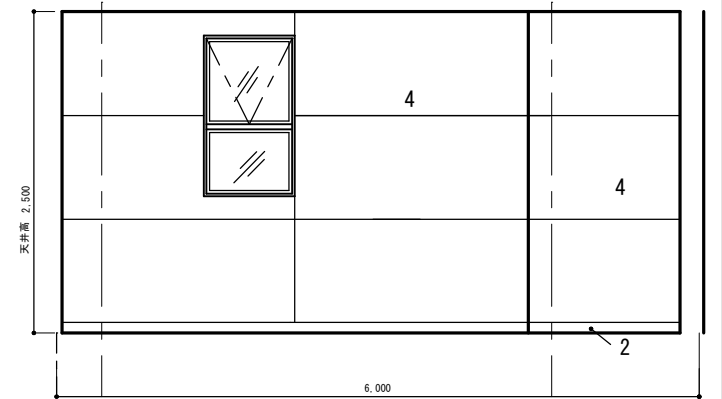
* ラチ外の納まり 割付はJ R側に合わせる



東（会議室 物置の間仕切面）

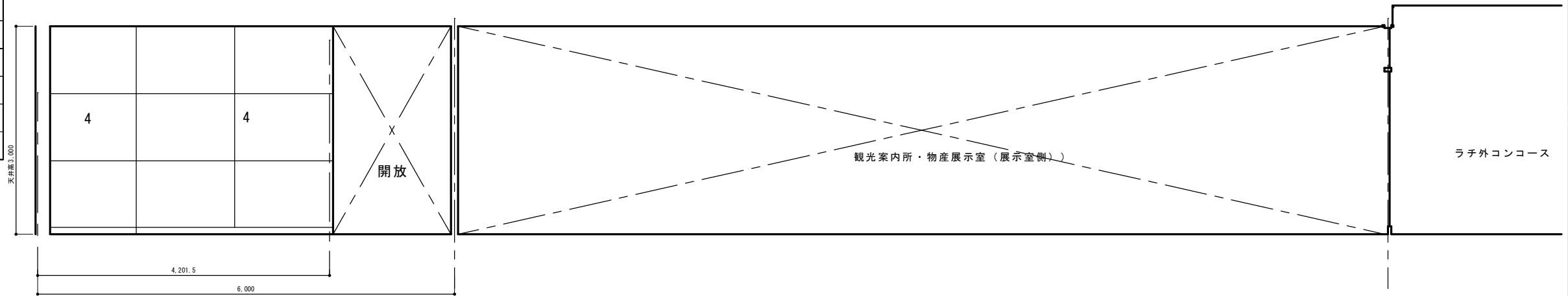


西（会議室 物置の外壁側）



南（会議室 物置）

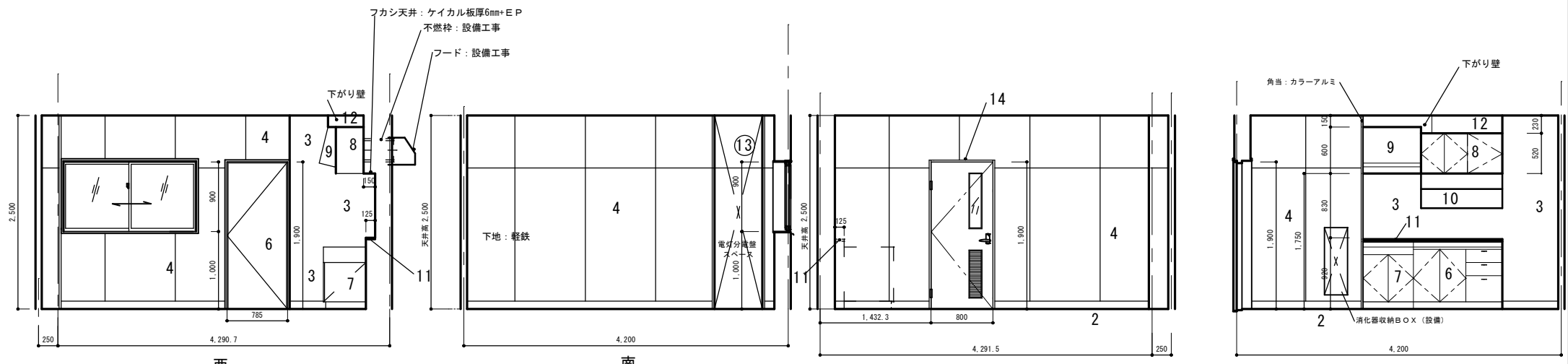
符号	観光案内所・物産展示室（会議室 物置）	
1	床	ホモジニアスピニルタイル厚.5mm
2	巾木	御影石 H=100
3		
4	壁	下地 プラスターボード厚12.5mm アルミ複合パネル厚3mm
5	天井	プラスターボード厚9.5mm下地 ロックウール吸音板
6	ビクチャーレール	



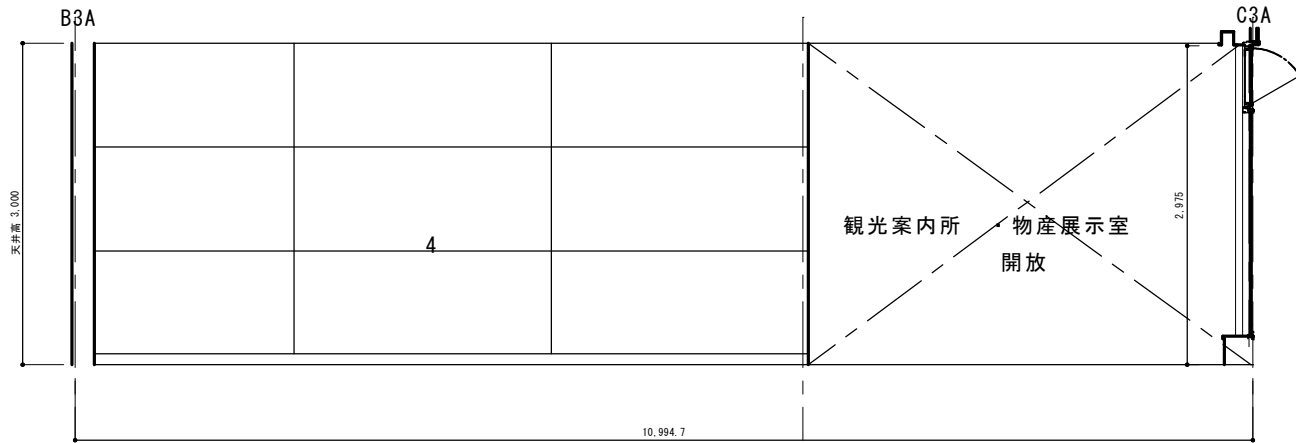
北（会議室 物置の湯沸室側）

符号	湯沸室 ○は設備工事に含む	
1	床	クッションフロアーシート厚2.5mm
2	巾木	塩ビ H100
3	壁	耐水ボード厚9.5mm下地 化粧ケイカル板厚6mm
4	壁	ケイカル板厚8mm+EP
5	天井	化粧石膏ボード厚9.5mm
⑥	流し台	L=1200 H800+90 D=560 SUS304 木製キャビネット、木製扉 メラミン樹脂化粧板、サイドパネル付
⑦	ガス台	L=600 H625+265 D=520 SUS430 バックガード及びサイドカバー：SUS430 木製キャビネット、木製扉 メラミン樹脂化粧板
⑧	吊戸棚	L=1050 不燃厚9mm仕様：ラミネート合板
⑨	フードカバー	L=750 H=600 D=360+240 スチール粉体塗装厚0.6mm
⑩	水切棚	L=1200 アルミ製
11	水切カバー	L=1800 D=125 下地：軽鉄W65組 ステンレス304厚0.6mm 捨て板ケイカル板厚12mm
12	下がり壁	ケイカル板厚6mm+EP
⑬		電灯分電盤兼電話端子盤
14	開口木枠	OSCL塗り

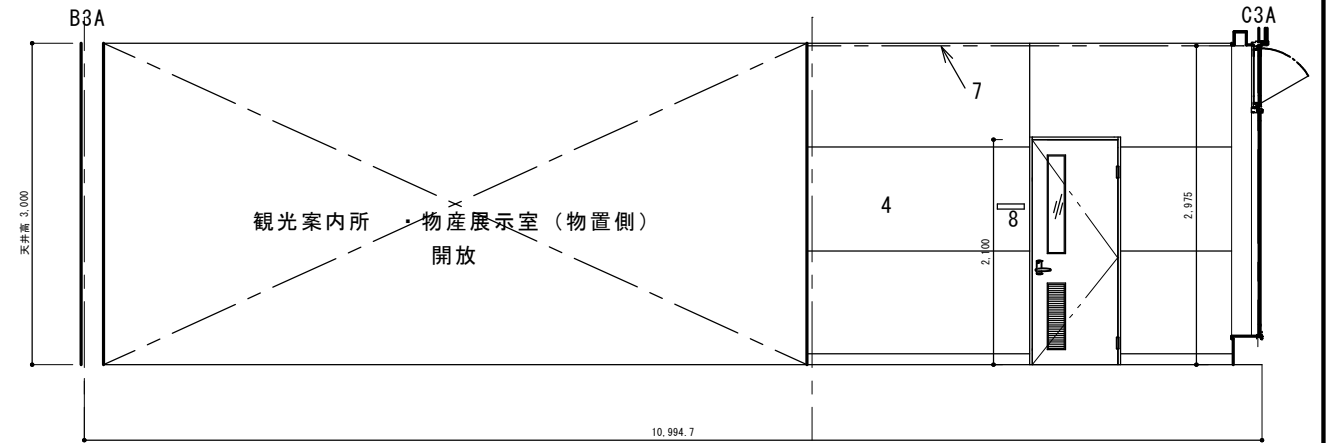
* 厨房機器及び水切廻りはシーリング
* 壁の出隅：アルミ出隅役物取り付け



特記事項	エイシーエヌ （有）ACN松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467 E-mail fuichi@sil.kplala.or.jp	工事名 展覧図 観光案内所・物産展示室・湯沸室	縮尺 1/50	日付 担当
	P. C. NO	（仮称）観光交流センター建設工事 図番 A-35				



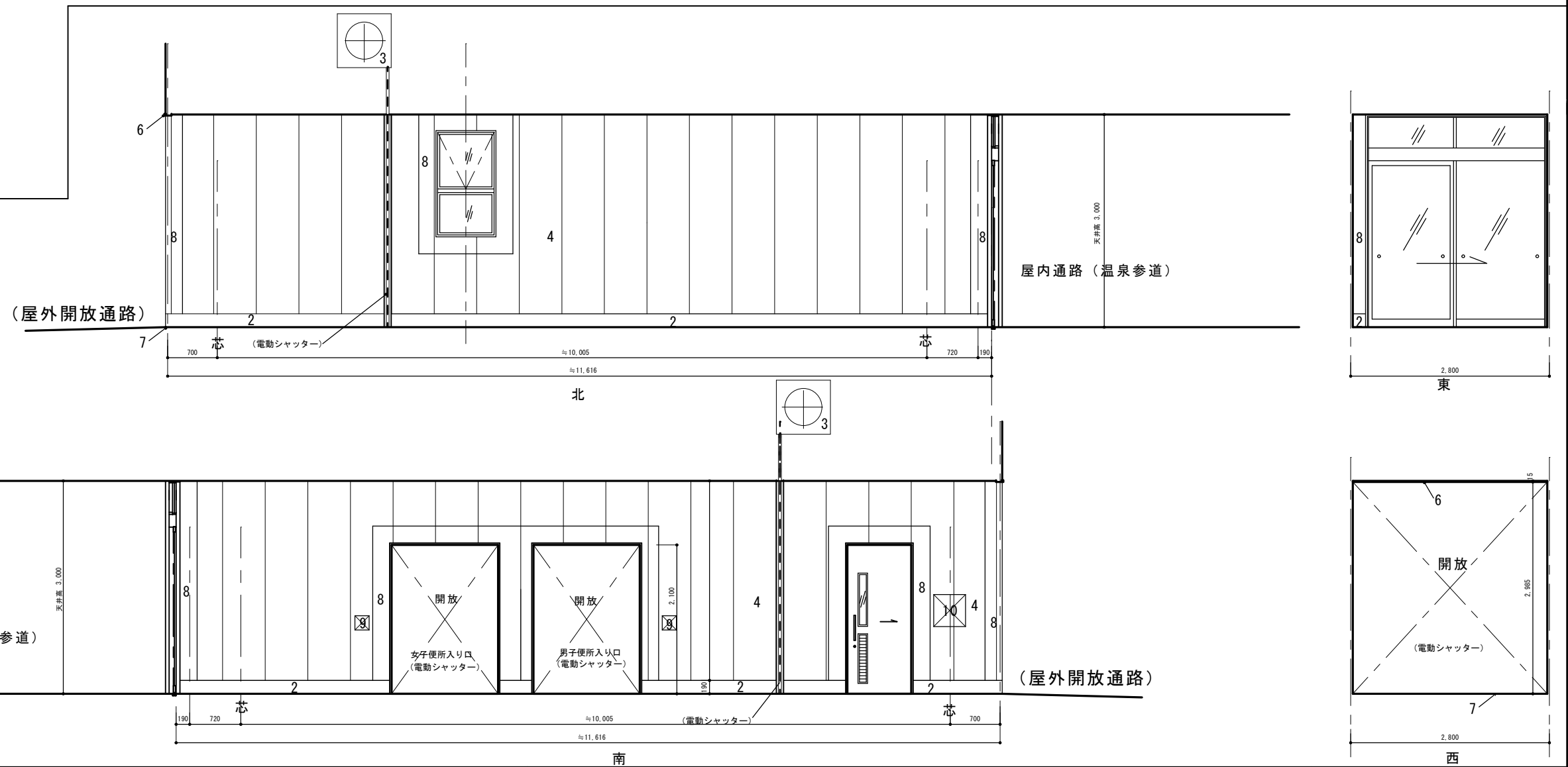
西（会議室 物置側間仕切面）



西（湯沸室方向）

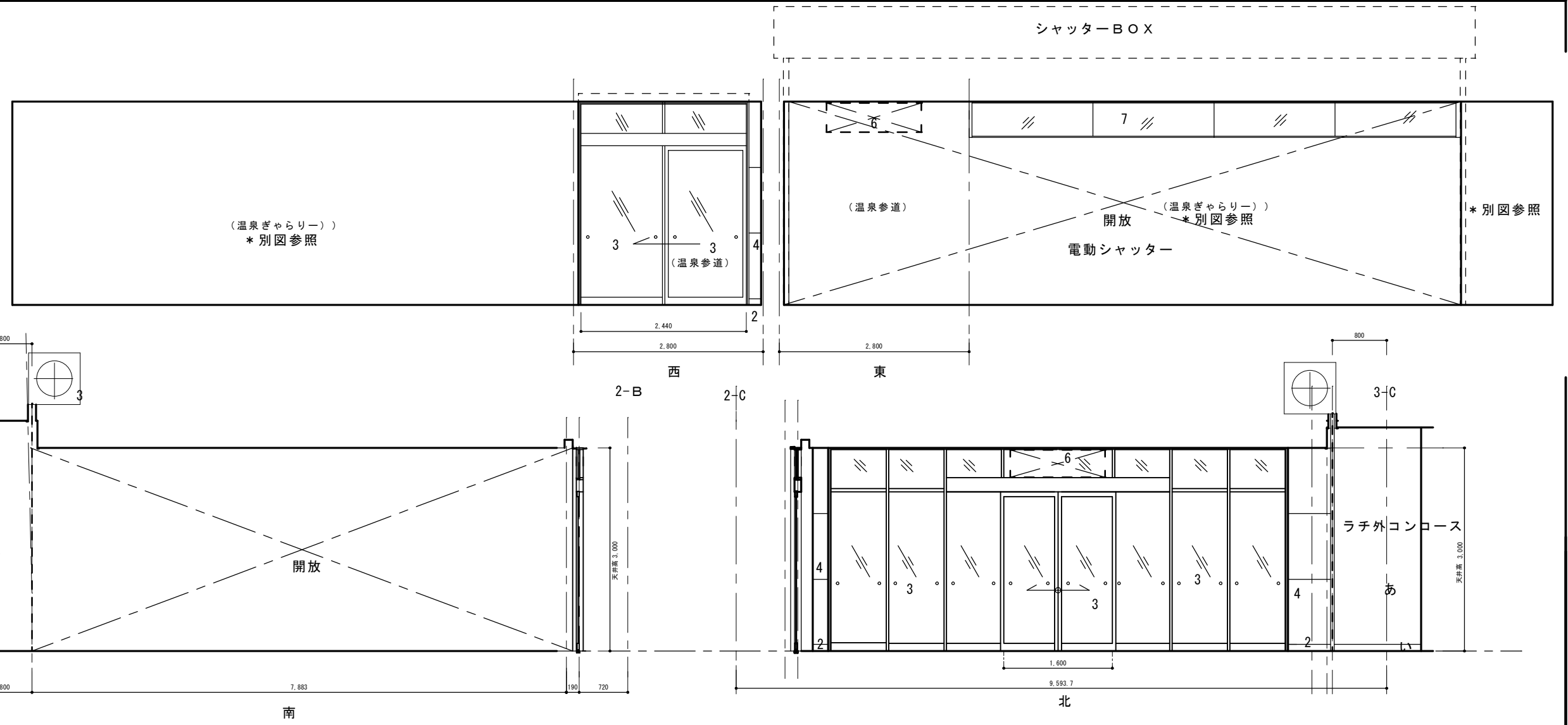
符号	観光案内所 ・ 物産展示室	
1	床	ホモジニアスビニルタイル厚2.5mm
2	巾木	御影石 h = 100
3	建具	アルミサッシ
4	壁	下地 plasterボード厚12.5mm アルミ複合パネル厚3mm
5	天井	plasterボード厚9.5mm下地 ロックウール吸音板厚12mm
6	ブラインドボックス	アルミ
7	ピクチャーレール	アルミ壁付 フックは部屋全体で30個
8	室名札	

符号	屋外通路（温泉参道）	
1	床	300角タイル
2	巾木	御影石 h = 100
3	シャッター	電動
4	壁	押し出し成形セメント板厚60mm+外装薄塗材E
5	天井	plasterボード厚9.5mm下地 ロックウール吸音板厚12mm
6	水切	カラスステンレス
7	床目地棒	真鍮
8	壁	押し出し成形セメント板厚60mm+外装薄塗材E
9	ピクトサイン	
10	説明板	



特記事項	エィシーエヌ (有) ACN松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3466 E-mail fuichi@silk.plata.or.jp	工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事	縮尺 1/50	日付
	P. C. NO		図名 展開図 観光案内所・物産展示室 屋外通路（温泉参道）	図番 A-36	担当	

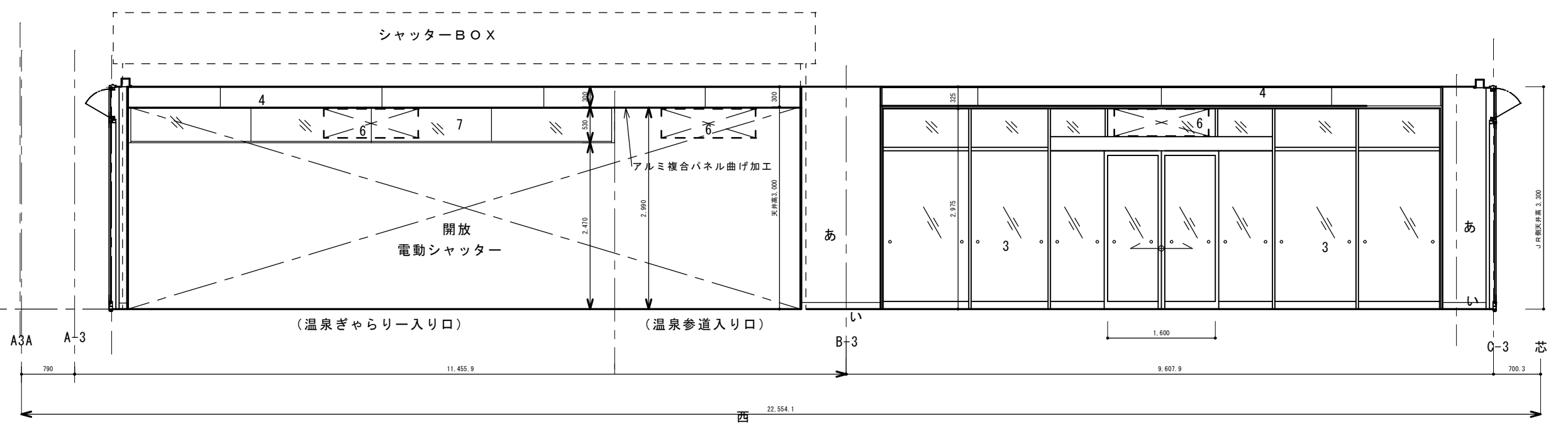
符号	温泉参道 (屋内通路)	
1	床	300角タイル
2	巾木	御影石H=100
3	建具	アルミサッシ
4	壁	下地 plasterボード厚12.5mm アルミ複合パネル厚3mm
5	天井	plasterボード厚9.5mm下地 ロックウール吸音板厚12mm
6	室名札	木製: 天井吊
7	防煙垂壁	
あ	壁	J R側の工事範囲
い	巾木	J R側の工事範囲



*ラチ外の納まり、割付はJ R側に合わせる

符号	ラチ外コンコース	
	床	J R側の工事範囲
	巾木	J R側の工事範囲
3	建具	アルミサッシ
4	壁	下地 plasterボード厚12.5mm アルミ複合パネル厚3mm
	天井	J R側の工事範囲
6	室名札	木製
7	防煙垂壁	
あ	壁	J R側の工事範囲
い	巾木	J R側の工事範囲

*ラチ外の納まり、割付はJ R側に合わせる
*ラチ外の仕上げは想定による。ゆえに施工前に確認のこと。



鉄筋コンクリート造構造標準図

本図面は、一般の鉄筋コンクリート造建物及び鉄骨造の鉄筋コンクリート部分用とする。
本図面以外の構造図に指示のある場合は、その指示による。なおその他明示のない場合は、
係員の指示による他、「建築工事共通仕様書」（公共建築協会）、又は、「JASS. 5」（日本建築学会）、に準ずる。

§.1 使用材料等

1-1 鉄筋

種別	規格等	適用
SD295A	JIS	D10、D13、D16
SD345	同上	D19、D22、D25

1-2 コンクリート

種別	適用
21・3N/mm ² ・S-18	基礎、地中梁、ピット壁、根廻り、土間、屋外開放通路など全て
18N/mm ² ・S-18	捨てコン
18N/mm ² ・S-18	緑石基礎

1-3 基礎種別

基礎種別	設計地耐力（長期）	土質
直接基礎	200 KN/m ²	土質：硬凝り土の砂質土
杭打基礎		
場所打ちコンクリート杭基礎		

地耐力の確認： 1-1期、1-2期、2期工事にて載荷試験各1ヶ所を行なう

1-4 その他の材料等

・特記仕様書による

1-5 材料試験等

・特記仕様書による

§.2 鉄筋径表示記号

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
表示記号	・	×	○	●	◊	◇	⊗	⊙

§.3 鉄筋の加工要領

3-1 鉄筋の折曲げ規準

a) 鉄筋末端部の形状

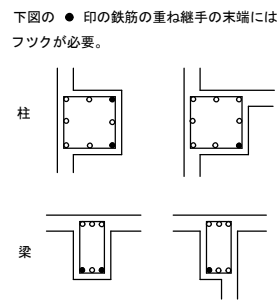
曲げ角度	形状	鉄筋種別	曲げ内法寸法(D)	余長(L)	備考
180°		SD295A SD345	4d以上	4d以上	
135°		同上	4d以上	6d以上	
90°		同上	4d以上	10d以上	係員の指示する梁のSTPにのみ使用する。

b) 鉄筋中間部の形状

曲げ角度	形状	使用箇所	鉄筋径	鉄筋種別	曲げ内法寸法(D)
90°以下		i HOOP STP	全て	SD295A SD345	4d以上
		ii 床・壁	D16以下	同上	5d以上
		iii 上記以外	d ≤ D25 d ≥ D29	同上	6d以上 8d以上

3-2 フックの必要な箇所

- 全ての普通丸鋼
- HOOP, STP, 巾止メ筋, DIA・HOOP
- 柱主筋の内柱頭4隅、及び、4隅の重ね継手
- 梁主筋の内、出隅部分にある重ね継手
- 煙突の鉄筋



3-3 鉄筋のあき

- 普通丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値
- 1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

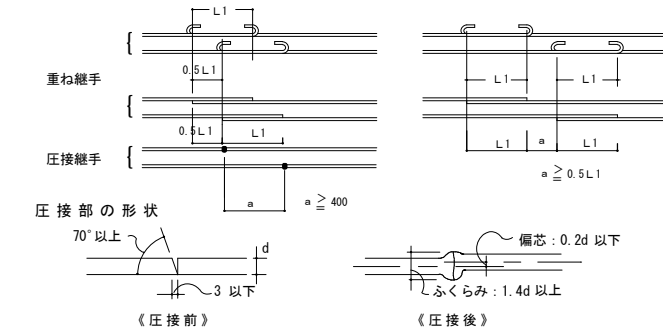


3-4 鉄筋の定着及び継手長さ

鉄筋種別	コンクリートの設計強度	フックなし			フックあり			
		L1及び継手	L2	L3	L1及び継手	L2	L3	
SD295A	F _c =18	45d	40d	25d	10dかつ150以上	35d	30d	15d
SD345	F _c ≥21	40d	35d	同上	同上	30d	25d	同上

- 註1) 端部のフックは、定着及び継手長さには含まない。
註2) 径の異なる重ね継手は細い方の径による。
註3) D35以上の異形鉄筋は、原則として重ね継手としてはならない。

3-5 鉄筋継手の間隔及び形状



ガス圧接継手の有無

D25	
-----	--

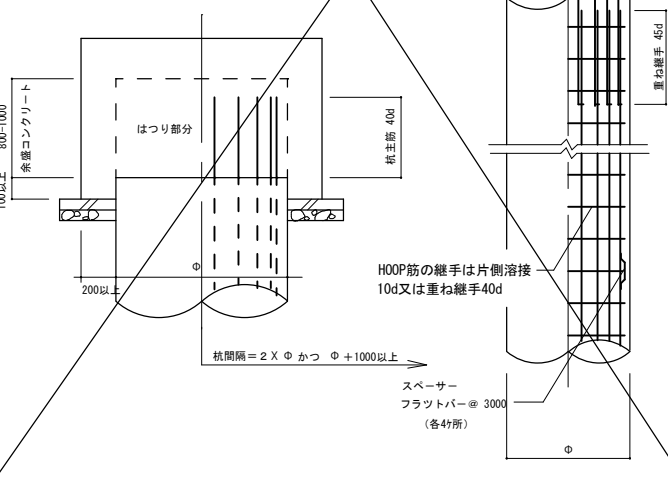
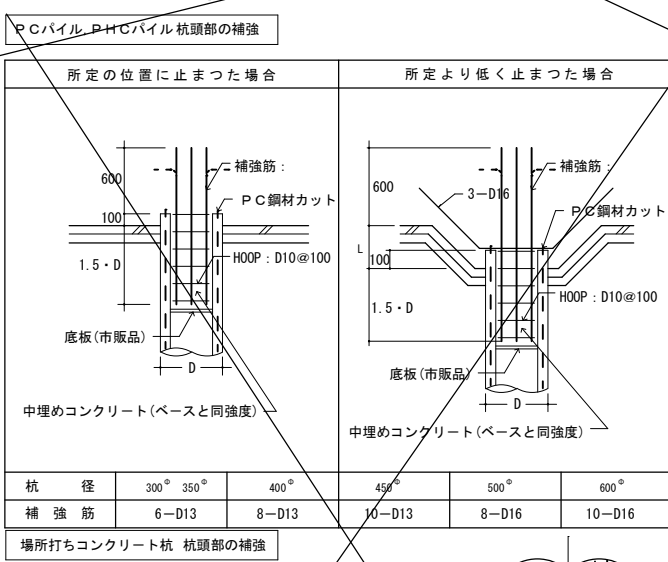
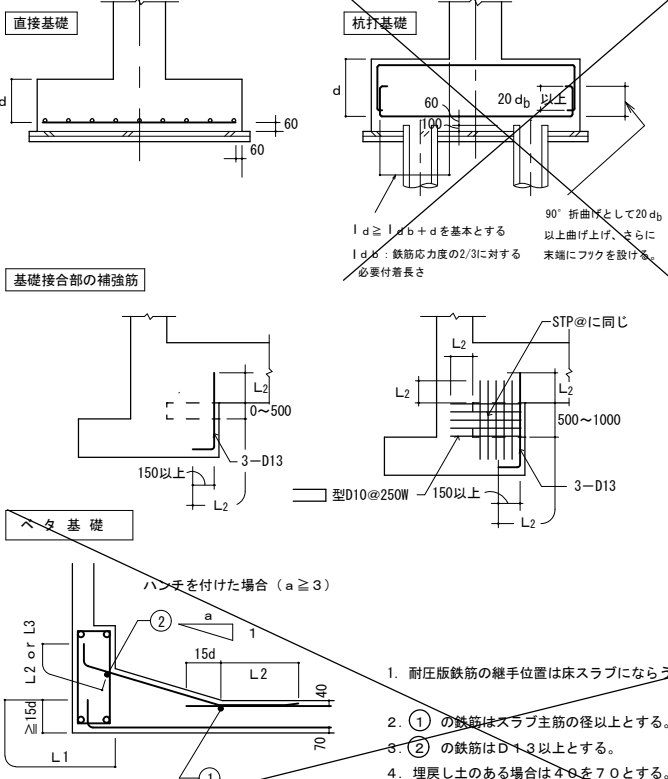
3-6 鉄筋の最小かぶり厚さ

土に接しない部分	構造部分の種類別		かぶり厚さ	備考
	床版、非耐力壁	柱、梁、耐力壁		
土に接する部分	仕上有	仕上無	20	
	下記以外	屋外仕上無	30	
	擁壁、耐力床版		40	
	柱、梁、床版、壁		40	
	基礎、擁壁、耐力床版		60	a: かぶり厚さ

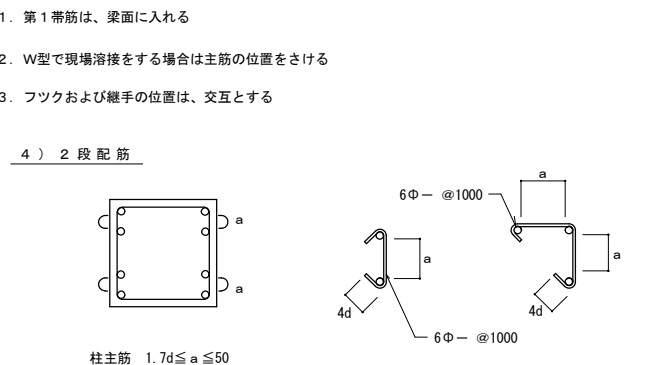
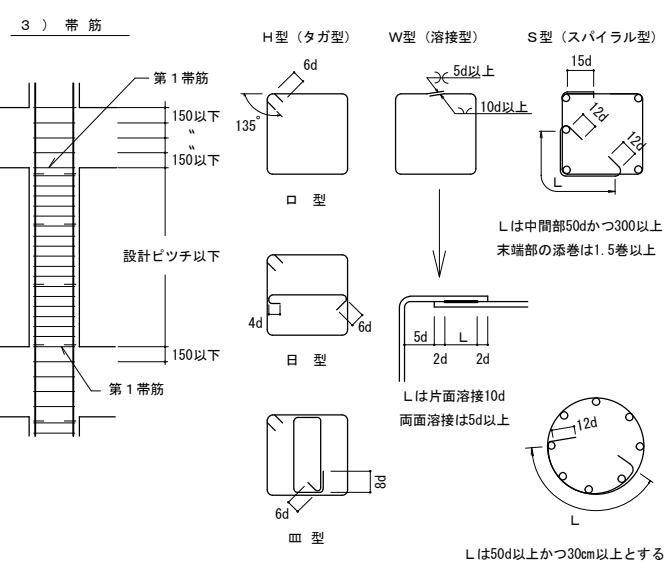
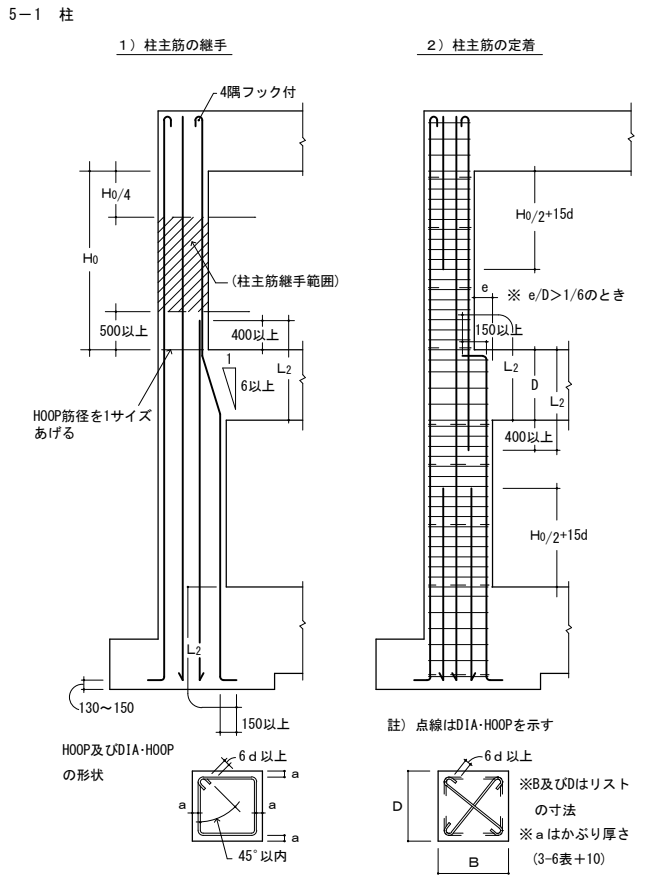
3-7 鉄筋の最小間隔（2段配筋の場合）

鉄筋径	間隔(a)
D16	45
D19	55
D22	60
D25	70
D29	80
D32	85

§.4 基礎配筋

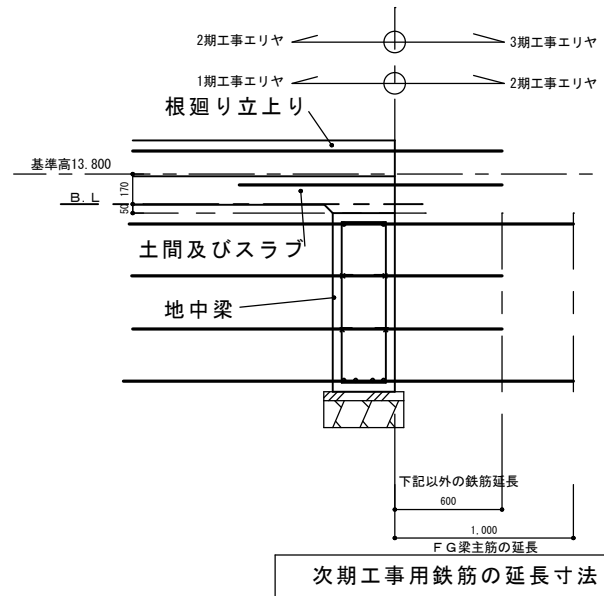


§.5 軸組配筋図



地中梁リスト

記号	FG 11			FG 12			FG 13			FG 24			FG 25			
サイズ	370 × 1000			350 × 1000			350 × 1000			350 × 1000			350 × 1000			
位置	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	内端	内端	中央	外端	内端	中央	外端	
断面																
上端筋	8-D 25	8-D 25	8-D 25	6-D 25	6-D 25	7-D 25	6-D 25	5-D 25	5-D 25	7-D 25	5-D 25	5-D 25	6-D 25	3-D 25	4-D 25	
下端筋	8-D 25	8-D 25	7-D 25	6-D 25	8-D 25	5-D 25	5-D 25	6-D 25	5-D 25	6-D 25	5-D 25	4-D 25	5-D 25	4-D 25	3-D 25	
S.T	D 13@150			D 10@150			D 10@150			D 10@150			D 10@150			
腹筋	4-D 13			4-D 13			4-D 13			4-D 13			4-D 13			
幅止筋	D 10@600			D 10@600			D 10@600			D 10@600			D 10@600			
記号	FB 11		FB 12		FB 13		FB 14	FB 24	FB 34	FB 25	FB 35	FG 16		FG 26	FG 36	
サイズ	350 × 1000		350 × 1000		350 × 1000		250 × 500		350 × 500		350 × 1000		350 × 1000		350 × 1000	
位置	両端	中央	両端	中央	両端	中央	全断面		全断面		両端	中央	中央		中央	
断面																
上端筋	5-D 25	4-D 25	4-D 25	4-D 25	4-D 25	3-D 25	2-D 16		2-D 16		4-D 25	3-D 25	3-D 25		3-D 25	
下端筋	4-D 25	8-D 25	3-D 25	8-D 25	3-D 25	7-D 25	2-D 16		2-D 16		3-D 25	4-D 25	4-D 25		4-D 25	
S.T	D 10@150		D 10@200		D 10@150		D 10@200		D 10@200		D 10@200		D 10@200		D 10@200	
腹筋	4-D 13		4-D 13		4-D 13		4-D 13		4-D 13		4-D 13		4-D 13		4-D 13	
幅止筋	D 10@600		D 10@600		D 10@600		D 10@600		D 10@600		D 10@600		D 10@600		D 10@600	

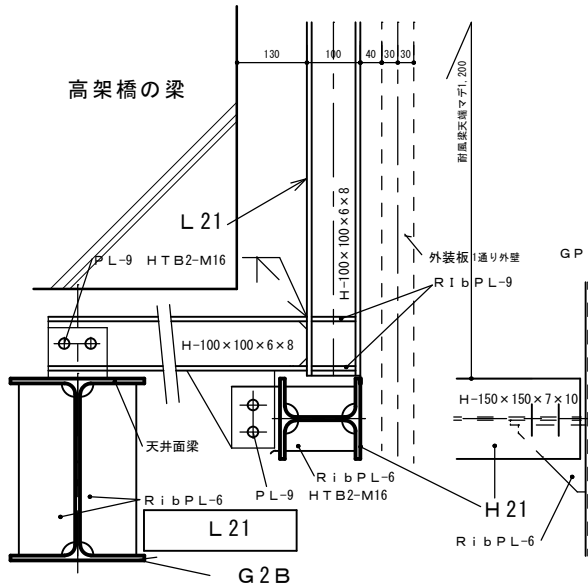


記号	FG 17		
サイズ	350 × 1000		
位置	外端	中央	内端
断面			
上端筋	7-D 25	7-D 25	5-D 25
下端筋	5-D 25	4-D 25	3-D 25
S.T	D 10@200		
腹筋	4-D 13		
幅止筋	D 10@600		

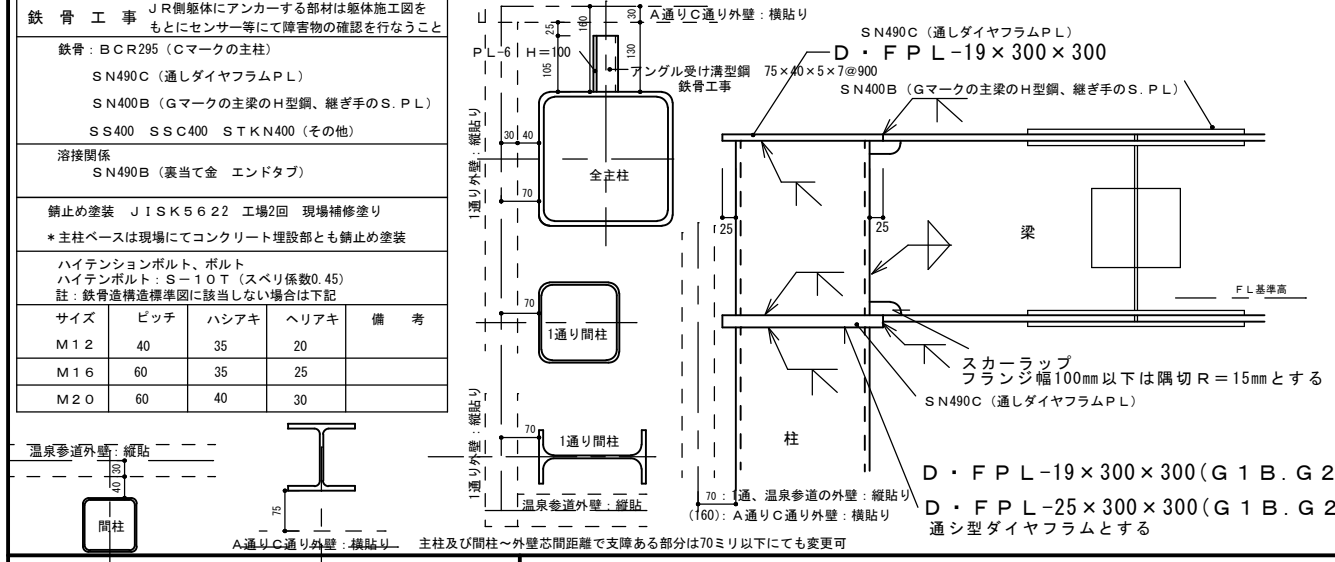
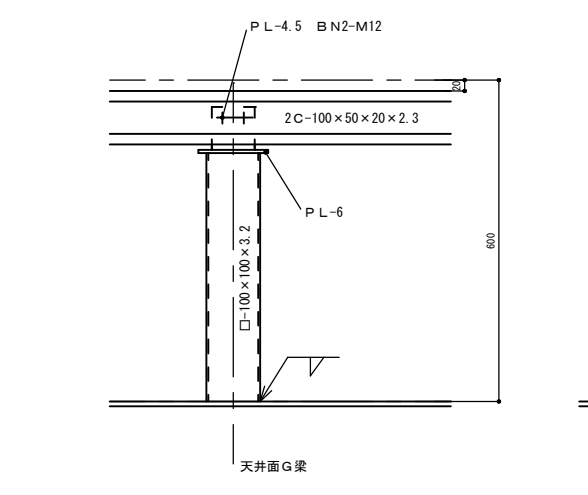
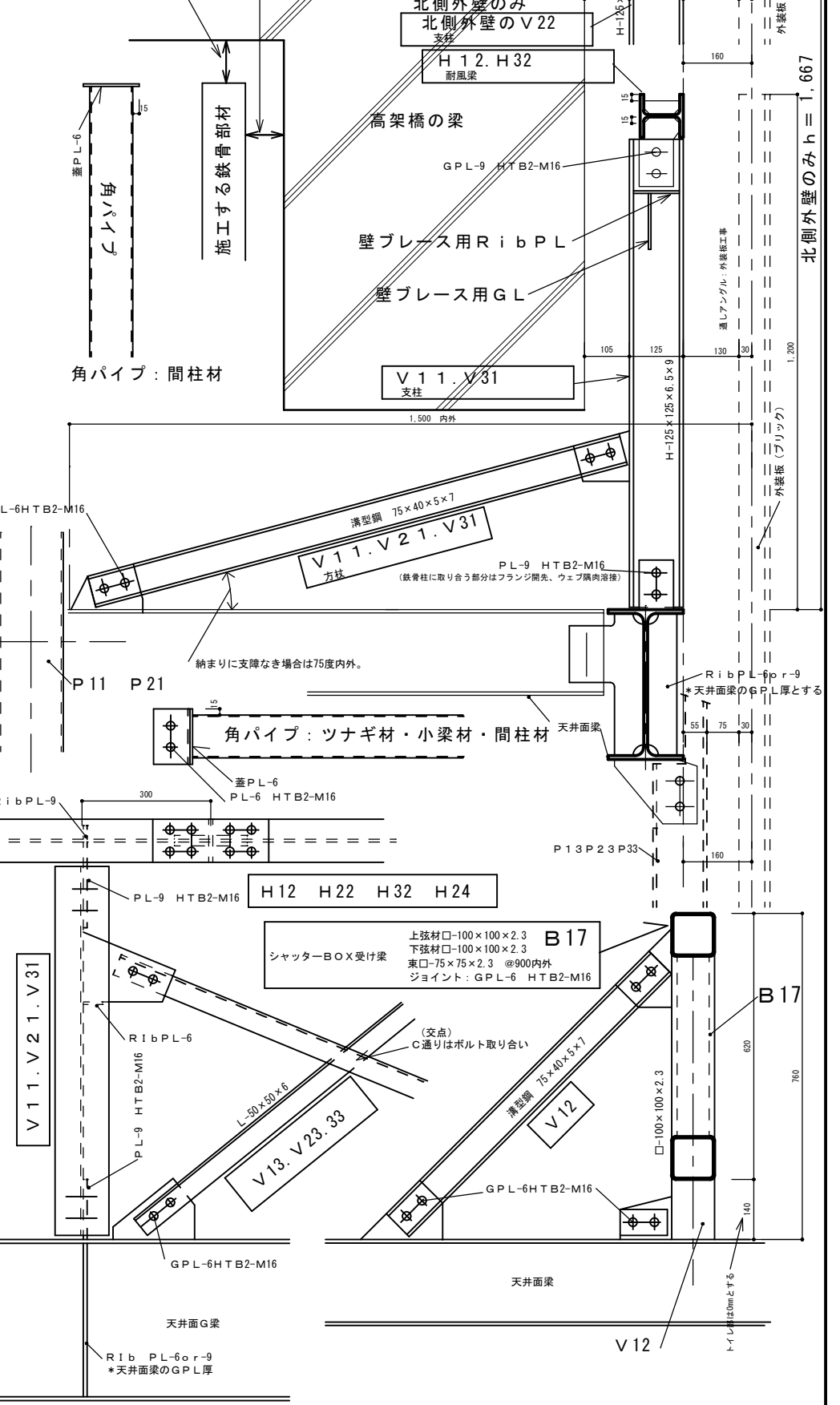
鉄骨リスト

当図面に表示なき外装板用開口補強及び外装板用アンカーは外装板工事に含む。

記号	サイズ	ジョイント	記号	サイズ	ジョイント	
G ¹ G ² G ³	H-350×175×7×11	フランジ2SPPL-9, HTB6-M16 ウェブ2SPPL-6, HTB3-M16	C1 C2 C3	□-250×250×12		
G1A G2A G3A	H-350×175×7×11	フランジ2SPPL-9, HTB6-M16 ウェブ2SPPL-6, HTB3-M16	P11 P21 P31	□-150×150×4.5	PL-6 HTB2-M16	
G1B G2B G3B	H-340×250×9×14	フランジ2SPPL-12, HTB6-M20 ウェブ2SPPL-9, HTB3-M20	P12	□-100×100×3.2	PL-6 HTB2-M16	
KB11 KB21	H-200×100×5.5×8	フランジ2SPPL-9, HTB4-M16 ウェブ2SPPL-6, HTB2-M16	P13 P23 P33 P13B P23A P33A P23B P33B	*A付けマーク材はベースPL、A、B無 H-125×125×6.5×9 *B付けマーク材は主柱取り付け材	PL-6 HTB2-M16	
KB22	H-300×150×6.5×9	フランジ2SPPL-9, HTB6-M16 ウェブ2SPPL-6, HTB3-M16	P14	H-200×100×5.5×8	PL-6 HTB2-M16	
K31	H-200×100×5.5×8	フランジ：開先溶接 ウェブ：隅肉溶接	P15	□-100×100×3.2	柱脚：工場隅肉溶接 柱頭：PL-4.5BN2-M12	
K32	H-100×100×6×8	フランジ：開先溶接 ウェブ：隅肉溶接	P26 P36	□-100×100×3.2	PL-6 HTB2-M16	
B11 B21 B31	H-200×100×5.5×8	PL-6 HTB2-M16	記号	部材	サイズ	ジョイント
B12 B22 B32	H-300×150×6.5×9	PL-6 HTB3-M16				
B23 B33	□-100×100×2.3	PL-6 HTB2-M16	V11 V21 V31	柱材	H-125×125×6.5×9	PL-9 HTB2-M16 *主柱付は溶接
B14	溝型鋼150×75×6.5×9	PL-6 HTB2-M16	V12 V22	柱材	□-100×100×2.3	PL-6 HTB2-M16 木口蓋PL-3.2
B15 B25 B35	□-100×100×2.3	PL-6 HTB2-M16	V12 V22	方杖材	溝型鋼 75×40×5×7	PL-6 HTB2-M16
B26	□-75×75×2.3	PL-6 HTB2-M16	V12 V22	方杖材	溝型鋼 75×40×5×7	PL-6 HTB2-M16
H11 H21	H-150×150×7×10 ：横向き材 耐風梁	PL-9 HTB2-M16 Rib PL-6	L21	柱材	H-100×100×6×8	PL-9 HTB2-M16 *主柱付は溶接
H12 H22	H-100×100×6×8 ：横向き材 耐風梁	フランジ2SPPL-9, HTB4-M16 ウェブ2SPPL-9, HTB2-M16	L21	置梁	H-100×100×6×8	PL-6 HTB2-M16
H24	H-200×100×5.5×8 ：横向き材 耐風梁	フランジ2SPPL-9, HTB4-M16 ウェブ2SPPL-9, HTB2-M16	M21 M31	小梁	□-100×100×3.2	PL-6 HTB2-M16
H13 H23 H33	□-100×100×3.2	PL-6 HTB2-M16	B17	弦材	□-100×100×2.3	PL-6 HTB2-M16
H14	2C100×50×20×2.3	柱脚：工場隅肉溶接 柱頭：PL-4.5BN2-M12	S31 S32	束	□-75×75×2.3 @900内外	弦材に溶接
屋内天井ネタ	2C-100×50×20×2.3 @910 ツヅリ板PL-4.5×50 @900	ネコPL-4.5 BN2-M12	S31 S32	縦材	防振ゴム付 L-150×90×9	ケミカルアンカ 6-M16
H35	H-125×125×6.5×9 ：横向き材 耐風梁	PL-9 HTB2-M16	S32	横ツナギ	L-150×90×9	PL-9 HTB2-M16
天井面ブレース	RB-16Φ ターンバックル付	PL-6 HTB1-M16	N11 N31	斜材 束材	L-100×100×7	工場隅肉溶接
外壁面ブレース (V13, V23, V33)	L-50×50×6	PL-6 HTB2-M16		天井吊受 ドーブチ	C-100×50×20×2.3 @455	PL-4.5 BN2-M12



ゴムパッキン使用部材以外はRC躯体とは縁切



特記事項	内容
鉄骨工事	JR側躯体にアンカーする部材は躯体施工図をもとにセンサー等にて障害物の確認を行なうこと 鉄骨：BCR295 (Cマークの主柱) SN490C (通シダイヤフラムPL) SN400B (Gマークの主梁のH型鋼、継ぎ手のS.P.L) SS400 SSC400 STKN400 (その他)
溶接関係	SN490B (裏当て金 エンドタブ)
錆止め塗装	JIS K5622 工場2回 現場補修塗り *主柱ベースは現場にてコンクリート埋設部とも錆止め塗装
ハイテンションボルト、ボルト	ハイテンボルト：S-10T (スベリ係数0.45) 註：鉄骨造標準図に該当しない場合は下記
サイズ	ピッチ ハシアキ ヘリアキ 備考
M12	40 35 20
M16	60 35 25
M20	60 40 30

エィシーエヌ
(有) ACN 松尾建築設計事務所
P. C. NO

一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一
〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地
TEL 0954-36-3466
FAX 0954-36-3467

工事名 (仮称) 観光交流センター建設工事
図名 鉄骨断面リスト
縮尺 1/10
日付
図番 S-7
担当

(仮称)観光交流センター 1期電気設備工事

図面番号	図面リスト	縮尺
E-0	電気設備現場説明書	
E-1	電気設備特記仕様書	
E-2	一期単線結線図・弱電参考姿図	
E-3	一期照明器具参考姿図	
E-4	一期電灯設備図	S = 1 / 100
E-5	一期幹線・コンセント設備図	S = 1 / 100
E-6	一期弱電設備図	S = 1 / 100
E-7	自動火災報知系統図	
E-8	一期自動火災報知設備図	S = 1 / 100
E-9	自動火災報知駅舎側平面図	S = 1 / 150

現場説明書					
工事名	(仮称) 観光交流センター1期電気設備工事				
契約条件	監督員事務所の電気、ガス、水道使用料、公用電話料金は、建築、電気、衛生、空調等の各請負業者により、按分負担する。	<p>工事の案内板 (広報等を含む) 工事に使用する進入路</p> <p>仮囲い等</p> <p>工事中の写真</p> <p>関連工事との協調</p> <p>竣工後の維持管理</p> <p>その他特記事項</p>	<p>建設資材納入業者の利益を不当に害することなく、公正な取り引きを行うこと。さらに、工事の実施にあたっては、下請け代金の決定（前払い金を含む）及び下請け代金の支払等についての不適正な条件による下請けをしないこと。また、不必要な重層下請が生じないよう配慮すること。</p> <p>4、工事施工にあたっては、土砂等の運搬が運送契約によって行われるときは、正規の運送免許を受けた者の車輛の使用に努めること。</p> <p>5、建設資材の価格変動に対応し下請金額の変更については、適切に措置すること。</p> <p>工事の案内板は、書入内容、製作寸法、使用材料、設置位置について監督員と協議して設けること。</p> <p>土砂、工事用資材等のダンプ、トラック等の大型貨物自動車による搬送計画、通行計画の選定、その他車輛の通行に係る安全対策について、請負業者は関係機関と十分協議して、必要な具体的内容を定め、監督員の承認を得たうえでこれを誠実に履行すること。また、官公署等に対する許可届け等の手続きも行うこと。</p> <p>仮囲い及び板塀については、設計図により実施すること。なお、現場の状況により仮囲い等の変更が必要な場合は、監督員との協議により実施すること。</p> <p>工事中及び竣工写真については、建設大臣官房官庁営繕部「工事写真の撮り方（建築設備編）」による他、建設地周辺に建築物、構築物等がある場合は適切な区画を定め、必要に応じ、着工前にそれらを撮影すること。</p> <p>工事関係請負者は、工事の質の向上及び工事全体の円滑な進捗を図るため、協議、協調すると共に、契約書並びに「共通仕様書」による他、監督員の調整に従い、工事の円滑な施工に協力すること。</p> <p>1、竣工後の維持管理は監督員と十分協議のうえ、請負者の責任において、下記の仕様により善良に行うこと。 (期間は竣工後30日間)</p> <p>(イ) 雨天の日以外は週に2回以上建物を開放し、室内の換気を行う事。</p> <p>(ロ) 暴風雨等、当該建物に被害の生じる恐れのある場合には、必要な措置をとると共に、その結果を監督員に報告すること。</p> <p>(ハ) 建物内部及び周囲は適時巡回し、建物等に損傷、故障その他異常があったとき、又は緊急事故が発生したときは、所要の措置を講ずると共にその結果を監督員に報告すること。</p> <p>(ニ) 建物を使用開始する直前に建物の内外の清掃を行う事。</p> <p>(ホ) 居室の外部開口部には必要に応じ監督員と協議して、遮光シートを取付け維持管理をすること。</p> <p>2、建物使用開始後、原則として、90日間は及び設備の取付け等の処理のため、即時対応できるよう態勢を取っておくこと。</p> <p>◎ 設計図書優先順位は次のとおりとする。現場説明書（現場説明に対する質疑応答書も含む）、特記仕様書、設計図、共通仕様書。</p> <p>◎ 工事中、場内では危険防止に特に注意を払い、工事車輛等は徐行運転をし、駐車は指定の場所に行う事。</p> <p>◎ 工事の一部を下請に付する場合は、下請契約の形式を明確にして、直ちに一部下請申請書を提出し、承諾を得ること。</p> <p>◎ 不慮の事故に備えて火災保険等に参加すること。また、労働災害事故にも備え、建設労働災害補償制度へもできる限り加入すること。</p> <p>◎ 下請や資材調達にあたっての契約は本来工事業者間の自由な意思が尊重されますが、下請契約の相手は、できる限り市内業者としてください。また、建設資材はできる限り市内業者から購入してください。</p> <p>◎ 建設副産物の処理について</p> <p>1、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「再生資源の利用の促進に関する法律」及び建設副産物適正処理推進」その他関係法令等に従い適切に処理すること。</p> <p>2、産業廃棄物の収集・運搬は許可を受けた収集運搬業者の車輛とする。又、処分についても許可を受けた処分業者の処分場（中間処理場を含む）とする。</p> <p>3、伝票管理制度（マニユフェスト）及び写真等による、産業廃棄物処理報告書を作成すること。</p> <p>4、再利用が可能な建設副産物については、リサイクルを前提とした処理に努めること。</p> <p>◎ 工事が完成したときは、完成図書作成要領により提出すること。</p> <p>◎ 契約後直ちにA3二つ折り製本4部、A2二つ折り製本1部提出すること。</p> <p>◎ 当該工事において防災等の無線を妨害する、不法無線局(電波法に基づく免許を受けずに開設される無線局)を設置しているアンテナについては、使用しないこと。</p>		
建設業退職金共済組合	1、建設業者は、組合に加入するとともに、その建設業退職共済制度の対象となる労働者について、証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。				
建設産業における生産システム合理化指針	2、工事を受注した建設業者は、組合の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事請負契約締結後、1ヶ月以内に契約相手方の担当課長に提出すること。				
工事費内訳書	なお、期限内に収納書を提出できない特別の事情がある場合は、あらかじめその事由及び証書購入予定を合わせて申し出ること。				
安全対策	3、証紙購入状況を把握する必要があるときは、関係資料の提出を求めることがある。				
	4、建設業者が、下請負契約を締結する際は、下請負業者にたいして、この制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の組合加入並びに証紙のご購入及び貼付を促進すること。				
	5、下請業者の規模が小さく、管理事務処理の面で万全でない場合は、元請業者に組合加入手続き及び組合関係事務の処理を委託する方法もあるので、元請業者は積極的に受託すること。				
	本工事の施工にあたっては、「建設産業における生産システム合理化指針」を遵守すること。				
	入札に際し、工事費内訳書の原稿を持参すること。				
	災害、公害の防止については、「建築・電気設備・機械設備工事共通仕様書」、「公共住宅建設工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）による他、下記による。				
	(イ) 本工事における建設機械の使用については、環境汚染、鉛公害等防止のため、鉛フリー塗料対策を講じたものを使用すること。				
	(ロ) 工事請負者は附近住民への防災その他の対策については、特に留意し、関係下請負業者にその趣旨を徹底し、紛争が生じた場合は、直ちに監督員に報告し、責任をもって処理すること。				
	(ハ) 危険物、土砂及び塵埃が現場から飛散しないよう防止策を日常怠らぬようすること。				
	(ニ) 震動、騒音を伴う工事については、その防止対策を講ずると共に作業日時は次のとおりとする。				
	◎日曜日及び国民の祝日には作業は行わない。なお、作業時間については、周辺居住者と十分な協議を行う等の措置を講じ、かつ関係法規等に抵触することのないよう十分に配慮し作業を行うこと。				
	(ホ) 建設現場内、外を問わず、道路、構築物等を破損あるいは、汚染させた場合は、本工事請負業者の責任において、すみやかに原型に復し、管渠等への土砂の流入があった場合は直ちに除去すること。				
	(ヘ) キャタピラ付特殊車等の場内道路の通行については監督員の指示をうけること。				
適正な施工の確保	1、工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は、専任の監理技術者については適切な資格、技術力等を有する者を設置すること。				
	2、労働時間については、労働基準法を遵守し、労働時間の短縮や休日の確保には十分に配慮すること。				
危険防止	工事期間の危険防止については下記によること。				
	(イ) 工事期間中危険と思われる箇所については危険防止の稼働柵、立入禁止の表示、立札を設置し、夜間は必要に応じ注意灯を設ける等の措置を講じること。				
	(ロ) 工事期間中、通行者の安全確保のための交通整理員を配置する等、必要に応じ措置すること。				
注意事項	1、官公署等への手続きについては「共通仕様書」による他、地元に対しても打合わせ等を十分に行い、工事中も地元及び関係官公署に対し、連絡を保ち適切に行うこと。				
	2、「前払金保証約款第7条の2」の保証事業会社への通知				
	(イ) 請負者は、工期変更の被保証者（発注者）から保証事業会社への通知を発注者に代わって行うものとする。				
	(ロ) 通知方法は、工期変更にかかる工事請負変更契約書の写しを送付して行うものとする。				
	3、工事を受注した業者は、適切な買金の確保、及び労働災害の防止等、建設労働者の保護につとめるとともに、				
特記事項		<p>エシーエヌ (有) A C N 松尾建築設計事務所</p> <p>一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467 E-mail fuichi@silk.plala.or.jp</p>	<p>工 事 名 目</p> <p>(仮称) 観光交流センター1期電気設備工事</p>	縮 尺 図 番	日 付 担 当
	P. C. N O		機 械 設 備 現 場 説 明 書	E - O	

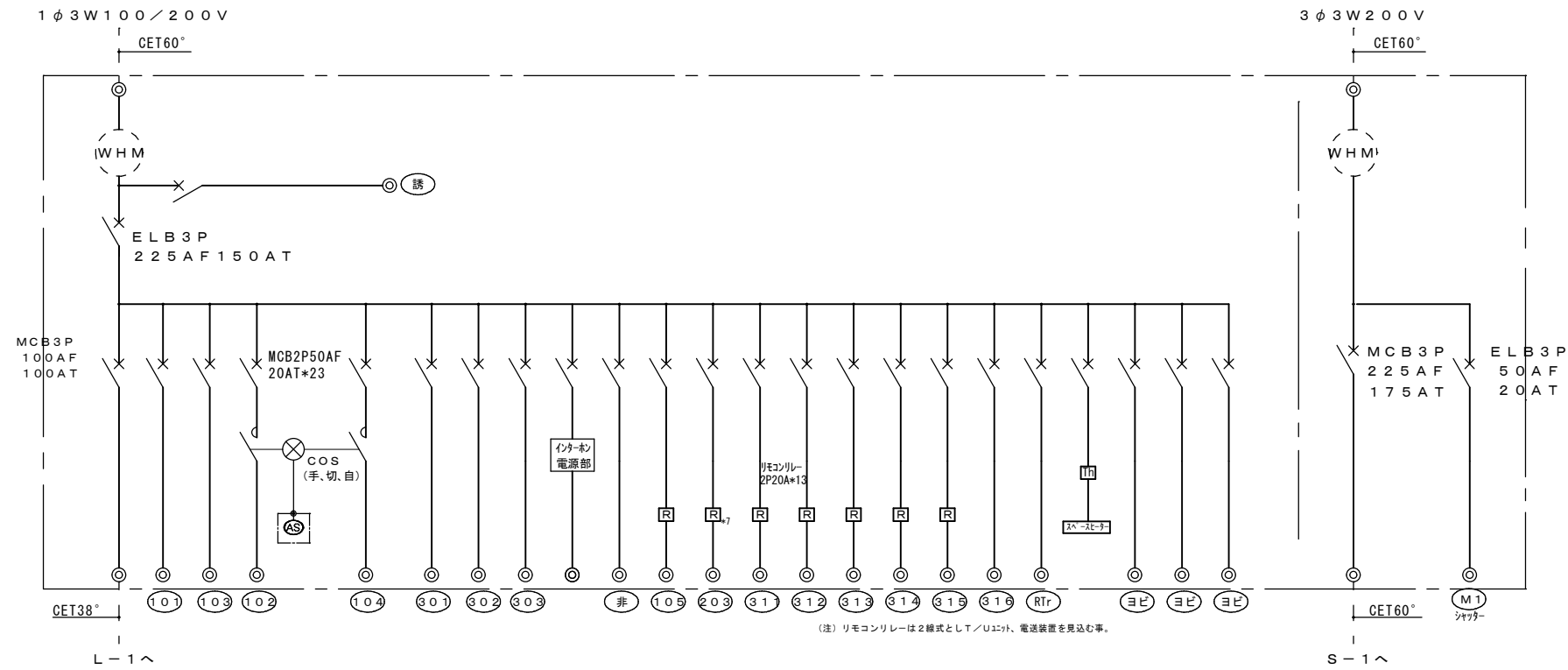
Form containing project details, specifications, and drawings for electrical equipment. Includes sections for 1. Project Summary, 2. Equipment Specifications, 3. Work Item Schedule, 4. Installation Details, and 5. Equipment List. The equipment list includes items like fire alarm panels, lighting, and communication devices with their respective specifications.

特記事項
(有) ACN 松尾建築設計事務所

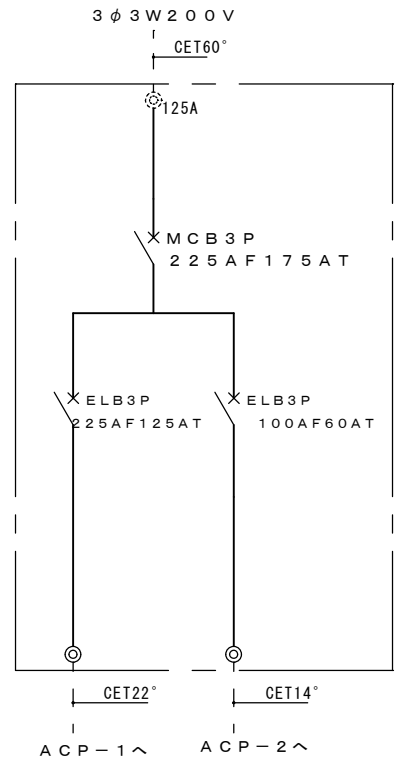
一級建築士大臣登録 135609号 松尾番一
〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎 4512番地
TEL 0954-36-3466
FAX 0954-36-3467

工 事 名
(仮称) 観光交流センター1期電気設備工事
縮 尺
図 名
電 気 設 備 特 記 仕 様 書

日 付
担 当
E-1



WS - 1 屋外半埋込型 (自立型) 銅板製



(註) ATは空調機仕様に合わせての事 (数値は参考とする)

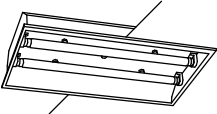


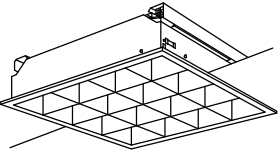
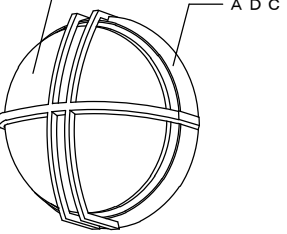
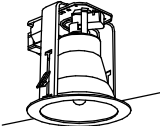

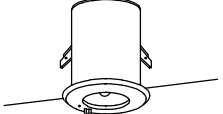
S - 1 屋外壁掛型 銅板製

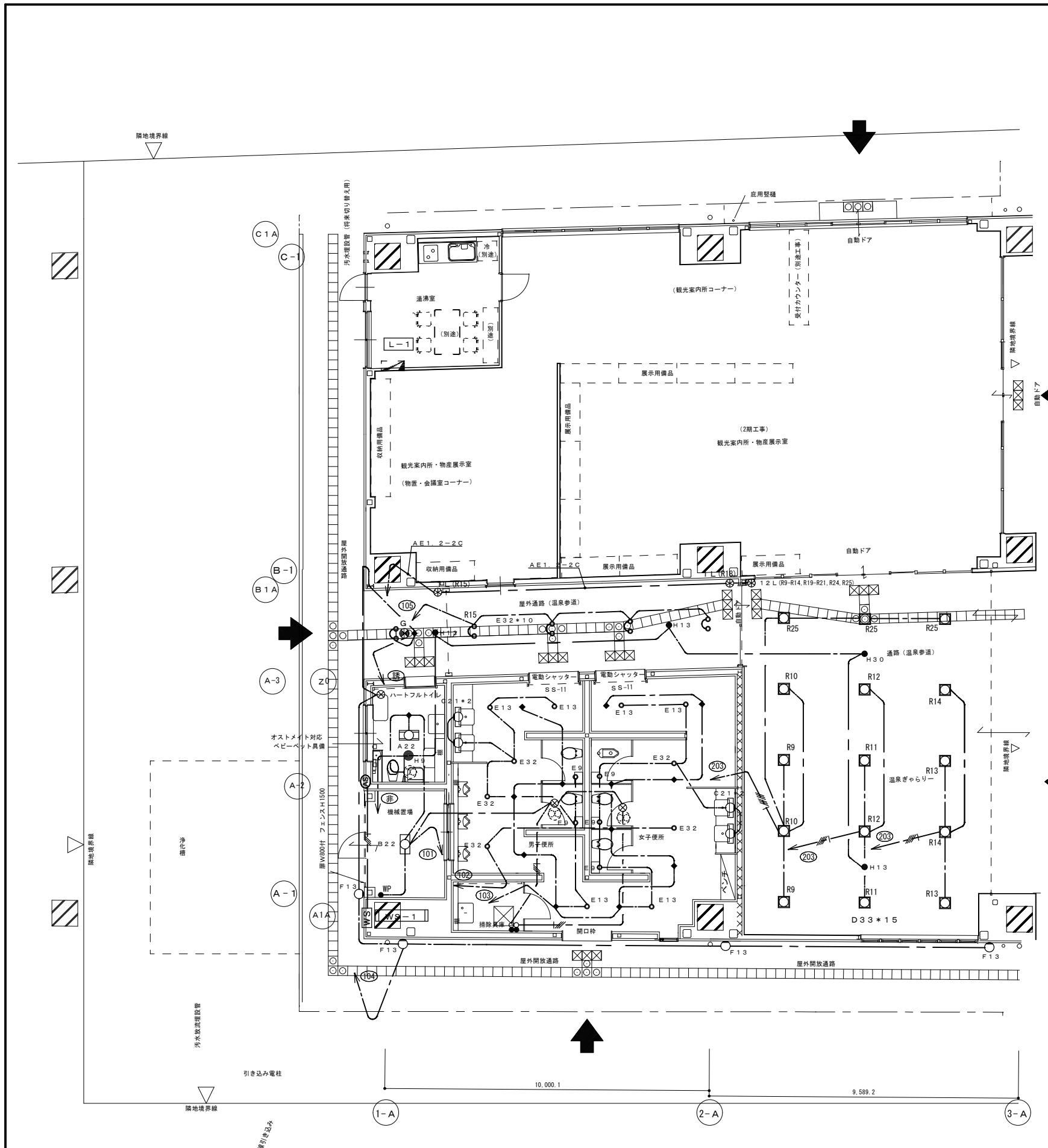
NC	トイレ呼出表示器 (1窓)	■	復帰ボタン
電源	DC24V	回路方式	ノンロック式、ブレイク接点
ブザー	電子音	取付方法	埋込型
表示灯	LED (赤)	プレート	ABS樹脂
復帰スイッチ	ノンロック押ボタン (全復帰)	適合ボックス	JIS1個用スイッチボックス (カバー付)
プレート	新金属プレート 3ヶ用		

	トイレ呼出表示器用電源アダプター	N	呼出押ボタン
電源	AC100V 50/60Hz	形式	防滴型
出力	DC24V	押ボタン	ノンロック式大型ボタン
ケース	アルミケース	呼出確認灯	LED (赤)
		プレート	抗菌ABS樹脂
		適合ボックス	JIS1個用スイッチボックス (カバー付)

○	ブザー付廊下灯		
カバー	アクリル樹脂 (乳白色)		
プレート	高級軽合金 (1.2)		
適合ボックス	JIS規格1コ用スイッチボックス		
表示灯	12V、0.15A		

照明器具参考図

A 2 2	FL 2 0 W - 2 FRS 2 - 2 0 2	B 2 2	FL 2 0 W - 2 WP	C 2 1	FL 2 0 W - 1 ミラーライト	D 3 3	FPL 3 6 W - 3 FRL 1 2 - P 3 2 3		
									
E 3 2	FHT 3 2 W - 1	F 1 3	D 1 5 型ボール蛍光灯 WP	G	SH 1 - F S F 2 0 - B	H 9	IL 9 W K 1 - I R S 4 - J 9		
E 1 3	FDL 1 3 W - 1	 <p>乳白つや消しガラス</p>				H 1 3	IL 1 3 W K 1 - I R S 4 - J 1 3		
E 9	FDL 9 W - 1							H 3 0	IL 3 0 W K 1 - I R S 4 - J 3 0
									



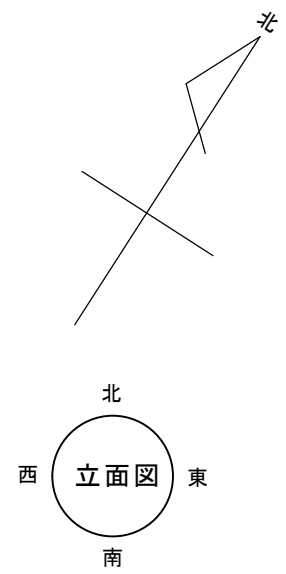
凡 例

記 号	名 称	仕 様	備 考
	電 灯 分 電 盤	既 設	
	引 込 開 閉 盤	単 線 結 線 図 に よ る	
	照 明 器 具	姿 図 に よ る	
	"	"	
	"	"	
	"	"	
	"	"	誘 導 灯
	"	"	非 常 灯
	埋 込 ス イ ッ チ	1 P 15 A x 1	防 水 P 付
	埋 込 ス イ ッ チ	1 P 15 A x 1 P L 付 ワ イ ド 型	金 属 P 付
	人 感 セ ン サ ー		親 器 は B A 型
	自 動 点 滅 器	プ ラ グ イ ン 式 3 A	防 水 型
	リ モ コ ン セ レ ク タ ー ス イ ッ チ	2 線 式	金 属 P 付
	位 置 ボ ッ ク ス	ア ウ ト レ ッ ト 仕 様	
	天 井 イ ン ベ イ 配 線		

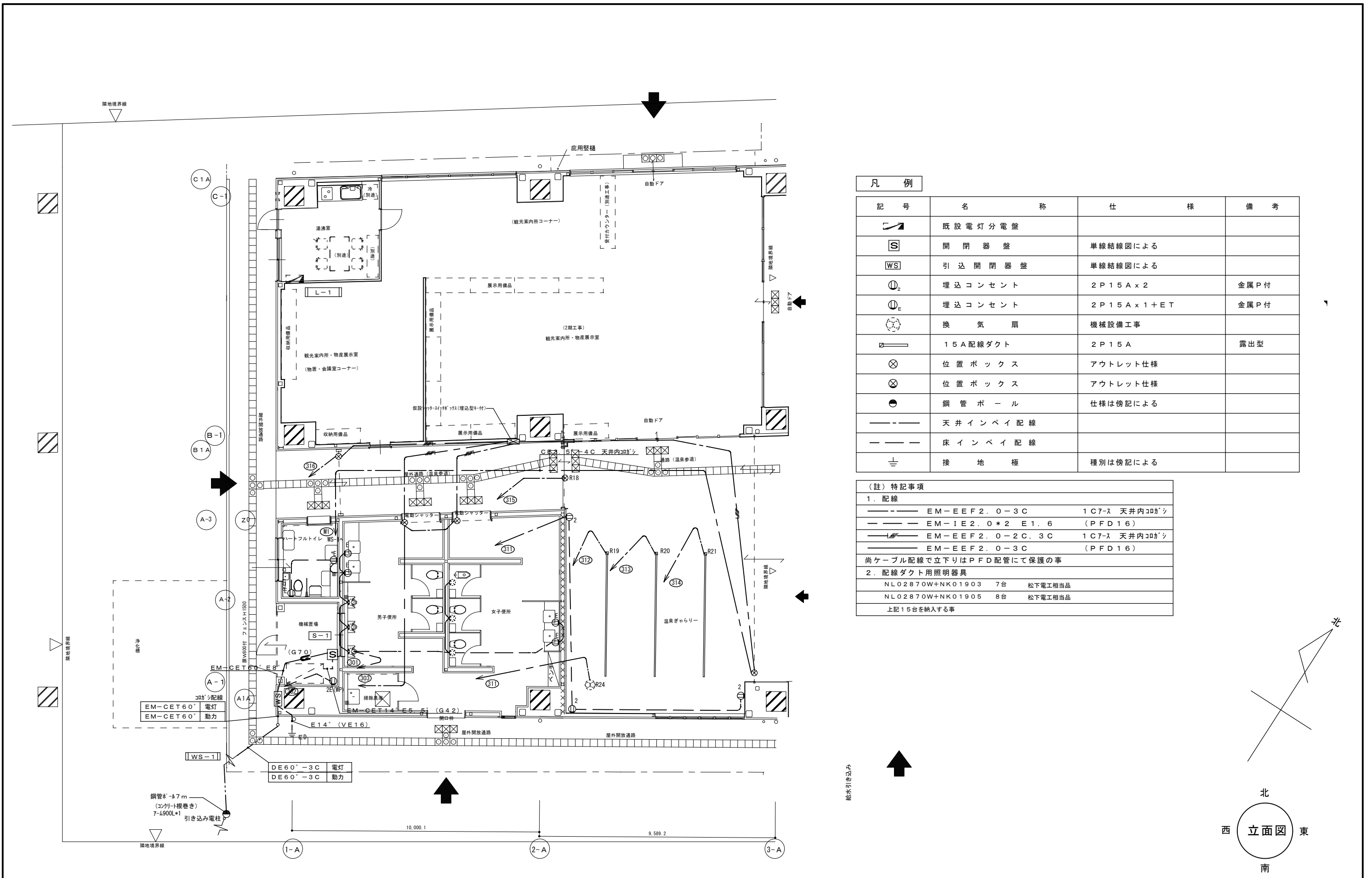
(註) 特記なき配線は下記による

	EM-EEF2.0-3C	1C7-ス 天井内コカシ
	EM-EEF2.0-2C*2	1C7-ス 天井内コカシ
	EM-EEF2.0-2C, 3C	1C7-ス 天井内コカシ
	EM-EEF2.0-2C*2, 3C	1C7-ス 天井内コカシ
	EM-EEF2.0-3C	(PFD16)

尚 立 下 り は P F D 配 管 に て 保 護 の 事

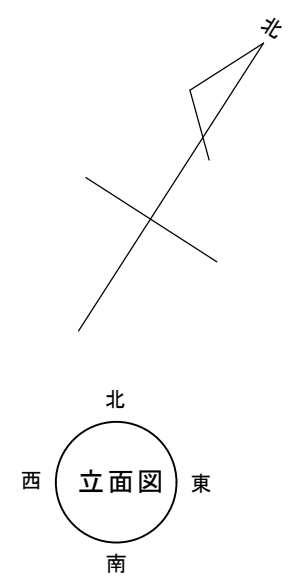


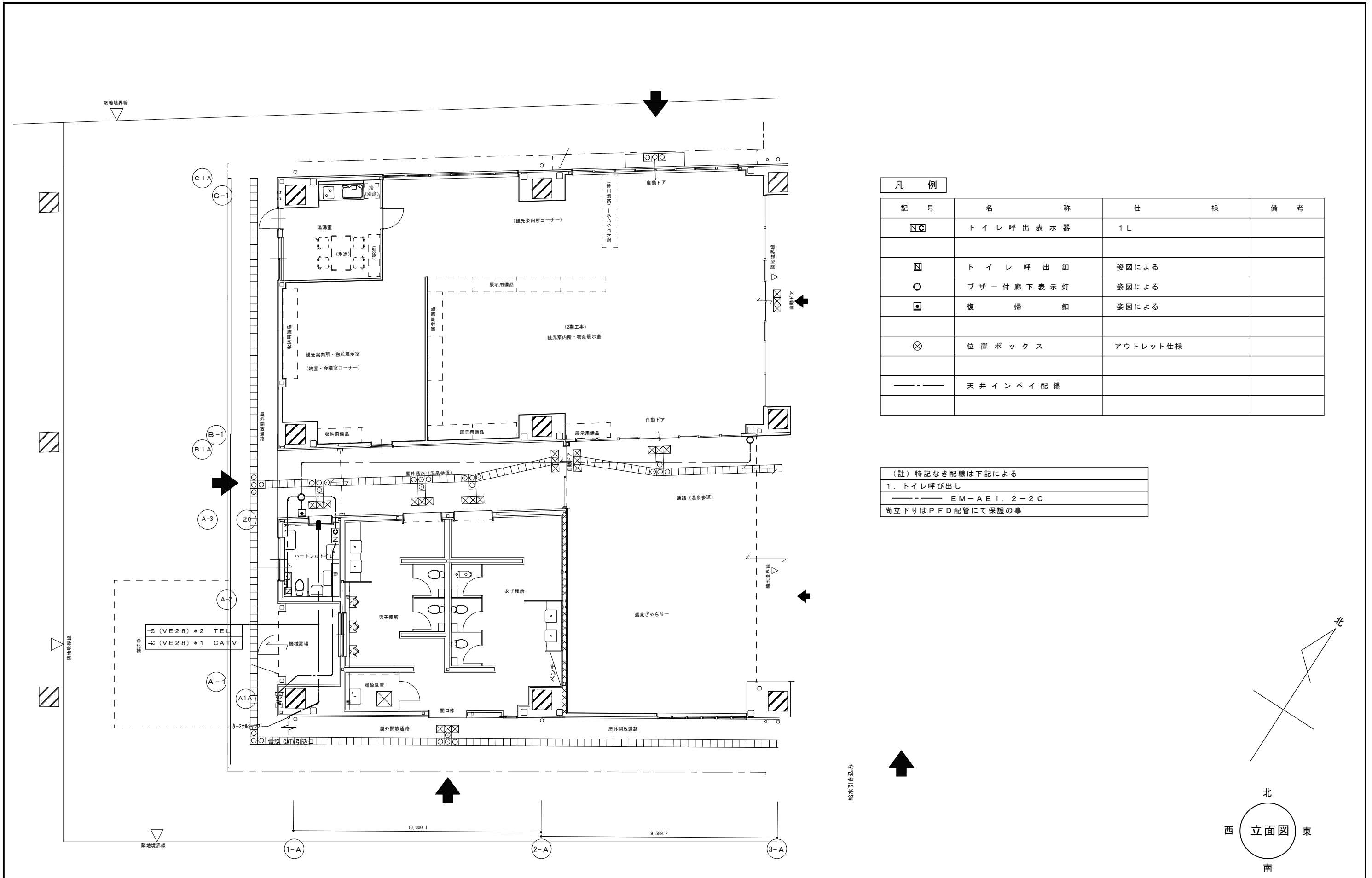
特記事項	(有) A C N 松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾普一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎 4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467		工 事 名	(仮称) 観光交流センター 1期電気設備工事	縮 尺	1/100	日 付	
	P. C. NO				図 名	一 期 電 灯 設 備 図	図 番	E-4	担 当	



凡 例			
記 号	名 称	仕 様	備 考
	既設電灯分電盤		
	開 閉 器 盤	単線結線図による	
	引 込 開 閉 器 盤	単線結線図による	
	埋 込 コンセント	2P15A x 2	金属P付
	埋 込 コンセント	2P15A x 1 + ET	金属P付
	換 気 扇	機械設備工事	
	15A配線ダクト	2P15A	露出型
	位 置 ボ ッ ク ス	アウトレット仕様	
	位 置 ボ ッ ク ス	アウトレット仕様	
	鋼 管 ボ ー ル	仕様は傍記による	
	天 井 イ ン ベ イ 配 線		
	床 イ ン ベ イ 配 線		
	接 地 極	種別は傍記による	

(註) 特記事項		
1. 配線		
	EM-EEF2.0-3C	1C7-λ 天井内コガシ
	EM-IE2.0*2E1.6	(PFD16)
	EM-EEF2.0-2C,3C	1C7-λ 天井内コガシ
	EM-EEF2.0-3C	(PFD16)
尚ケーブル配線で立下りはPFD配管にて保護の事		
2. 配線ダクト用照明器具		
NL02870W+NK01903	7台	松下電工相当品
NL02870W+NK01905	8台	松下電工相当品
上記15台を納入する事		

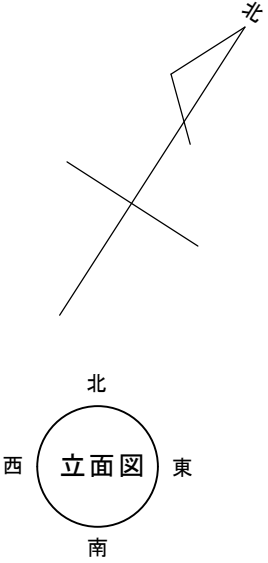




凡 例

記 号	名 称	仕 様	備 考
□	トイレ呼出表示器	1 L	
■	トイレ呼出錠	姿図による	
○	プザー付廊下表示灯	姿図による	
■	復 帰 錠	姿図による	
⊗	位 置 ボ ッ ク ス	アウトレット仕様	
---	天井インベイ配線		

(註) 特記なき配線は下記による
 1. トイレ呼び出し
 --- EM-AE1. 2-2C
 尚立下りはPFD配管にて保護の事

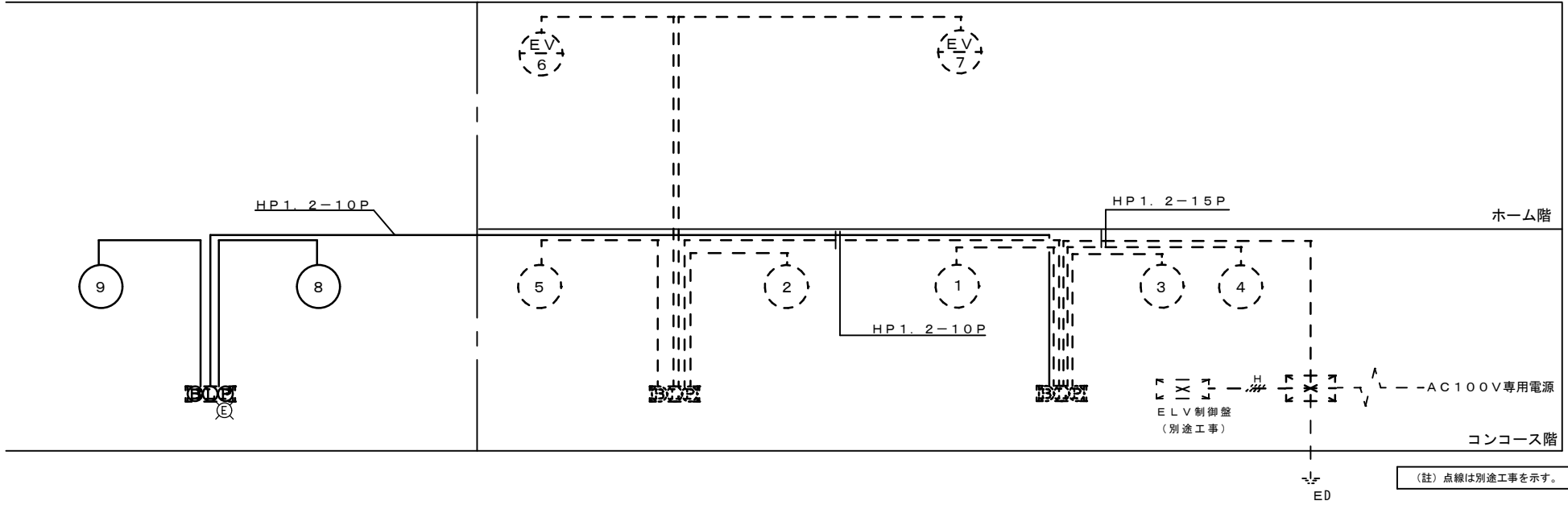


凡 例

記号	名称	備考
	受信機	P型1級 10回線 壁掛型
	機器収容箱	屋内消火栓 組込
	電鈴	DC24V 150φ
	表示灯	発光ダイオード
	発信機	P型1級
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式スポット型感知器	特種 60℃
	定温式スポット型感知器	1種 防水 70℃
	光電式スポット型感知器	2種
	光電式スポット型感知器	2種・埋込型
	消火栓始動装置	2A
	終端器	CRE
	警戒区域番号	自火報 1~9
	粉末消火器	ABC10型 埋込ボックス付

- 受信機は壁掛型とし、表示内訳は下記とする。
・火報 10L 実窓 7L 予備 4L
- 地区音響は一斉鳴動（逐次鳴動方式）とする。

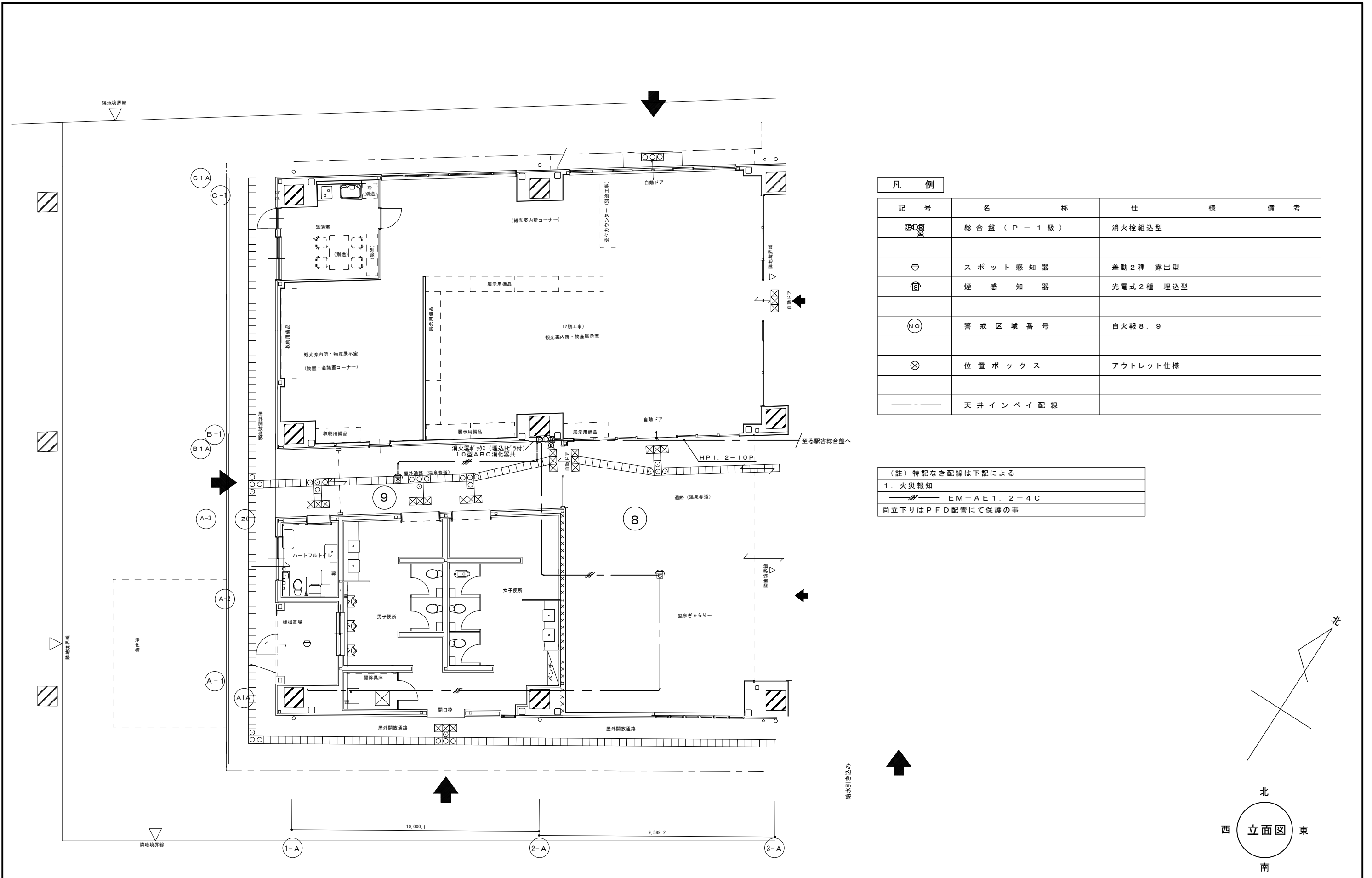
注 記
1. 特記なき配線は下記とする。（二重天井内は配管不要）
EM-AE 1.2-4C 保護管 (PF16)



観光交流センター側自動火災報知設備系統図

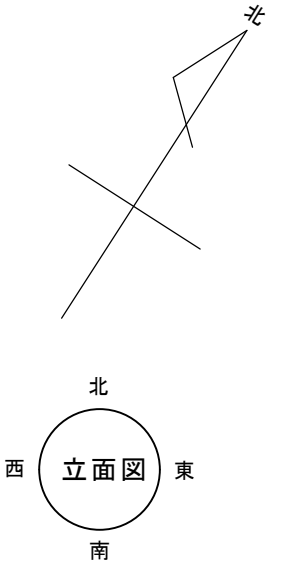
駅舎側自動火災報知設備系統図

特記事項	エイシーエヌ (有) A C N 松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾普一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467	工 事 名 称 (仮称) 観光交流センター1期電気設備工事	縮 尺 図 番	日 付 担 当
	P. C. NO			自動火災報知系統図	E-7	

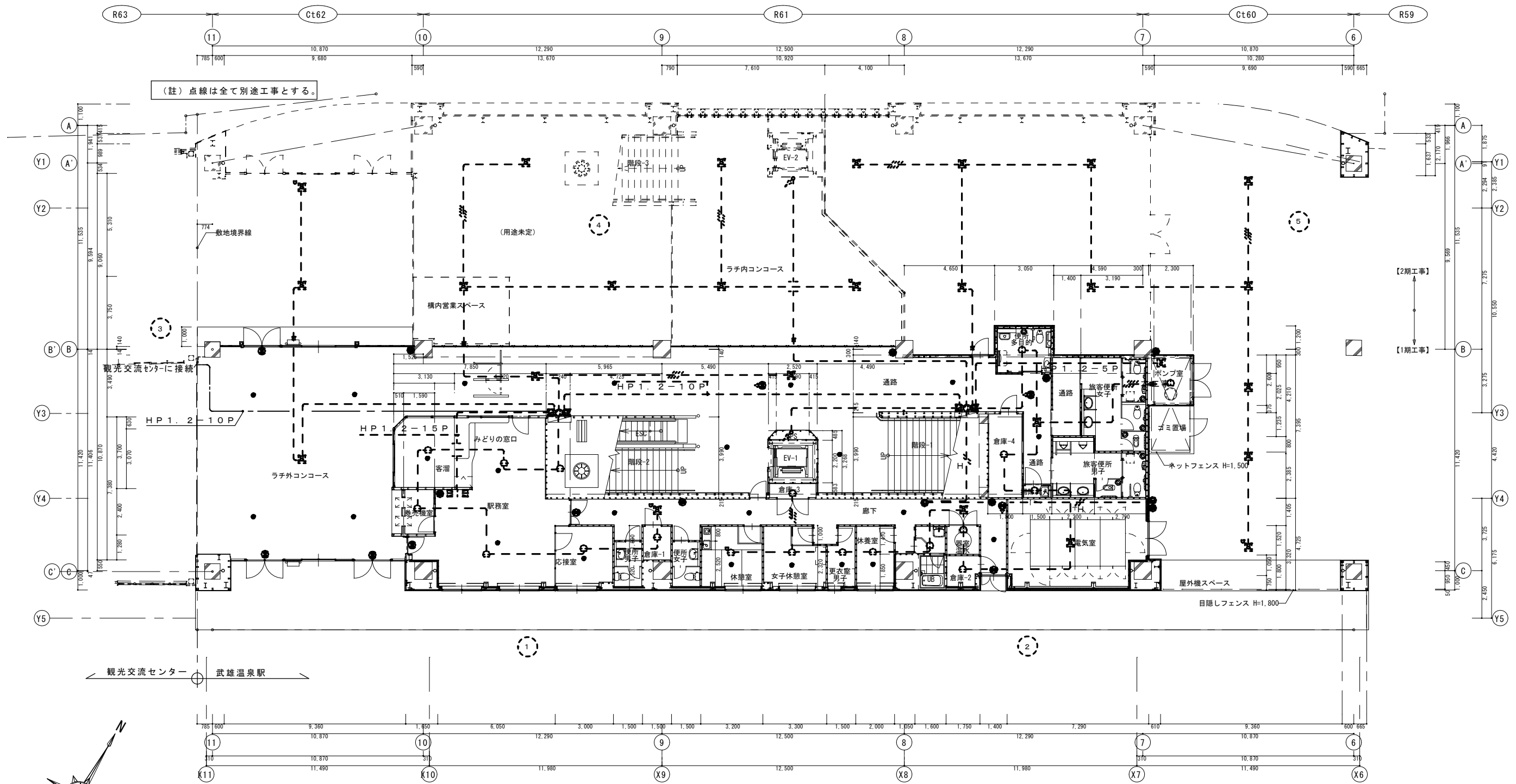


凡 例			
記 号	名 称	仕 様	備 考
☐	総合盤 (P-1級)	消火栓組込型	
○	スポット感知器	差動2種 露出型	
⊕	煙感知器	光電式2種 埋込型	
⊙	警戒区域番号	自火報8.9	
⊗	位置ボックス	アウトレット仕様	
---	天井インベイ配線		

(註) 特記なき配線は下記による
 1. 火災報知
 EM-AE1.2-4C
 尚立下りはPFD配管にて保護の事



特記事項	エイシーエス (有) A C N 松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾普一 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467		工 事 名 (仮称) 観光交流センター1期電気設備工事	縮 尺 1/100	日 付 担当
	P. C. N O				図 名 一期自動火災報知設備図	番 E-8	当



1階（コンコース階）平面図【1期工事】S=1/150

特記事項

エイシーエス
(有) ACN松尾建築設計事務所

一級建築士大臣登録 135609号 松尾普一
 849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎字陣内4512番地
 TEL 0954-36-3466
 FAX 0954-36-3467

工事名
 図名

(仮称) 観光交流センター1期電気設備工事

自動火災報知駅舎側平面図

縮尺
 図番

1 / 150

E - 9

日付
 担当
 者

(仮称) 観光交流センター 1期機械設備工事

図面番号	図面リスト	縮尺
M-1	機械設備現場説明書	
M-2	機械設備特記仕様書	
M-3	配置図	S = 1 / 300
M-4	衛生設備詳細図・器具表	S = 1 / 50
M-5	空調換気設備図	S = 1 / 100
M-6	武雄温泉駅側屋内消火栓設備図	S = 1 / 150

現 場 説 明 書		
工 事 名	(仮称) 観光交流センター1期機械設備工事	
契 約 条 件 建 設 業 退 職 金 共 済 組 合 建設産業における生産シフト合理化指針 工 事 費 内 訳 書 安 全 対 策 適正な施工の確保 危 険 防 止 注 意 事 項	<p>監督員事務所の電気、ガス、水道使用料、公用電話料金は、建築、電気、衛生、空調等の各請負業者により、按分負担する。</p> <p>1、建設業者は、組合に加入するとともに、その建設業退職共済制度の対象となる労務者について、証紙を購入し、当該労務者の共済手帳に証紙を貼付すること。</p> <p>2、工事を受注した建設業者は、組合の発注者用掛金収納書(以下「収納書」という。)を工事請負契約締結後、1ヶ月以内に契約相手方の担当課長に提出すること。</p> <p>なお、期限内に収納書を提出できない特別の事情がある場合は、あらかじめその事由及び証書購入予定を合わせて申し出ること。</p> <p>3、証紙購入状況を把握する必要があるときは、関係資料の提出を求められることがある。</p> <p>4、建設業者が、下請負契約を締結する際は、下請負業者にたいして、この制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の組合加入並びに証紙のご購入及び貼付を促進すること。</p> <p>5、下請業者の規模が小さく、管理事務処理の面で万全でない場合は、元請業者に組合加入手続き及び組合関係事務の処理を委託する方法もあるので、元請業者は積極的に受託すること。</p> <p>本工事の施工にあたっては、「建設産業における生産シフト合理化指針」を遵守すること。</p> <p>入札に際し、工事費内訳書の原稿を持参すること。</p> <p>災害、公害の防止については、「建築・電気設備・機械設備工事共通仕様書」、「公共住宅建設工事共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)による他、下記による。</p> <p>(イ) 本工事における建設機械の使用については、環境汚染、鉛公害等防止のため、ガソリン無鉛化対策を講じたものを使用すること。</p> <p>(ロ) 工事請負者は附近住民への防災その他の対策については、特に留意し、関係下請負業者にその趣旨を徹底し、紛争が生じた場合は、直ちに監督員に報告し、責任をもって処理すること。</p> <p>(ハ) 危険物、土砂及び塵埃が現場から飛散しないよう防止策を日常怠らぬようすること。</p> <p>(ニ) 震動、騒音を伴う工事については、その防止対策を講ずると共に作業日時は次のとおりとする。</p> <p>◎日曜日及び国民の祝日には作業は行わない。なお、作業時間については、周辺居住者と十分な協議を行う等の措置を講じ、かつ関係法規等に抵触することのないよう十分に配慮し作業を行うこと。</p> <p>(ホ) 建設現場内、外を問わず、道路、構築物等を破損あるいは、汚染させた場合は、本工事請負業者の責任において、すみやかに原型に復し、管渠等への土砂の流入があった場合は直ちに除去すること。</p> <p>(ヘ) キャタピラ付特殊車等の場内道路の通行については監督員の指示をうけること。</p> <p>1、工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は、専任の監理技術者については適切な資格、技術力等を有する者を設置すること。</p> <p>2、労働時間については、労働基準法を遵守し、労働時間の短縮や休日の確保には十分に配慮すること。</p> <p>工事期間の危険防止については下記によること。</p> <p>(イ) 工事期間中危険と思われる箇所については危険防止の稼働柵、立入禁止の表示、立札を設置し、夜間は必要に応じ注意灯を設ける等の措置を講じること。</p> <p>(ロ) 工事期間中、通行者の安全確保のための交通整理員を配置する等、必要に応じ措置すること。</p> <p>1、官公署等への手続きについては「共通仕様書」による他、地元に対しても打合わせ等を十分に行い、工事も地元及び関係官公署に対し、連絡を保ち適切に行うこと。</p> <p>2、「前払金保証約款第7条の2」の保証事業会社への通知 (イ) 請負者は、工期変更の被保証者(発注者)から保証事業会社への通知を発注者に代わって行うものとする。 (ロ) 通知方法は、工期変更にかかる工事請負変更契約書の写しを送付して行うものとする。</p> <p>3、工事を受注した業者は、適切な賃金の確保、及び労働災害の防止等、建設労働者の保護につとめるとともに、</p>	<p>建設資材納入業者の利益を不当に害することなく、公正な取り引きを行うこと。さらに、工事の実施にあたっては、下請け代金の決定(前払い金を含む)及び下請け代金の支払等についての不適正な条件による下請けをしないこと。また、不必要な重層下請が生じないよう配慮すること。</p> <p>4、工事施工にあたっては、土砂等の運搬が運送契約によって行われるときは、正規の運送免許を受けた者の車輛の使用に努めること。</p> <p>5、建設資材の価格変動に対応し下請金額の変更については、適切に措置すること。</p> <p>工事の案内板は、書入内容、製作寸法、使用材料、設置位置について監督員と協議して設けること。</p> <p>土砂、工事用資材等のダンプ、トラック等の大型貨物自動車による搬送計画、通行計画の選定、その他車輛の通行に係る安全対策について、請負業者は関係機関と十分協議して、必要な具体的内容を定め、監督員の承認を得たうえでこれを誠実に履行すること。また、官公署等に対する許可届け等の手続きも行うこと。</p> <p>仮囲い及び板塀については、設計図により実施すること。なお、現場の状況により仮囲い等の変更が必要な場合は、監督員との協議により実施すること。</p> <p>工事中及び竣工写真については、建設大臣官房官庁営繕部「工事写真の撮り方(建築設備編)」による他、建設地周辺に建築物、構築物等がある場合は適切な区画を定め、必要に応じ、着工前にそれらを撮影すること。</p> <p>工事関係請負者は、工事の質の向上及び工事全体の円滑な進捗を図るため、協議、協調すると共に、契約書並びに「共通仕様書」による他、監督員の調整に従い、工事の円滑な施工に協力すること。</p> <p>1、竣工後の維持管理は監督員と十分協議のうえ、請負者の責任において、下記の仕様により善良に行うこと。(期間は竣工後30日間)</p> <p>(イ) 雨天の日以外は週に2回以上建物を開放し、室内の換気を行う事。</p> <p>(ロ) 暴風雨等、当該建物に被害の生じる恐れのある場合には、必要な措置をとると共に、その結果を監督員に報告すること。</p> <p>(ハ) 建物内部及び周囲は適時巡回し、建物等に損傷、故障その他異常があったとき、又は緊急事故が発生したときは、所要の措置を講ずると共にその結果を監督員に報告すること。</p> <p>(ニ) 建物を使用開始する直前に建物の内外の清掃を行う事。</p> <p>(ホ) 居室の外部開口部には必要に応じ監督員と協議して、遮光シートを取付け維持管理をすること。</p> <p>2、建物使用開始後、原則として、90日間は及び設備の取付け等の処理のため、即時対応できるよう態勢を取っておくこと。</p> <p>◎設計図書優先順位は次のとおりとする。現場説明書(現場説明に対する質疑応答書も含む)、特記仕様書、設計図、共通仕様書。</p> <p>◎工事中、場内では危険防止に特に注意を払い、工事車輛等は徐行運転をし、駐車は指定の場所に行う事。</p> <p>◎工事の一部を下請に付する場合は、下請契約の形式を明確にして、直ちに一部下請申請書を提出し、承諾を得ること。</p> <p>◎不慮の事故に備えて火災保険等に加入すること。また、労働災害事故にも備え、建設労働災害補償制度へもできる限り加入すること。</p> <p>◎下請や資材調達にあたっての契約は本来工事業者間の自由な意思が尊重されますが、下請契約の相手は、できる限り市内業者としてください。また、建設資材はできる限り市内業者から購入してください。</p> <p>◎建設副産物の処理について 1、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「再生資源の利用の促進に関する法律」及び建設副産物適正処理推進」その他関係法令等に従い適切に処理すること。 2、産業廃棄物の収集・運搬は許可を受けた収集運搬業者の車輛とする。又、処分についても許可を受けた処分業者の処分場(中間処理場を含む)とする。 3、伝票管理制度(マニフェスト)及び写真等による、産業廃棄物処理報告書を作成すること。 4、再利用が可能な建設副産物については、リサイクルを前提とした処理に努めること。</p> <p>◎工事が完成したときは、完成図書作成要領により提出すること。 ◎契約後直ちにA3二つ折り製本4部、A2二つ折り製本1部提出すること。 ◎当該工事において防災等の無線を妨害する、不法無線局(電波法に基づく免許を受けないで開設される無線局)を設置しているゲリラについては、使用しないこと。</p>
特記事項	エイシーエヌ (有) ACN松尾建築設計事務所	一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467 E-mail fuichi@ilk.plala.or.jp
	P. C. N O	工 事 名 (仮称) 観光交流センター 1期機械設備工事 図 名 機械設備現場説明書 縮 尺 図 番 M-1 日 付 担 当

観光交流センター1期機械設備工事 工事仕様書
1 工事概要
1.1 工事場所 佐賀県武雄市武雄町大字宮町字西瀬249番地4の一部
2. 建築物概要
2.1 建築物名称 (仮称)観光交流センター
2.2 構造 鉄骨造
2.3 階数 1
2.4 基礎形式 基礎形式
2.5 工事種目及び工事科目
3. 工事種目及び工事科目
4. 指定部分
5. 設備概要
5.1 共通仕様
5.2 特記仕様
5.3 特記事項のうち変更する事項
5.4 特記事項のうち変更しない事項
5.5 特記事項のうち変更しない事項
5.6 特記事項のうち変更しない事項
5.7 特記事項のうち変更しない事項
5.8 特記事項のうち変更しない事項
5.9 特記事項のうち変更しない事項
5.10 特記事項のうち変更しない事項
5.11 特記事項のうち変更しない事項
5.12 特記事項のうち変更しない事項
5.13 特記事項のうち変更しない事項
5.14 特記事項のうち変更しない事項
5.15 特記事項のうち変更しない事項
5.16 特記事項のうち変更しない事項
5.17 特記事項のうち変更しない事項
5.18 特記事項のうち変更しない事項
5.19 特記事項のうち変更しない事項
5.20 特記事項のうち変更しない事項
5.21 特記事項のうち変更しない事項
5.22 特記事項のうち変更しない事項
5.23 特記事項のうち変更しない事項
5.24 特記事項のうち変更しない事項
5.25 特記事項のうち変更しない事項
5.26 特記事項のうち変更しない事項
5.27 特記事項のうち変更しない事項
5.28 特記事項のうち変更しない事項
5.29 特記事項のうち変更しない事項
5.30 特記事項のうち変更しない事項
5.31 特記事項のうち変更しない事項
5.32 特記事項のうち変更しない事項
5.33 特記事項のうち変更しない事項
5.34 特記事項のうち変更しない事項
5.35 特記事項のうち変更しない事項
5.36 特記事項のうち変更しない事項
5.37 特記事項のうち変更しない事項
5.38 特記事項のうち変更しない事項
5.39 特記事項のうち変更しない事項
5.40 特記事項のうち変更しない事項
5.41 特記事項のうち変更しない事項
5.42 特記事項のうち変更しない事項
5.43 特記事項のうち変更しない事項
5.44 特記事項のうち変更しない事項
5.45 特記事項のうち変更しない事項
5.46 特記事項のうち変更しない事項
5.47 特記事項のうち変更しない事項
5.48 特記事項のうち変更しない事項
5.49 特記事項のうち変更しない事項
5.50 特記事項のうち変更しない事項
5.51 特記事項のうち変更しない事項
5.52 特記事項のうち変更しない事項
5.53 特記事項のうち変更しない事項
5.54 特記事項のうち変更しない事項
5.55 特記事項のうち変更しない事項
5.56 特記事項のうち変更しない事項
5.57 特記事項のうち変更しない事項
5.58 特記事項のうち変更しない事項
5.59 特記事項のうち変更しない事項
5.60 特記事項のうち変更しない事項
5.61 特記事項のうち変更しない事項
5.62 特記事項のうち変更しない事項
5.63 特記事項のうち変更しない事項
5.64 特記事項のうち変更しない事項
5.65 特記事項のうち変更しない事項
5.66 特記事項のうち変更しない事項
5.67 特記事項のうち変更しない事項
5.68 特記事項のうち変更しない事項
5.69 特記事項のうち変更しない事項
5.70 特記事項のうち変更しない事項
5.71 特記事項のうち変更しない事項
5.72 特記事項のうち変更しない事項
5.73 特記事項のうち変更しない事項
5.74 特記事項のうち変更しない事項
5.75 特記事項のうち変更しない事項
5.76 特記事項のうち変更しない事項
5.77 特記事項のうち変更しない事項
5.78 特記事項のうち変更しない事項
5.79 特記事項のうち変更しない事項
5.80 特記事項のうち変更しない事項
5.81 特記事項のうち変更しない事項
5.82 特記事項のうち変更しない事項
5.83 特記事項のうち変更しない事項
5.84 特記事項のうち変更しない事項
5.85 特記事項のうち変更しない事項
5.86 特記事項のうち変更しない事項
5.87 特記事項のうち変更しない事項
5.88 特記事項のうち変更しない事項
5.89 特記事項のうち変更しない事項
5.90 特記事項のうち変更しない事項
5.91 特記事項のうち変更しない事項
5.92 特記事項のうち変更しない事項
5.93 特記事項のうち変更しない事項
5.94 特記事項のうち変更しない事項
5.95 特記事項のうち変更しない事項
5.96 特記事項のうち変更しない事項
5.97 特記事項のうち変更しない事項
5.98 特記事項のうち変更しない事項
5.99 特記事項のうち変更しない事項
600 特記事項のうち変更しない事項

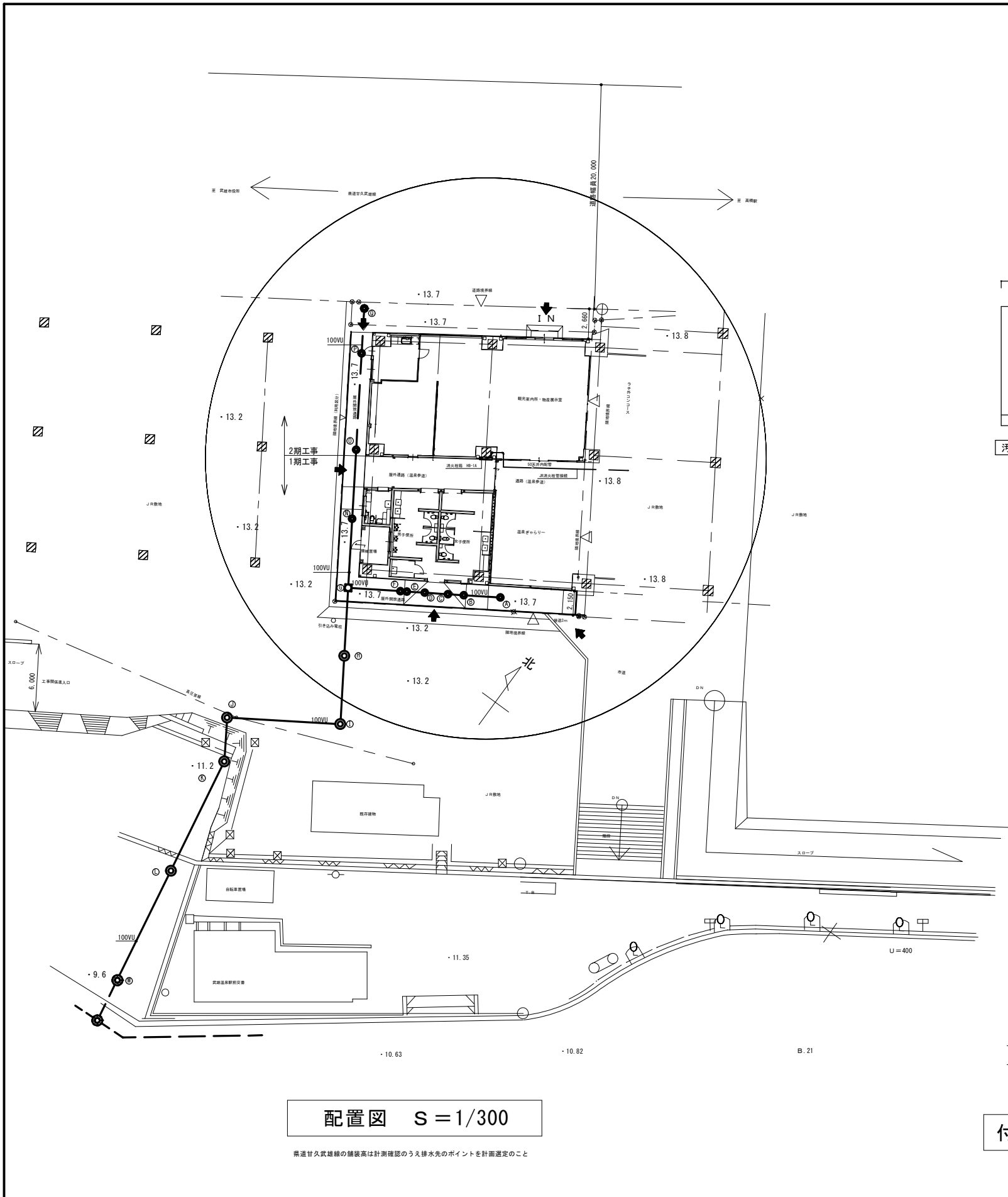
26 建築等入館設備
27 建築物EPCV配管
28 水回り
29 電気設備
30 配電設備
31 配電設備
32 配電設備
33 配電設備
34 非破壊検査等
35 試験
36 耐震安全性確保に必要な設備機能の特記事項
37 両生両用化を図るもの
38 2F/A1階管工上の注意
39 建築機械
40 空調等への接続
41 空調等への水その他
42 常用設備
43 地盤区分

2 設計温度
3 ばいじん量測定
4 構造
5 ダクト
6 熱量測定
7 チャンバー
8 ダンパー
9 配管材料
10 歩幅
11 軸管壁厚
12 温度計
13 圧力計
14 配管流量計
15 油断排水装置
16 絶縁フラング
17 保安及び漏洩防止
18 ファンコイルユニット
19 予備品
20 耐震及び振動等
21 冷暖房の能力

1 ダクト
2 熱量測定
3 ダンパー
4 シール等部品
5 チャンバー
6 保安
7 排気フード
8 グリス除去装置
9 ダクト
10 排気口の形式
11 排気口開放装置
12 排気量測定
13 中央監視制御
14 中央監視制御
15 電気計測工事の設備
16 電気設備
17 小使器具用排水装置
18 自動水栓
19 和室大便の排水設備
20 配管材料
21 配管材料
22 配管材料
23 配管材料
24 配管材料
25 配管材料
26 配管材料
27 配管材料
28 配管材料
29 配管材料
30 配管材料
31 配管材料
32 配管材料
33 配管材料
34 配管材料
35 配管材料
36 配管材料
37 配管材料
38 配管材料
39 配管材料
40 配管材料
41 配管材料
42 配管材料
43 配管材料
44 配管材料
45 配管材料
46 配管材料
47 配管材料
48 配管材料
49 配管材料
50 配管材料
51 配管材料
52 配管材料
53 配管材料
54 配管材料
55 配管材料
56 配管材料
57 配管材料
58 配管材料
59 配管材料
60 配管材料

1 機器の寸法
2 加熱方式
3 既倒防止
4 配管材料
5 発生容器
6 集合装置
7 既倒防止等
8 メーター
9 型式
10 測定機
11 保温度材
12 支持金物等
13 工事内容表
14 機器の基本
15 特記した差異
16 ストリップ受取の構造
17 外部配管の加工
18 通風口の形状
19 換気口の形状
20 換気口の設置位置
21 換気口の設置位置
22 換気口の設置位置
23 換気口の設置位置
24 換気口の設置位置
25 換気口の設置位置
26 換気口の設置位置
27 換気口の設置位置
28 換気口の設置位置
29 換気口の設置位置
30 換気口の設置位置
31 換気口の設置位置
32 換気口の設置位置
33 換気口の設置位置
34 換気口の設置位置
35 換気口の設置位置
36 換気口の設置位置
37 換気口の設置位置
38 換気口の設置位置
39 換気口の設置位置
40 換気口の設置位置
41 換気口の設置位置
42 換気口の設置位置
43 換気口の設置位置
44 換気口の設置位置
45 換気口の設置位置
46 換気口の設置位置
47 換気口の設置位置
48 換気口の設置位置
49 換気口の設置位置
50 換気口の設置位置
51 換気口の設置位置
52 換気口の設置位置
53 換気口の設置位置
54 換気口の設置位置
55 換気口の設置位置
56 換気口の設置位置
57 換気口の設置位置
58 換気口の設置位置
59 換気口の設置位置
60 換気口の設置位置

特記事項
エシーエヌ
(有) ACN 松尾建築設計事務所
一級建築士大臣登録 135009号 松尾晋一
849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512地
TEL 0954-36-3466
FAX 0954-36-3467
E-mail fuichi@itk.plala.or.jp
工事名 (仮称) 観光交流センター1期機械設備工事
図名 特記仕様書
縮尺 M-2
日付 担当

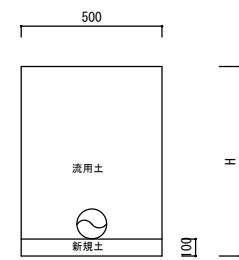


配置図 S = 1/300

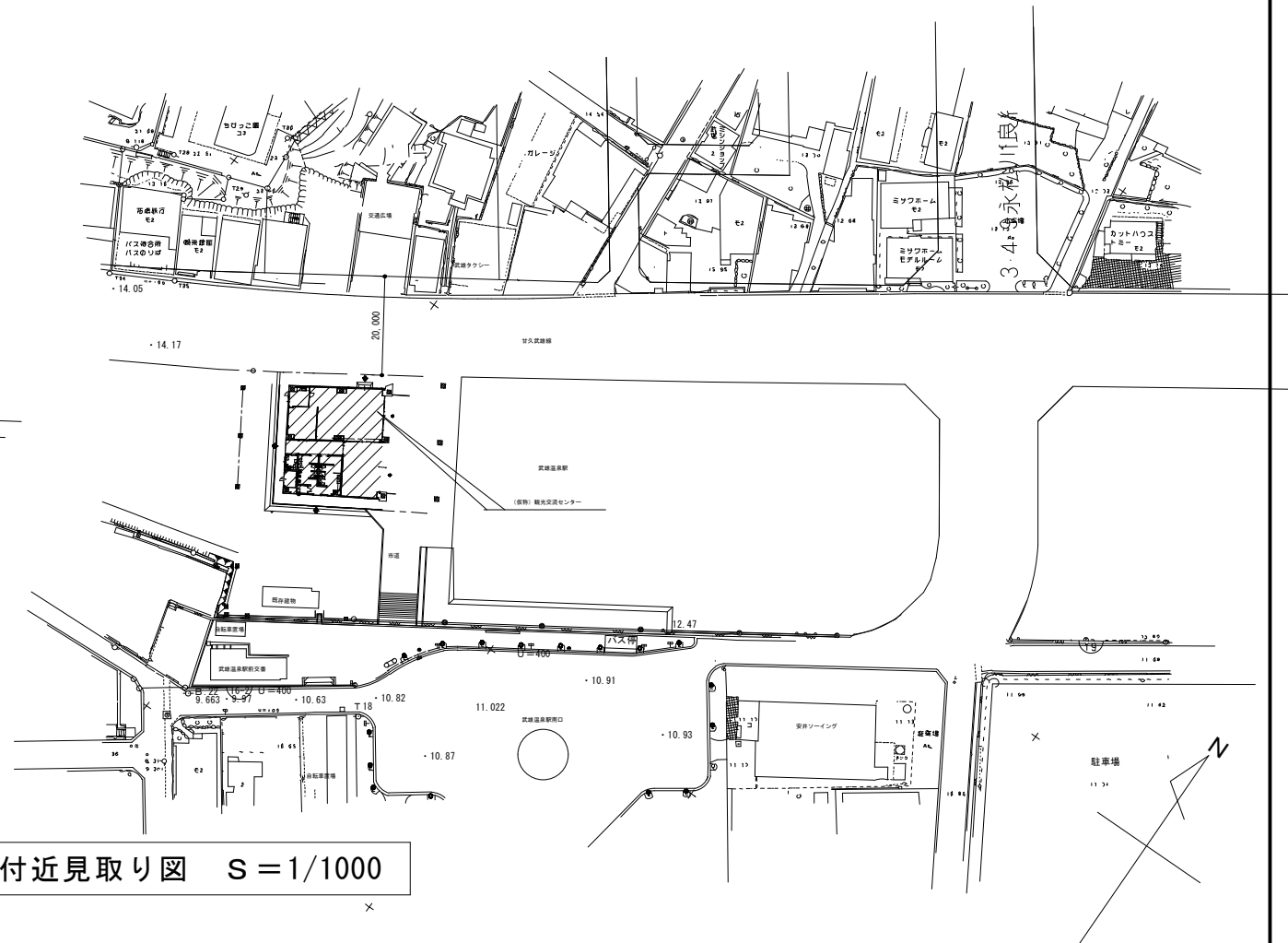
※道管久武雄線の舗装高は計測確認のうえ排水先のポイントを計画決定のこと

排水樹表

A	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=500 L	樹脂製蓋	GL±0	基準地盤高 13.2	本工程
B	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=540 Y	樹脂製蓋	GL-40	基準地盤高 13.2	本工程
C	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=560 Y	樹脂製蓋	GL-60	基準地盤高 13.2	本工程
D	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=590 Y	鑄鉄製蓋	GL-90	基準地盤高 13.2	本工程
E	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=610 Y	樹脂製蓋	GL-110	基準地盤高 13.2	本工程
F	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=620 Y	樹脂製蓋	GL-120	基準地盤高 13.2	本工程
G	汚水樹	SC-3	H=670	鑄鉄製蓋	GL-170	基準地盤高 13.2	本工程
H	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=690 ST	樹脂製蓋	GL-190	基準地盤高 13.2	本工程
I	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=760 L	樹脂製蓋	GL-260	基準地盤高 13.2	本工程
J	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=800 L	樹脂製蓋	GL-300	基準地盤高 13.2	本工程
K	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=400 L	樹脂製蓋	GL-400	基準地盤高 11.2	本工程
L	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=400 ST	樹脂製蓋	GL-400	基準地盤高 11.2	本工程
M	公共宅内汚水樹				GL-		
N	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=740 ST	樹脂製蓋	GL-240	基準地盤高 13.2	本工程
O	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=810 ST	樹脂製蓋	GL-310	基準地盤高 13.2	本工程
P	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=900 Y	樹脂製蓋	GL-400	基準地盤高 13.2	2期工事
Q	小口径汚水樹	100A*150Φ	H=950 ST	樹脂製蓋	GL-450	基準地盤高 13.2	2期工事

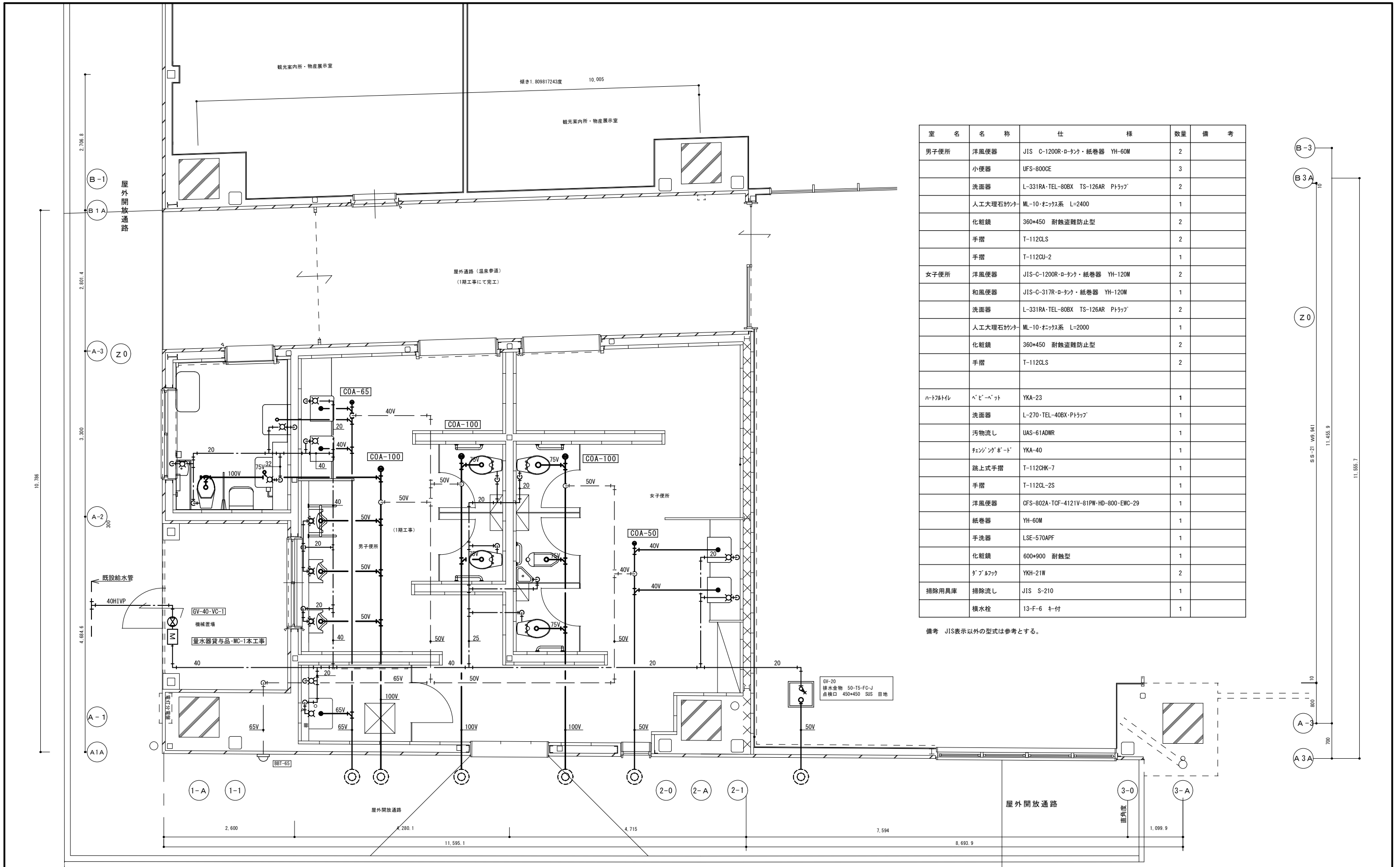


汚水管掘削断面図



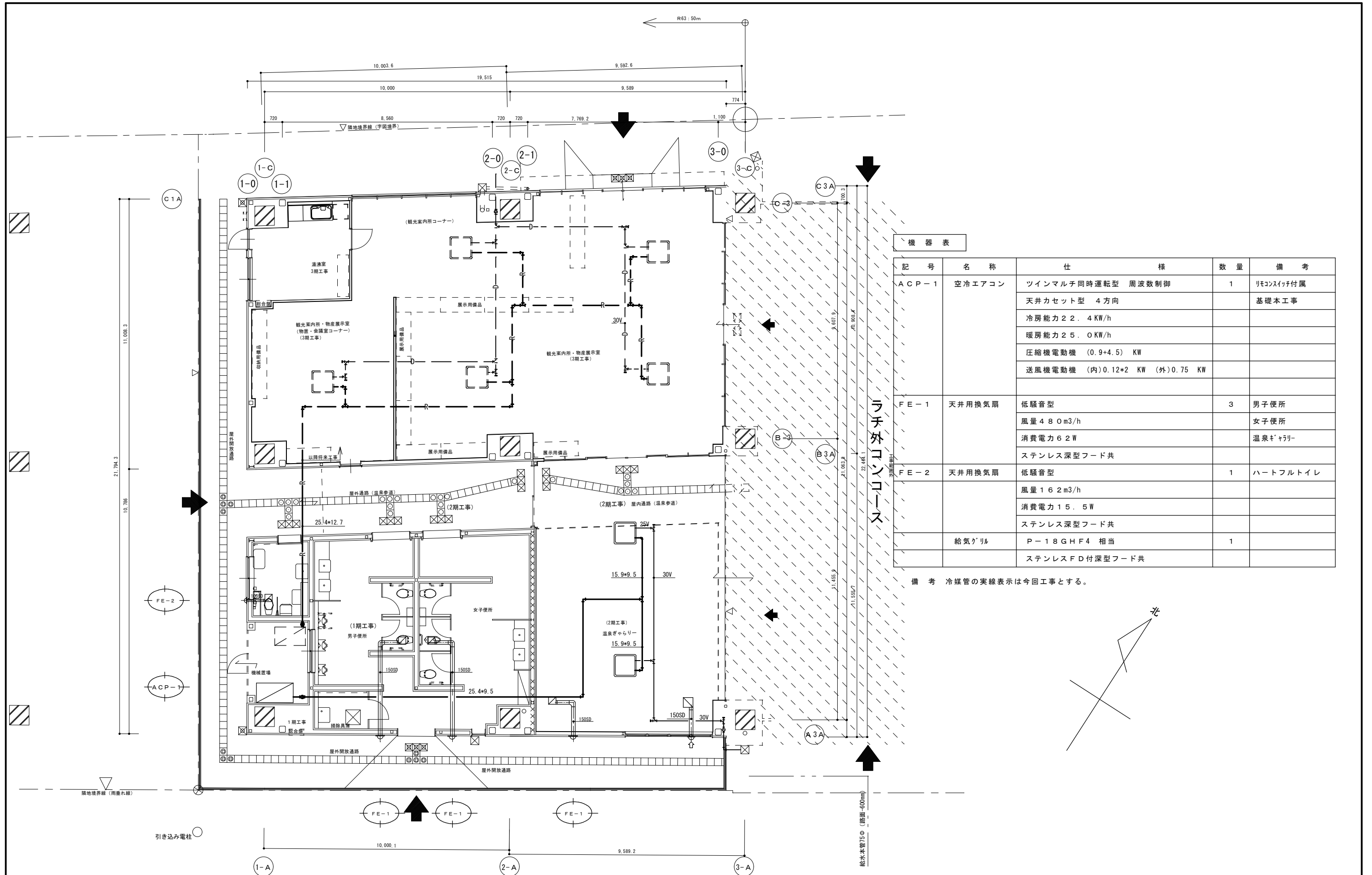
付近見取り図 S = 1/1000

特記事項 参考：配置図は平面図より傾斜-3.294度にて作図したもの	エイシーエヌ (有) A C N 松尾建築設計事務所		一級建築士大臣登録 135609号 松尾晋一 849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467 E-mail fuichi@silik.plala.or.jp		工 事 名	(仮称) 観光交流センター1期機械設備工事	縮 尺	1/300 1/1000	日 付	
	P. C. NO		図 名	配置図 付近見取り図	図 番	M-3	担 当			



室名	名称	仕様	数量	備考
男子便所	洋風便器	JIS C-1200R・ロタンク・紙巻器 YH-60M	2	
	小便器	UFS-800CE	3	
	洗面器	L-331RA・TEL-80BX TS-126AR Pトラップ	2	
	人工大理石カウンター	ML-10 オニキス系 L=2400	1	
	化粧鏡	360×450 耐蝕盗難防止型	2	
女子便所	洋風便器	JIS-C-1200R・ロタンク・紙巻器 YH-120M	2	
	和風便器	JIS-C-317R・ロタンク・紙巻器 YH-120M	1	
	洗面器	L-331RA・TEL-80BX TS-126AR Pトラップ	2	
	人工大理石カウンター	ML-10 オニキス系 L=2000	1	
	化粧鏡	360×450 耐蝕盗難防止型	2	
ハトムトイレ	ペーパーマット	YKA-23	1	
	洗面器	L-270-TEL-40BX-Pトラップ	1	
	汚物流し	UAS-61ADWR	1	
	チェンソーボード	YKA-40	1	
	跳上式手摺	T-112CHK-7	1	
	手摺	T-112CL-2S	1	
	洋風便器	CFS-802A・TCF-4121V-81PW-HD-800・EWC-29	1	
	紙巻器	YH-60M	1	
	手洗器	LSE-570APF	1	
	化粧鏡	600×900 耐蝕型	1	
掃除用奥庫	掃除流し	JIS S-210	1	
	横水栓	13-F-6 キ付	1	

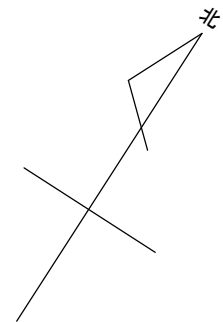
備考 JIS表示以外の型式は参考とする。



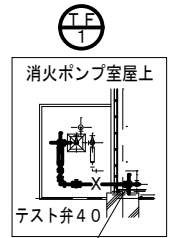
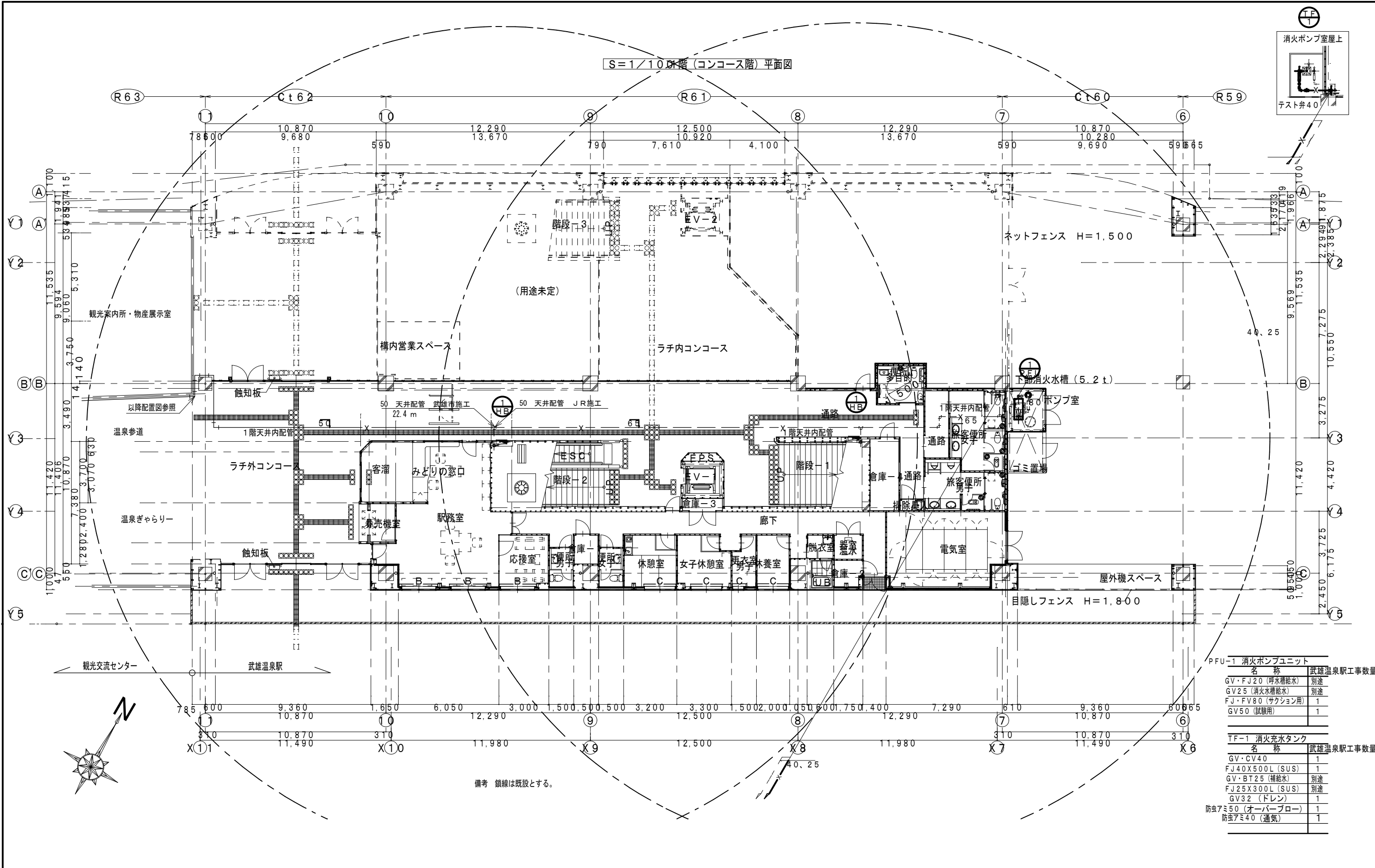
機器表

記号	名称	仕様	数量	備考
ACP-1	空冷エアコン	ツインマルチ同時運転型 周波数制御	1	リモコン付付属
		天井カセット型 4方向		基礎本工事
		冷房能力22.4KW/h		
		暖房能力25.0KW/h		
		圧縮機電動機 (0.9+4.5) KW		
		送風機電動機 (内)0.12*2 KW (外)0.75 KW		
FE-1	天井用換気扇	低騒音型	3	男子便所
		風量480m3/h		女子便所
		消費電力62W		温泉ギャラリー
		ステンレス深型フード共		
FE-2	天井用換気扇	低騒音型	1	ハートフルトイレ
		風量162m3/h		
		消費電力15.5W		
		ステンレス深型フード共		
	給気グリル	P-18GHF4 相当	1	
		ステンレスFD付深型フード共		

備考 冷媒管の実線表示は今回工事とする。



S=1/10 1階 (コンコース階) 平面図



PFU-1 消火ポンプユニット		名称	武雄温泉駅工事数量
GV・FJ20	(呼水補給水)	別途	
GV25	(消火水補給水)	別途	
FJ・FV80	(サクション用)	1	
GV50	(試験用)	1	

TF-1 消火充水タンク		名称	武雄温泉駅工事数量
GV・CV40		1	
FJ40X500L	(SUS)	1	
GV・BT25	(補給水)	別途	
FJ25X300L	(SUS)	別途	
GV32	(ドレン)	1	
防虫アミ50	(オーバーフロー)	1	
防虫アミ40	(通気)	1	

備考 鎖線は既設とする。

特記事項	エィシーエヌ (有) ACN松尾建築設計事務所	一級建築士大臣登録 135609号 松尾普一 849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎4512番地 TEL 0954-36-3466 FAX 0954-36-3467 E-mail fuichi@silk.plala.or.jp	工事名 (仮称) 観光交流センター 1期機械設備工事	縮尺 1/150	日付
			図名 武雄温泉駅側屋内消火栓設備図	図番 M-6	担当